

参考資料3

第5次犬山市総合計画中間見直しに向けた市民意識調査結果

【調査の概要】

対象：18歳以上の市民を無作為抽出

方法：郵送による配布・回収

平成28年6月8日（水）～6月24日（金）

配布数：18歳以上の市民の無作為抽出 3,000人（うち郵便不達8人）

回収数：1,752

回収率：58.4%（不達を除く回収率58.6%）

目次

| | |
|---------------------------|----|
| 1 調査の概要 | 1 |
| 2 調査結果 | 2 |
| 2-1 まちづくりの達成指標 | 2 |
| 2-2 市民の暮らし・住みやすさについて | 5 |
| ① 市民の健康（問4～7） | 5 |
| ② 市民のみなさんの暮らし（問8～20） | 9 |
| ③ まちの現状（問21～23） | 22 |
| ④ 行政の取り組み（問24～33） | 25 |
| ⑤ 犬山市の住みやすさ（問34） | 35 |
| ⑥ 犬山市の魅力（問35） | 40 |
| 2-3 市政に対する評価と今後の期待 | 41 |
| ① 総合的な満足度 | 41 |
| ② 満足度と重要度の分布 | 42 |
| ③ 特に重要と思う施策 | 49 |
| 2-4 近年の社会情勢に対応したまちづくりについて | 60 |
| ① めざすべきまちの将来像 | 60 |
| ② 大規模な災害に備える取り組み | 67 |
| ③ 日常の暮らしの利便性に関する取り組み | 71 |
| ④ 産業の振興に関する取り組み | 77 |
| ⑤ 犬山市を訪れる人を増やすための取り組み | 81 |
| ⑥ 市民の交流に関する取り組み | 87 |
| ⑦ 子育て・教育・歴史・文化等に関する取り組み | 94 |
| 3 回答者の属性 | 99 |

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、市民の暮らしやまちづくりに対する現状認識、要望などを把握し、第5次犬山市総合計画（計画期間：平成23年～平成34年）の中間見直しに活用することを目的として実施しました。

1-2 調査方法及び調査対象

| | 内容 |
|------|-----------------|
| 調査対象 | 18歳以上の市民 |
| 配布数 | 3,000人 |
| 抽出方法 | 無作為抽出 |
| 調査方法 | 配布・回収ともに郵送 |
| 調査時期 | 平成28年6月8日～6月24日 |

1-3 調査票の配布数及び回収結果

| 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|--------------------|-------|------------------------------|
| 3,000 (うち郵便不達8) | 1,752 | 58.4% (不達を除く 回収率58.6%) |

1-4 調査項目

本調査では以下の項目について質問しています。

- 1 回答者の属性
- 2 まちづくり指標の達成状況
- 3 市民の健康
- 4 市民の暮らし
- 5 まちの現状
- 6 行政
- 7 住みやすさ
- 8 犬山市の魅力
- 9 施策別の現状評価と重要度
 - ①施策別の満足度及び重要度
 - ②特に重要と思う施策
- 10 近年の社会情勢への対応
 - ①重要と思う施策
 - ②分野別の施策（災害、暮らしの利便性、産業振興、来訪者の増加、市民交流、子育て・教育・歴史・文化）

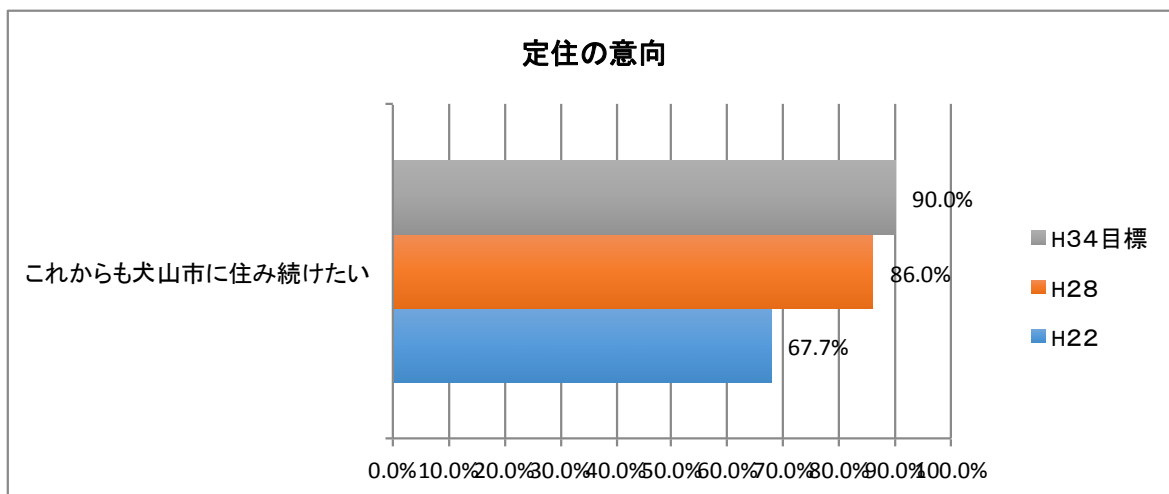
2 調査結果

2-1 まちづくりの達成指標

第5次犬山市総合計画策定時に設定した「まちづくりの達成指標」について、策定当初のH22年度（H23年3月）と現状（H28年6月）で比較し、2時点の数値の動きを確認しました。

■住みよさ指標 『今後も犬山市に住み続けたいと考える市民の割合』（問34）

今後も犬山市に住み続けたいと考える市民の割合は、平成22年度の67.7%から平成28年度には86.0%と増加しています。（平成34年度の目標数値は90%）



■まちづくり指標

① 『犬山市は、安全・安心を実感し、心豊かに暮らせるまちだと思ふ市民の割合』（問1）

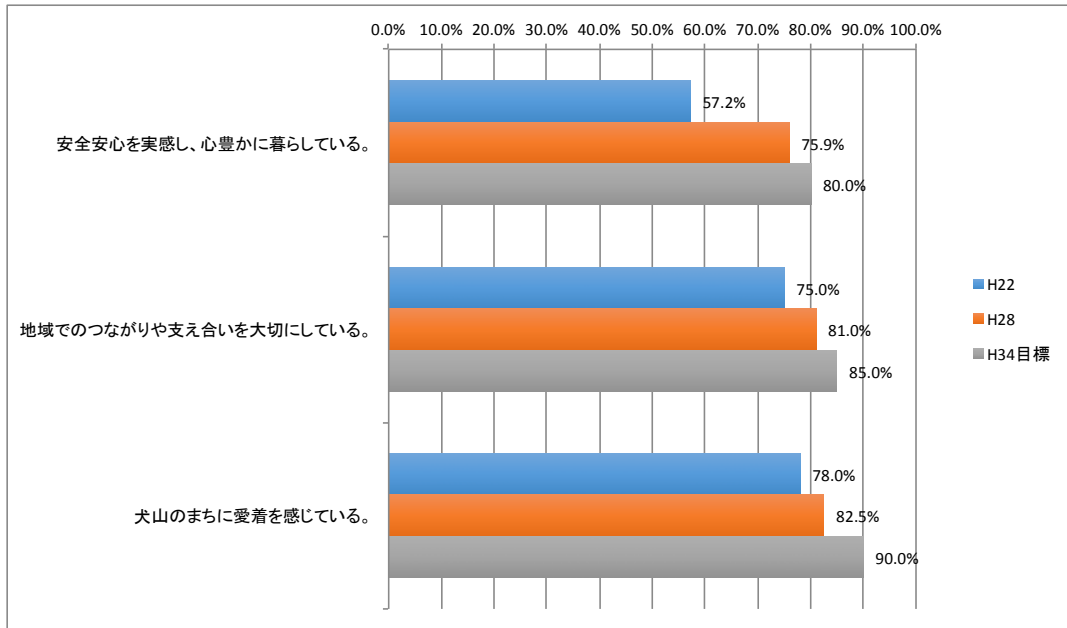
安全・安心を実感し、心豊かに暮らせるまちだと思ふ市民の割合は、平成22年度の57.2%から平成28年度には75.9%と増加しています。（平成34年度の目標数値は80%）

② 『地域でのつながり・支え合いを大切にしている市民の割合』（問2）

地域でのつながり・支え合いを大切にしている市民の割合は、平成22年度の75.0%から平成28年度には81.0%と増加しています。（平成34年度の目標数値は85%）

③ 『犬山のまちに愛着を感じている市民の割合』（問3）

犬山のまちに愛着を感じている市民の割合は、平成22年度の78.0%から平成28年度には82.5%と増加しています。（平成34年度の目標数値は90%）



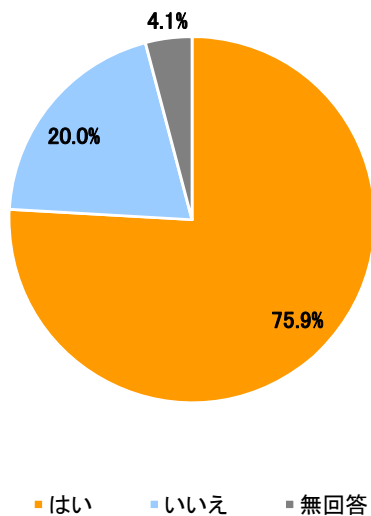
【アンケートデータ】

問1 あなたは、安全安心を実感し、心豊かに暮らしていますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,330 | 75.9% |
| 2 いいえ | 350 | 20.0% |
| 3 無回答 | 72 | 4.1% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

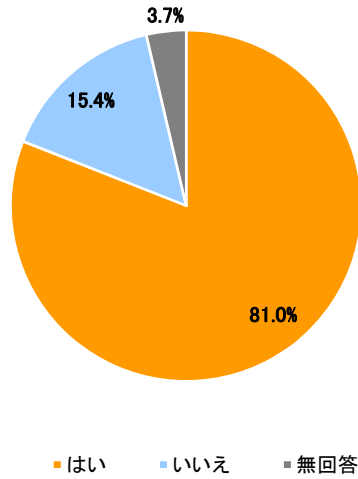


問2 あなたは、地域でのつながりや支え合いを大切にしていますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,419 | 81.0% |
| 2 いいえ | 269 | 15.4% |
| 3 無回答 | 64 | 3.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

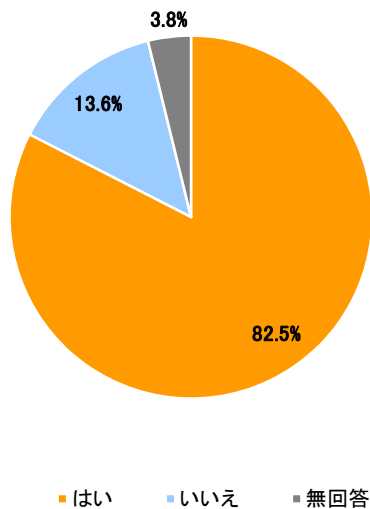


問3 あなたは、犬山のまちに愛着を感じていますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,446 | 82.5% |
| 2 いいえ | 239 | 13.6% |
| 3 無回答 | 67 | 3.8% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である



2-2 市民の暮らし・住みやすさについて

市民の暮らしや住みやすさ（市民の健康、暮らし、まちの状況、行政の取り組み、住みやすさ、犬山市の魅力）についての質問の結果を、平成 22 年度数値との比較も交えながら整理しました。

①市民の健康

問4 ご自分は、健康であると思いますか。

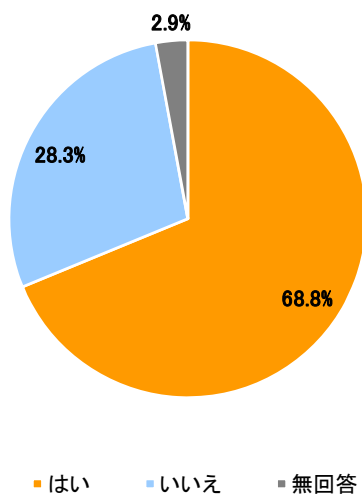
■「健康であると思う」市民は 68.8%で、平成 22 年度の 72.1%から 3.3 ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,205 | 68.8% |
| 2 いいえ | 496 | 28.3% |
| 3 無回答 | 51 | 2.9% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

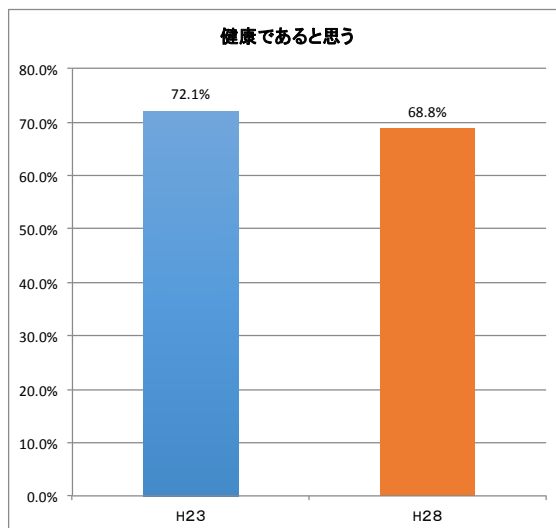
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



問5 普段、運動(ウォーキングなども含む)をしていますか。

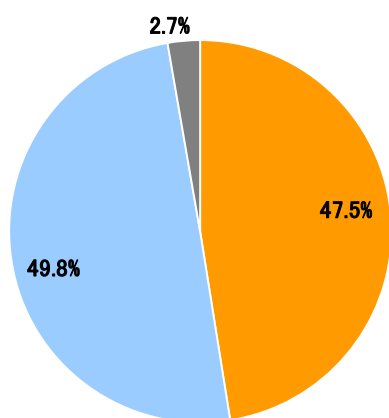
■「普段運動をしている」市民は47.5%で、平成22年度の44.9%から2.6ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 832 | 47.5% |
| 2 いいえ | 872 | 49.8% |
| 3 無回答 | 48 | 2.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

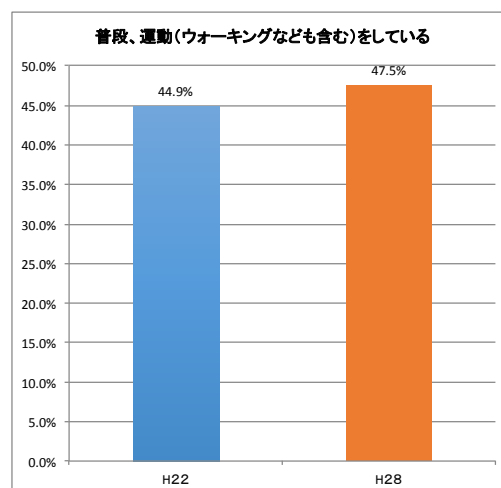
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問6 「問5」で「1. はい」と答えた方にお聞きします。どのくらいの頻度で運動を行っていますか。

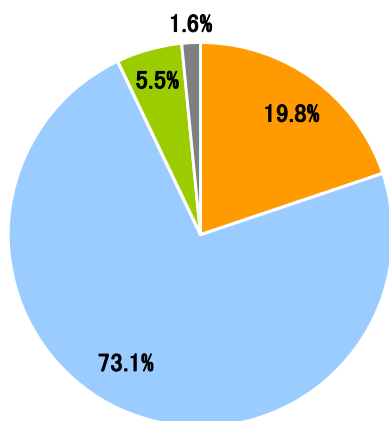
■「普段運動をしている」市民のうち、週に1日以上運動する日がある市民は92.9%で、平成22年度の79.8%から15.7ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 1 週に1日 | 165 | 19.8% |
| 2 週に2日以上 | 608 | 73.1% |
| 3 その他 | 46 | 5.5% |
| 4 無回答 | 13 | 1.6% |
| 合計 | 832 | 100.0% |

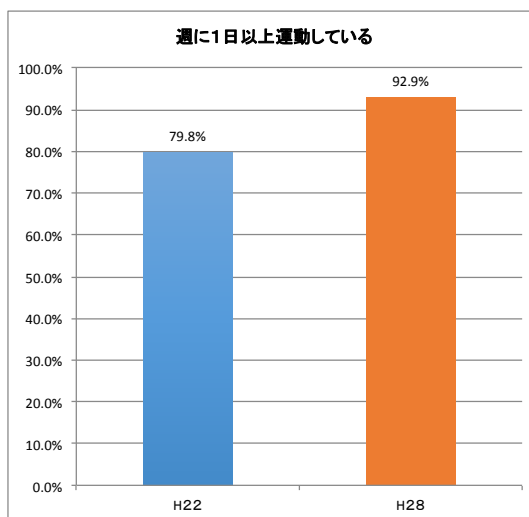
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は問5で「1」を選択した人数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



■ 週に1日 ■ 週に2日以上 ■ その他 ■ 無回答

問7 「問5」で「1. はい」と答えた方にお聞きします。1日あたりに運動する時間はどれくらいですか。

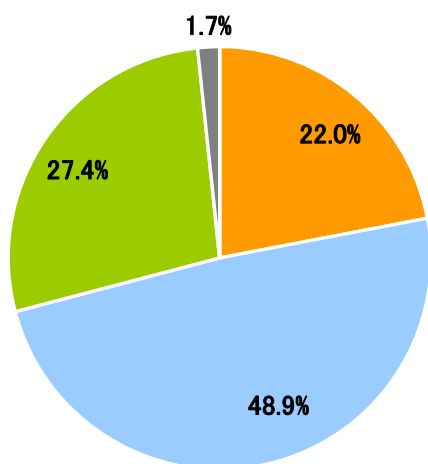
■「普段運動をしている」市民のうち、1日あたり30分を超える運動をする市民は76.3%で、平成22年度の76.9%から0.6ポイント減少しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| 1 30分以内 | 183 | 22.0% |
| 2 30分～1時間 | 407 | 48.9% |
| 3 1時間以上 | 228 | 27.4% |
| 4 無回答 | 14 | 1.7% |
| 合計 | 832 | 100.0% |

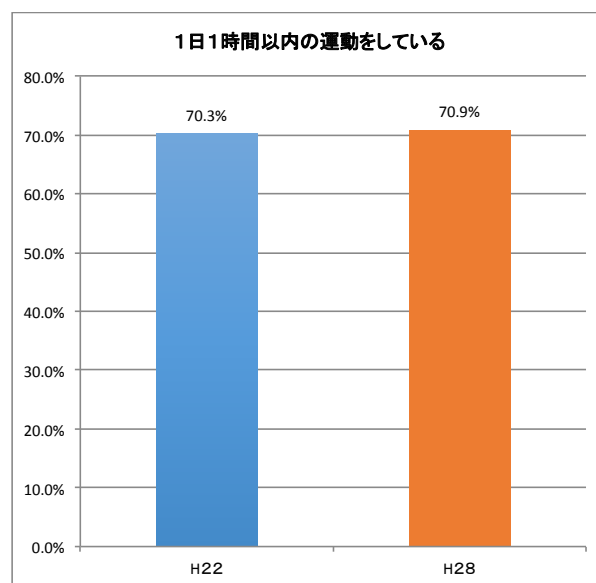
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は問5で「1」を選択した人数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



■ 30分以内 ■ 30分～1時間 ■ 1時間以上 ■ 無回答

②市民のみなさんの暮らし

問8 日頃から文化芸術や演劇などに親しんでいますか。

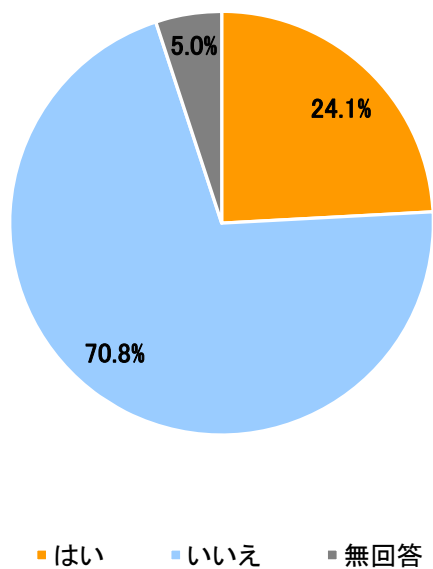
■日頃から文化芸術や演劇などに親しんでいる市民は24.1%で、平成22年度の25.4%から1.3ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 423 | 24.1% |
| 2 いいえ | 1,241 | 70.8% |
| 3 無回答 | 88 | 5.0% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

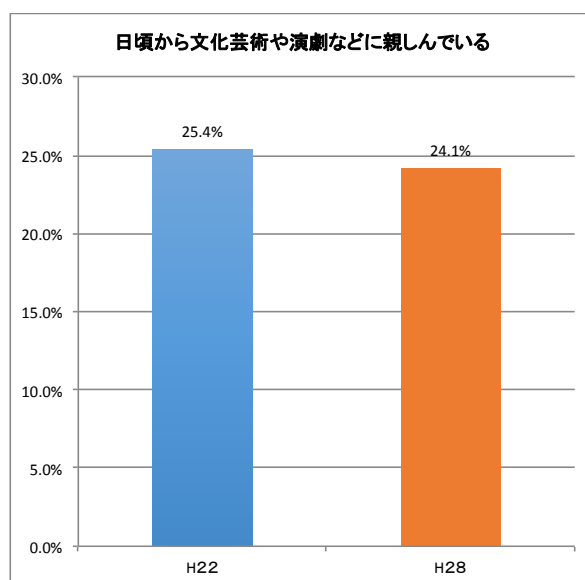
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



問9 地域の歴史や文化に興味を持っていますか。

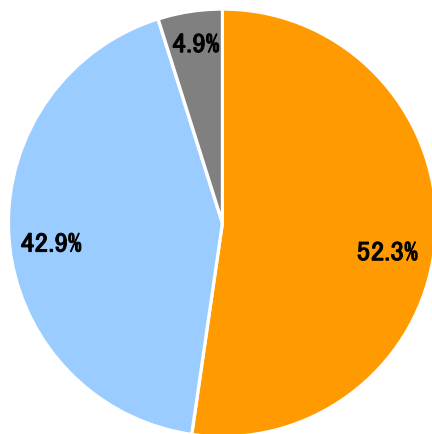
■地域の歴史や文化に興味を持っている市民は52.3%で、平成22年度の58.6%から6.3ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 916 | 52.3% |
| 2 いいえ | 751 | 42.9% |
| 3 無回答 | 85 | 4.9% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

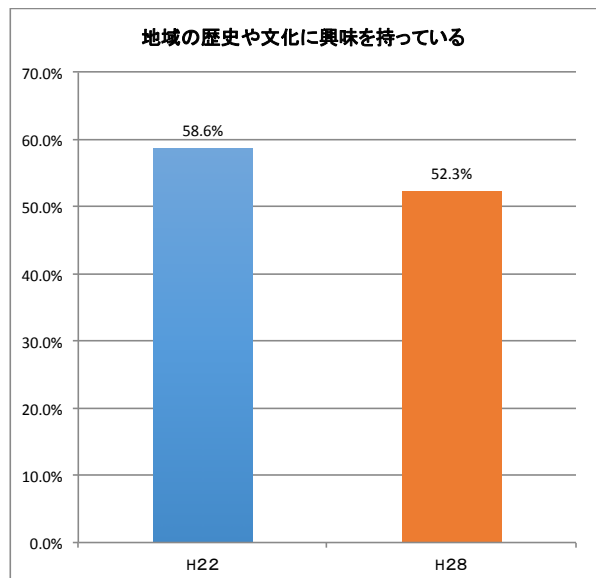
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問10 市内の商店(店舗)で買い物をしていますか。

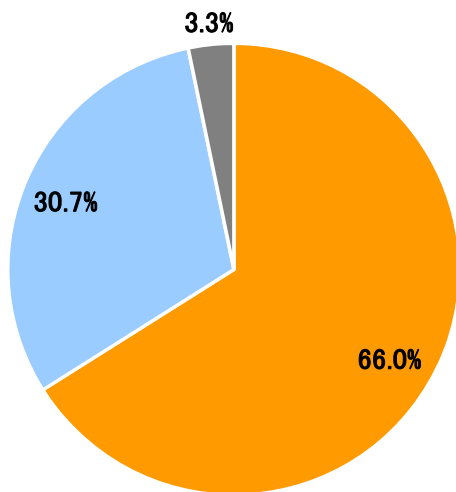
■市内の商店(店舗)で買い物をしている市民は66.0%で、平成22年度の58.0%から8ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,157 | 66.0% |
| 2 いいえ | 538 | 30.7% |
| 3 無回答 | 57 | 3.3% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

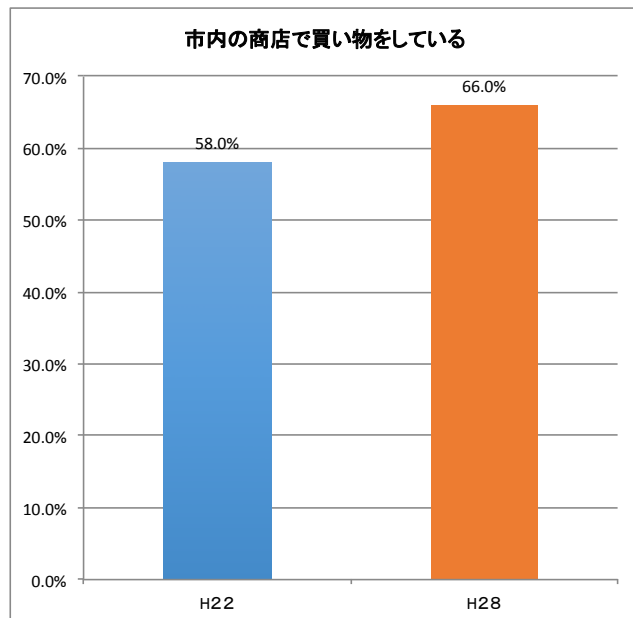
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問11 市内の商店街には、商品（品揃えや価格など）だけでなく、お店の人や雰囲気、人が交流する場（子育て、介護、コミュニティなど）としての魅力があると思いますか。

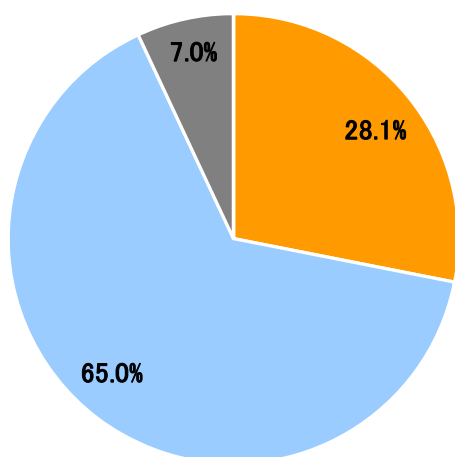
■市内の商店街に、商品（品揃えや価格など）だけでなく、お店の人や雰囲気、人が交流する場（子育て、介護、コミュニティなど）としての魅力がある、と感じている市民は28.1%と、あまり高くありませんが、平成22年度との比較では21.5%から6.6ポイントの増加がみられます。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 492 | 28.1% |
| 2 いいえ | 1,138 | 65.0% |
| 3 無回答 | 122 | 7.0% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

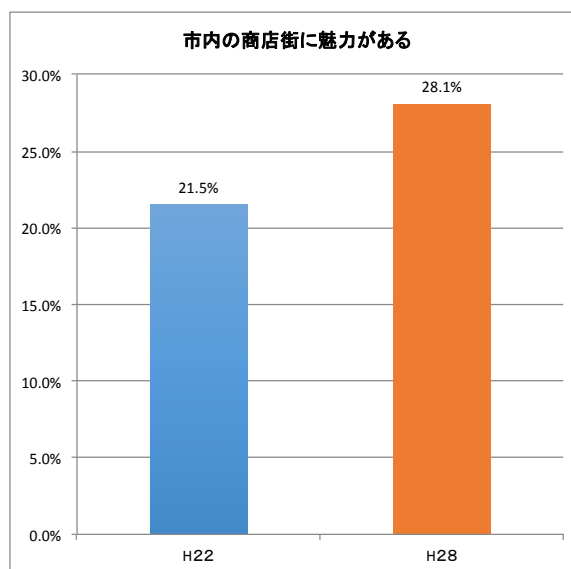
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問12 家庭で防災グッズ(非常持ち出し品)の備えをしていますか。

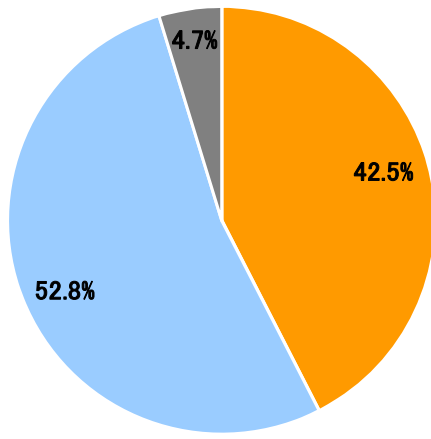
■家庭で防災グッズ(非常持ち出し品)の備えをしている市民は42.5%であり、平成22年度の21.5%から2倍近い増加がみられます。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 744 | 42.5% |
| 2 いいえ | 925 | 52.8% |
| 3 無回答 | 83 | 4.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

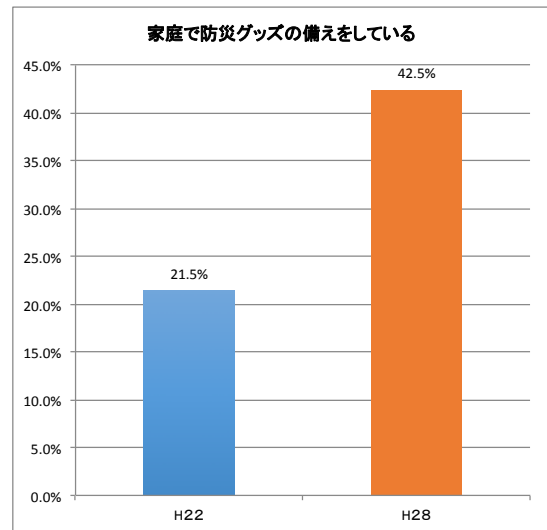
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■はい ■いいえ ■無回答

【H22年度との比較】



問13 これまでに、市が実施したパブリックコメントや意見交換会などに参加(参画)したことがありますか。

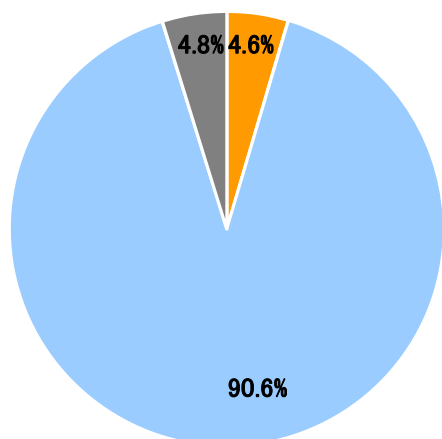
■これまでに、市が実施したパブリックコメントや意見交換会などに参加(参画)した経験がある市民は 4.6%と低い水準にとどまっています。さらに平成 22 年度との比較では 6.5%から 1.9 ポイント減少しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 80 | 4.6% |
| 2 いいえ | 1,588 | 90.6% |
| 3 無回答 | 84 | 4.8% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

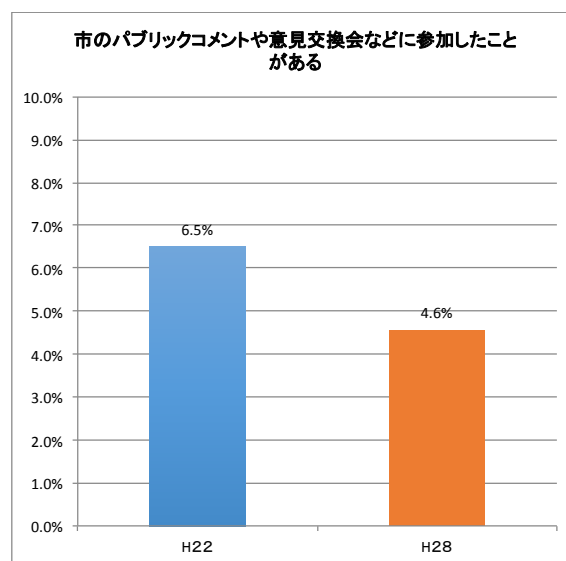
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



■はい ■いいえ ■無回答

【H22 年度との比較】



問14 現在、市民活動(NPO・ボランティア活動など)を行っていますか。

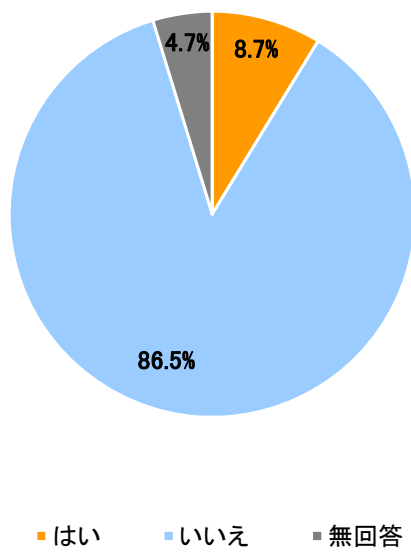
■現在、市民活動(NPO・ボランティア活動など)を行っている市民は8.7%にとどまり、平成22年度との比較では、10.4%から1.7ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 153 | 8.7% |
| 2 いいえ | 1,516 | 86.5% |
| 3 無回答 | 83 | 4.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

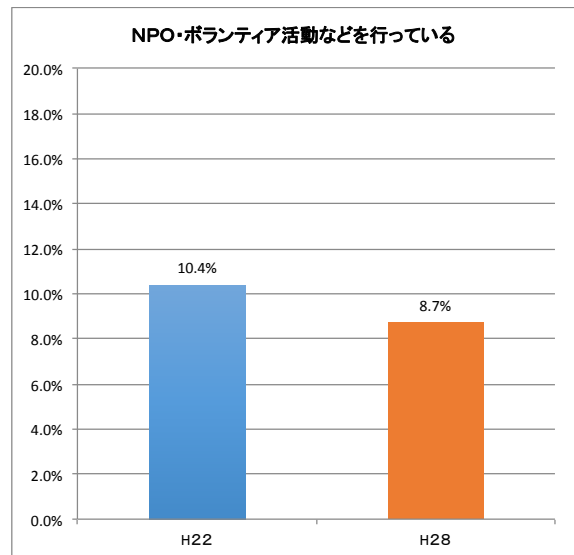
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



問15 清掃活動やお祭りなど、地域(町内会など)の活動に日頃から参加していますか。

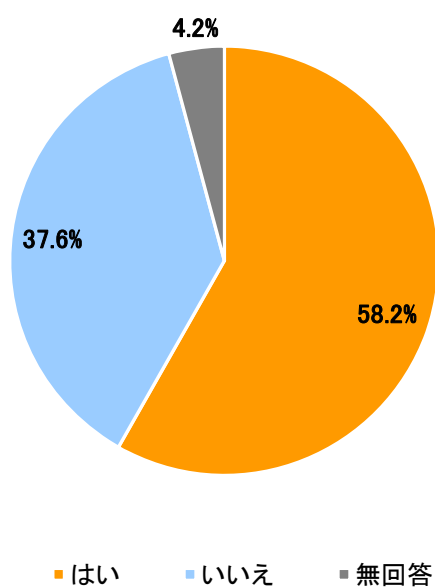
■清掃活動やお祭りなど、地域(町内会など)の活動に日頃から参加している市民は58.2%にのびりますが、平成22年度との比較では60.0%から1.8ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,020 | 58.2% |
| 2 いいえ | 659 | 37.6% |
| 3 無回答 | 73 | 4.2% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

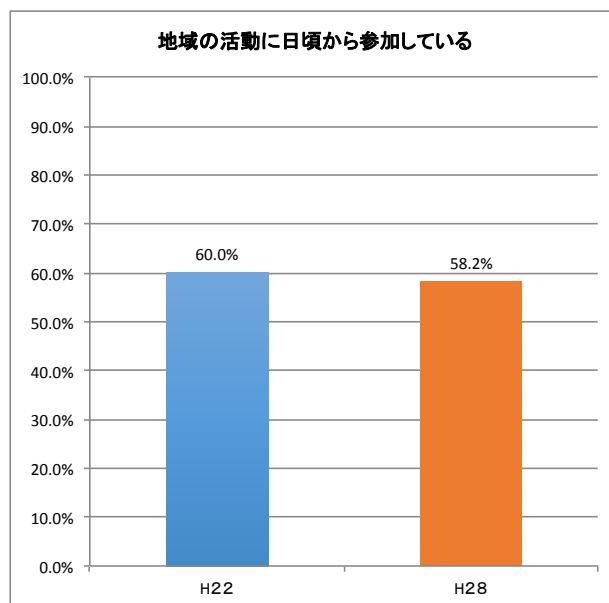
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



問16 日常生活の中で、外国人と話すなど接する機会がありますか。

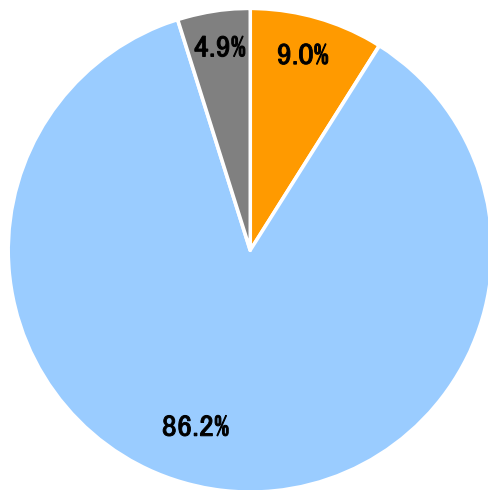
■日常生活の中で、外国人と話すなど接する機会がある市民は 9.0%にとどまり、平成 22 年度との比較では 9.7%から 0.7 ポイント微減しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 157 | 9.0% |
| 2 いいえ | 1,510 | 86.2% |
| 3 無回答 | 85 | 4.9% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

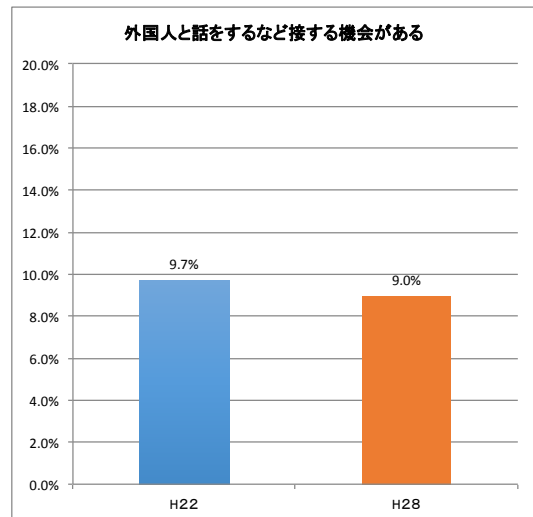
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22 年度との比較】



問17 男女の性別に関係なく、平等な生活を送っていると思いますか。

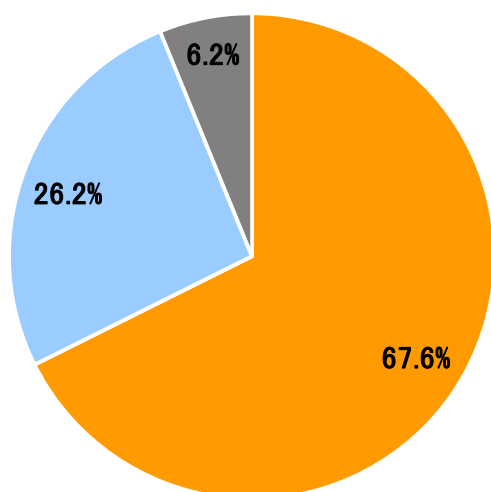
■男女の性別に関係なく、平等な生活を送っていると思う市民は67.6%であり、平成22年度の65.7%から1.9ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,185 | 67.6% |
| 2 いいえ | 459 | 26.2% |
| 3 無回答 | 108 | 6.2% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

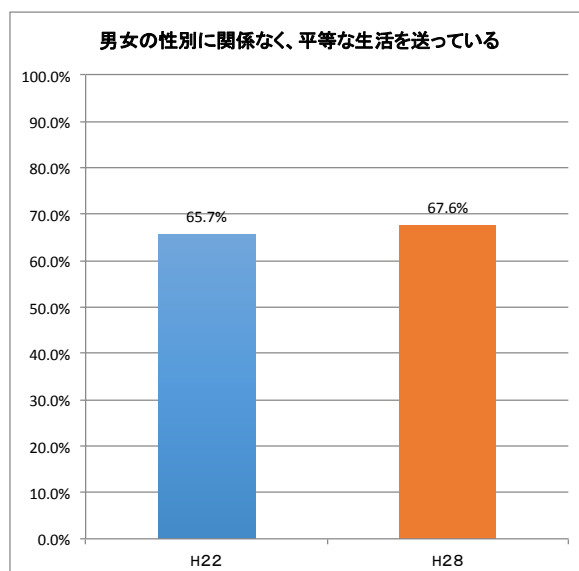
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

問18 現在、働いている方にのみお聞きします。仕事と生活の調和がとれていると思いますか。

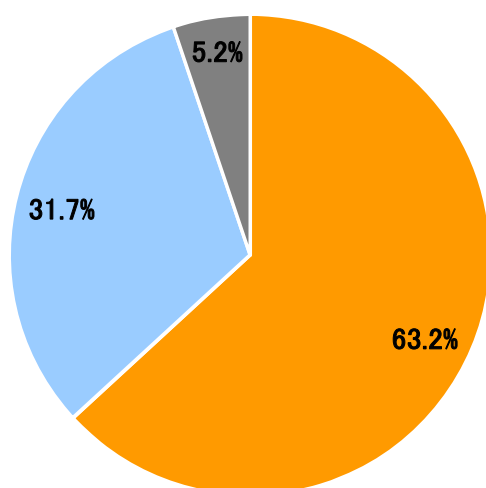
■現在、働いている市民のうち、仕事と生活の調和がとれていると思う市民は 63.2%であり、平成 22 年度の 54.8%から 8.4 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 1 はい | 403 | 63.2% |
| 2 いいえ | 202 | 31.7% |
| 3 無回答 | 33 | 5.2% |
| 合計 | 638 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

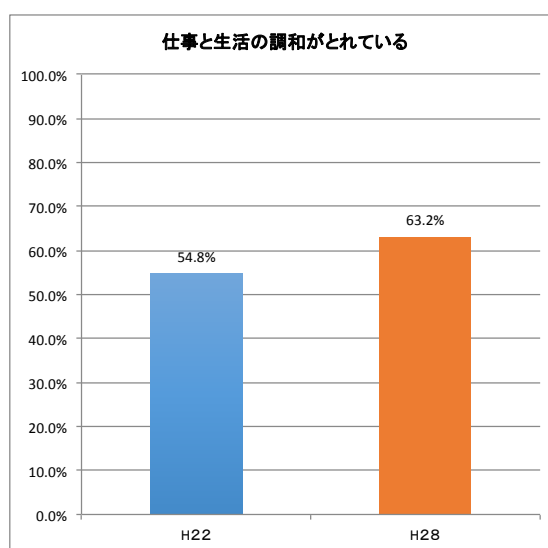
※2. 回答数の合計は問⑥で「1」「2」を選択した人数である

【H28 年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22 年度との比較】



問19 現在、働いている方にのみお聞きします。お勤めの職場は、労働環境が整っていると思いますか。

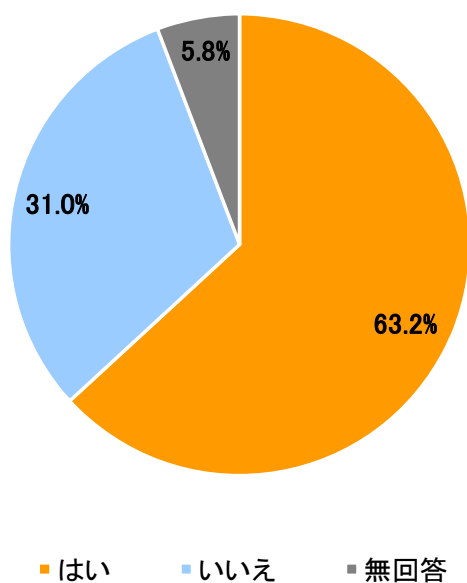
■現在、働いている市民のうち、職場は、労働環境が整っていると思う市民は 63.2%であり、平成 22 年度の 61.8%から 1.4 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 1 はい | 403 | 63.2% |
| 2 いいえ | 198 | 31.0% |
| 3 無回答 | 37 | 5.8% |
| 合計 | 638 | 100.0% |

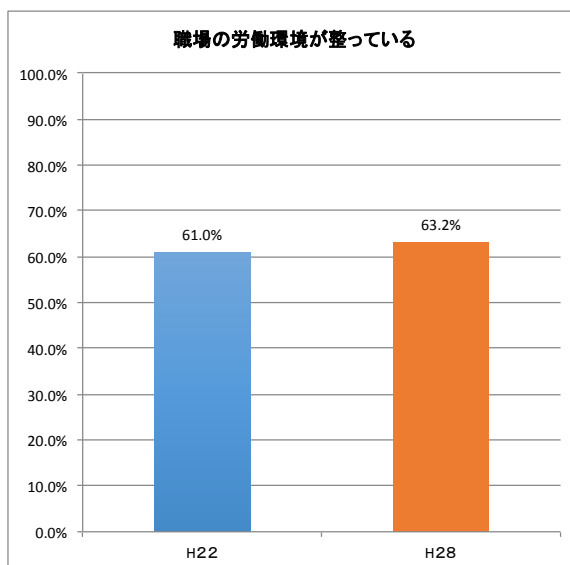
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は問⑥で「1」「2」を選択した人数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



問 20 現在、働いている方にのみお聞きします。お勤めの職場は、共済制度が充実していると思いますか。

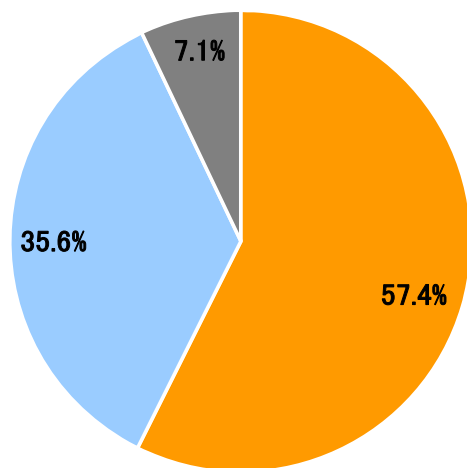
■現在、働いている市民のうち、職場の共済制度が充実していると思う市民は 57.4%であり、平成 22 年度の 51.4%から 6.0 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 1 はい | 366 | 57.4% |
| 2 いいえ | 227 | 35.6% |
| 3 無回答 | 45 | 7.1% |
| 合計 | 638 | 100.0% |

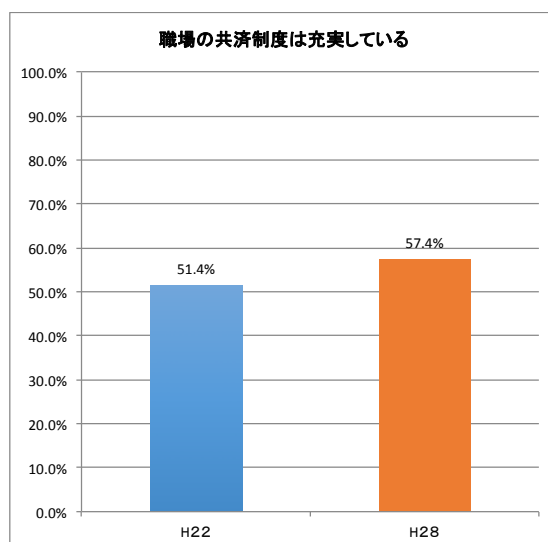
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は問⑥で「1」「2」を選択した人数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

③まちの現状

問21 市内の駅周辺には活気があると思いますか。

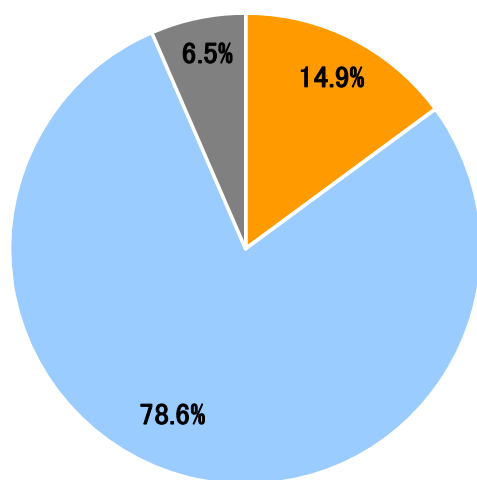
■市内の駅周辺には活気があると思ひ市民は 14.9%にとどまっていますが、平成 22 年度との比較では 8.4%から 6.5 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 261 | 14.9% |
| 2 いいえ | 1,377 | 78.6% |
| 3 無回答 | 114 | 6.5% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

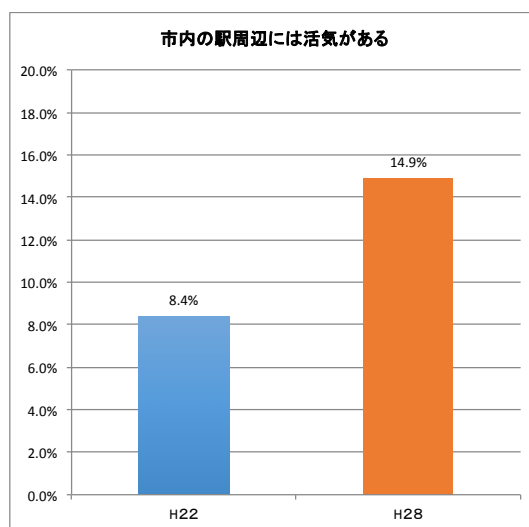
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22 年度との比較】



問22 犬山市の自然環境は、大切に保全されていると思いますか。

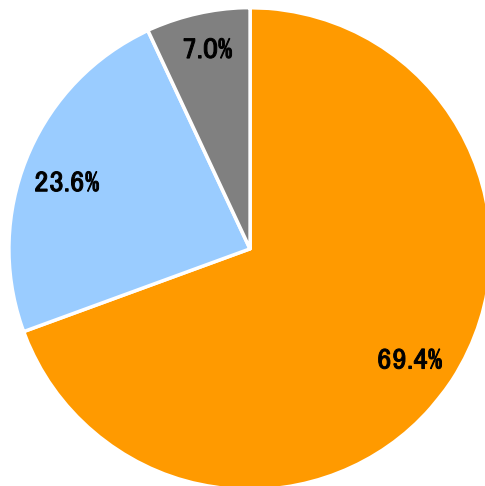
■犬山市の自然環境が、大切に保全されていると思う市民は 69.4%であり、平成 22 年度の 62.9%から 6.5 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,216 | 69.4% |
| 2 いいえ | 414 | 23.6% |
| 3 無回答 | 122 | 7.0% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

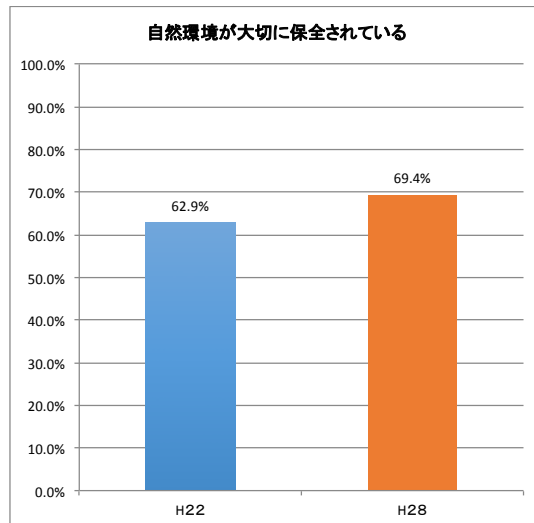
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

問23 市内の道路は、徒歩や自転車で安全・快適に通行できると思いますか。

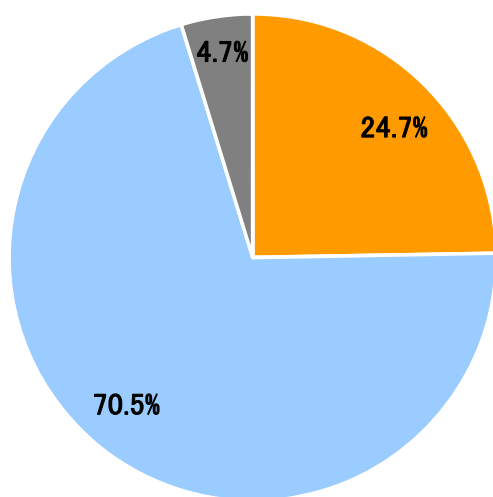
■市内の道路は、徒歩や自転車で安全・快適に通行できると思う市民は 24.7%であり、平成22年度の20.9%から3.8ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 433 | 24.7% |
| 2 いいえ | 1,236 | 70.5% |
| 3 無回答 | 83 | 4.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

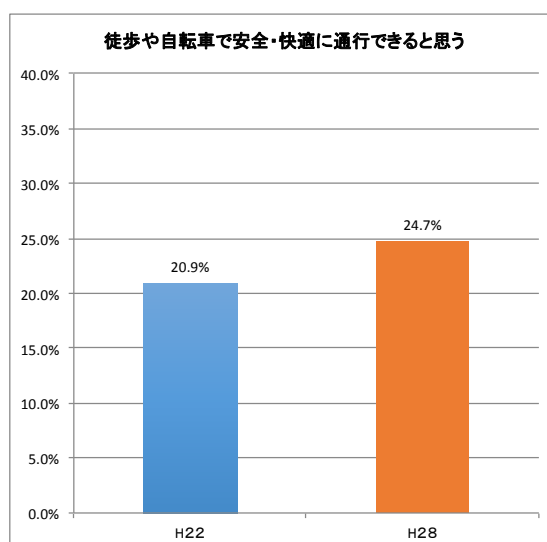
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



④行政の取り組み

問24 市が「消費生活相談窓口」を設置していることを知っていますか。

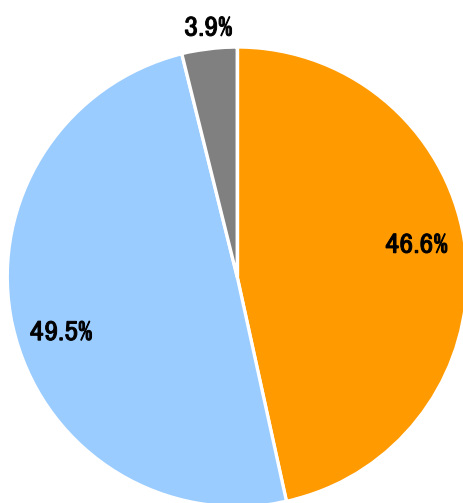
■市が「消費生活相談窓口」を設置していることを知っている市民は 46.6%であり、平成22年度の39.1%から7.5ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 816 | 46.6% |
| 2 いいえ | 868 | 49.5% |
| 3 無回答 | 68 | 3.9% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

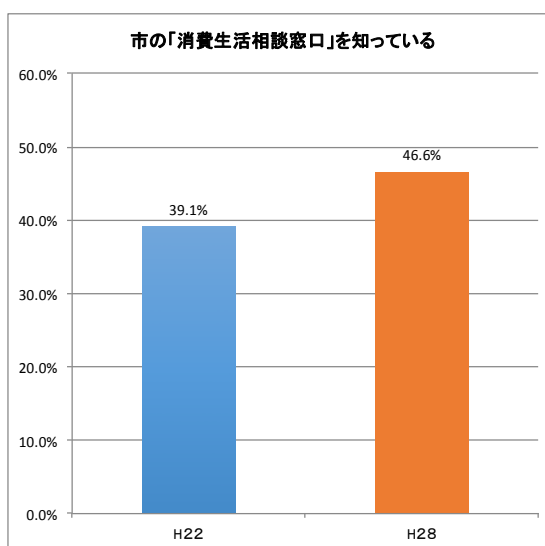
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問25 市役所などでの申請や手続きはしやすいと感じますか。

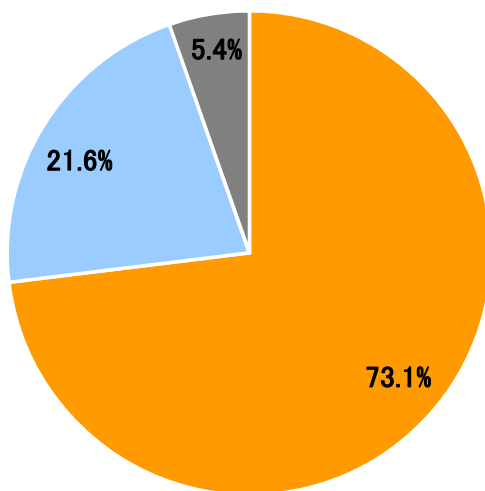
■市役所などでの申請や手続きはしやすいと感じている市民は73.1%であり、平成22年度の65.0%から8.1ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,280 | 73.1% |
| 2 いいえ | 378 | 21.6% |
| 3 無回答 | 94 | 5.4% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

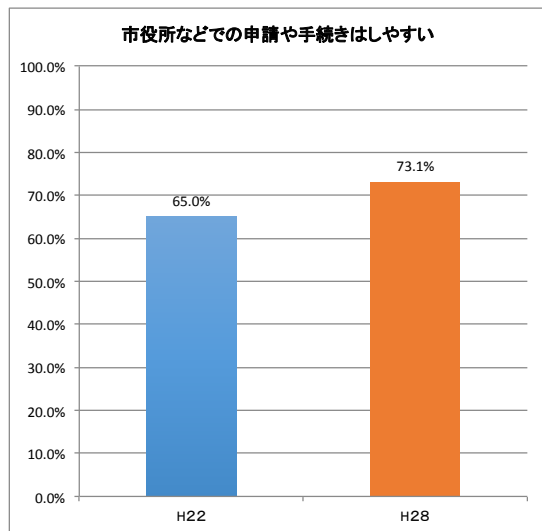
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

問26 市民が知りたい市政情報がきちんと公開されていると思いますか。

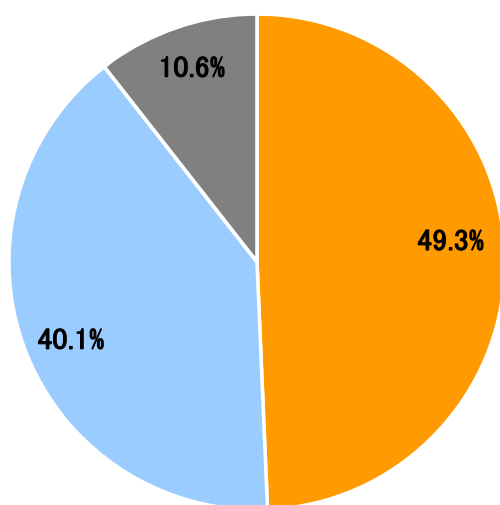
■ 知りたい市政情報がきちんと公開されていると思う市民は 49.3%であり、平成 22 年度の 44.7%から 4.6 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 864 | 49.3% |
| 2 いいえ | 703 | 40.1% |
| 3 無回答 | 185 | 10.6% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

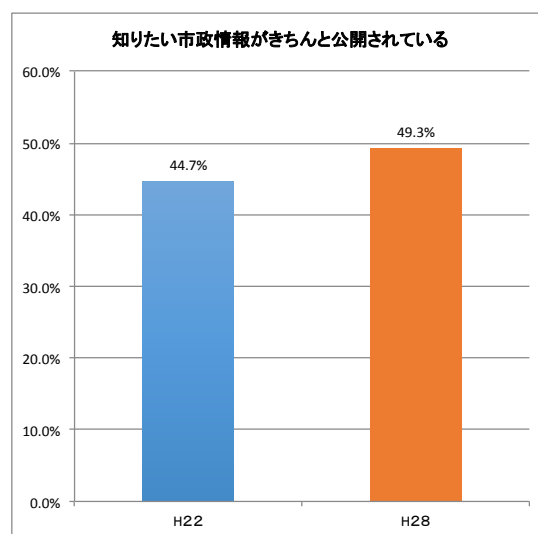
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22 年度との比較】



問27 市役所などでの職員の応対や接遇は良いと思いますか。

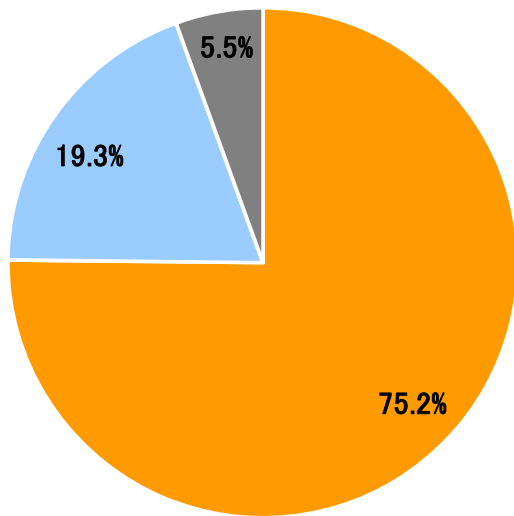
■市役所などでの職員の応対や接遇は良いと思う市民は 75.2%であり、平成 22 年度の 67.1%から 8.1 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,317 | 75.2% |
| 2 いいえ | 338 | 19.3% |
| 3 無回答 | 97 | 5.5% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

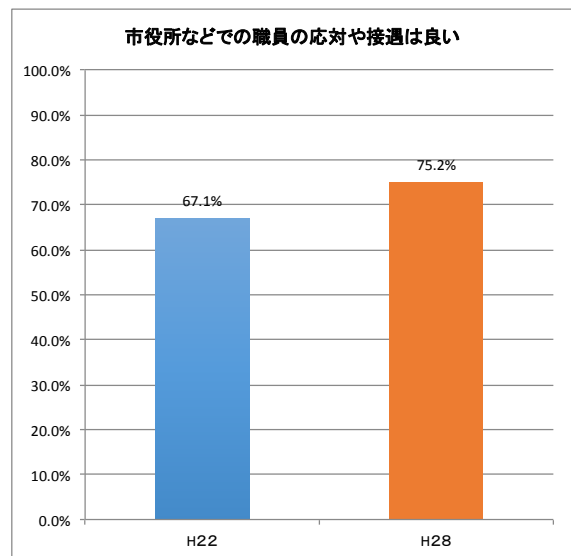
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

問28 市の各種公共施設は利用しやすいと思いますか。

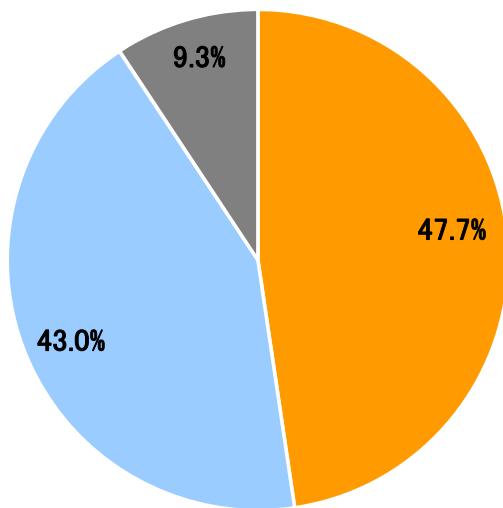
■市の各種公共施設は利用しやすいと思う市民は47.7%であり、平成22年度の42.5%から5.2ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 835 | 47.7% |
| 2 いいえ | 754 | 43.0% |
| 3 無回答 | 163 | 9.3% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

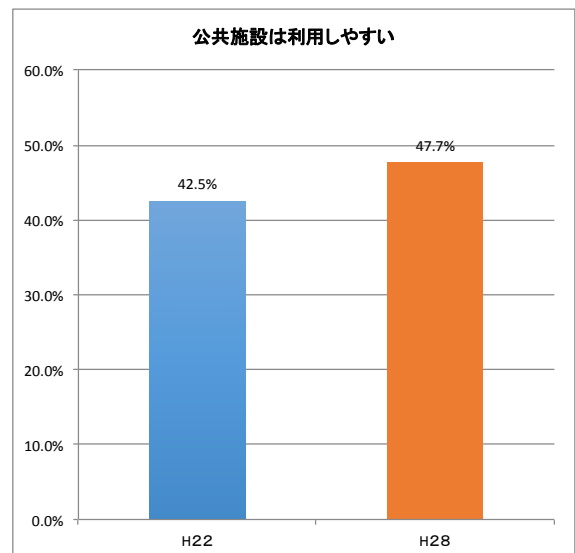
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問29 図書館は利用しやすいと思いますか。

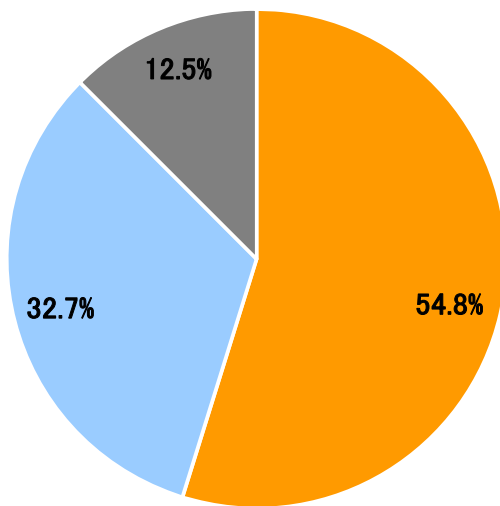
■図書館を利用しやすいと思う市民は54.8%であり、平成22年度の57.3%から2.5ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 960 | 54.8% |
| 2 いいえ | 573 | 32.7% |
| 3 無回答 | 219 | 12.5% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

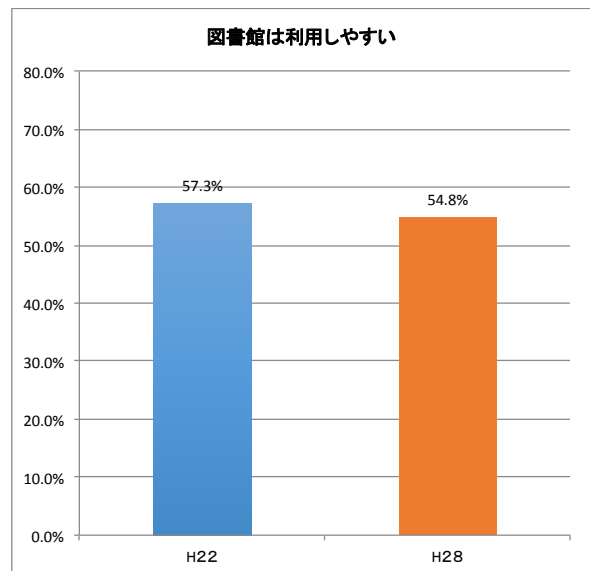
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22年度との比較】



問30 「広報いぬやま」についてお聞きます。「広報いぬやま」を読んでいますか。

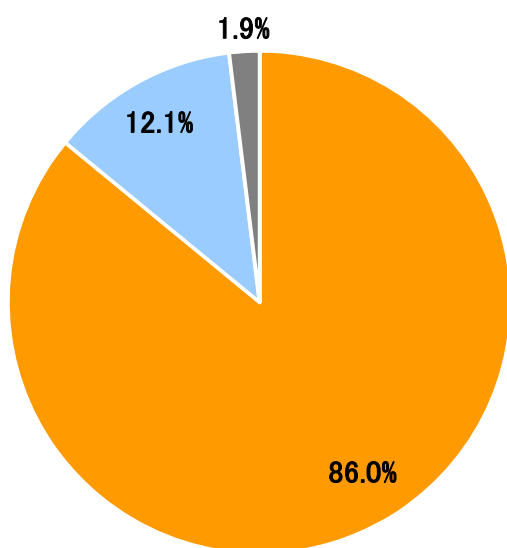
- 「広報いぬやま」を読んでいる市民は 86.0%であり、平成 22 年度の 89.0%から 3.0 ポイント低下しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,506 | 86.0% |
| 2 いいえ | 212 | 12.1% |
| 3 無回答 | 34 | 1.9% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

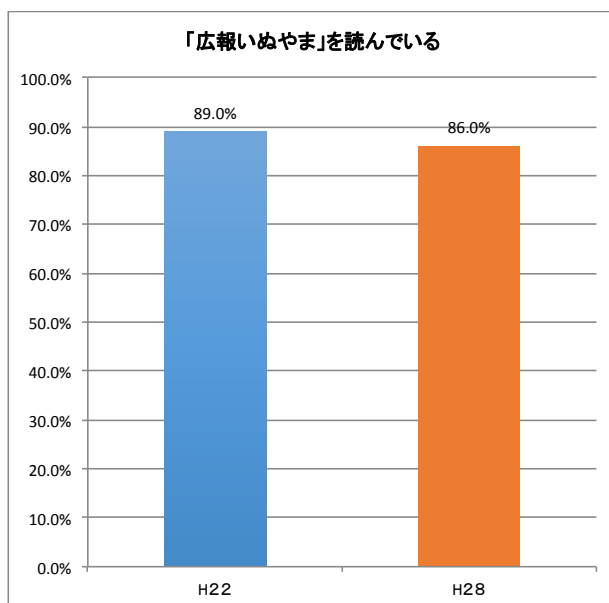
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22 年度との比較】



問31 現在、「広報いぬやま」は月2回発行ですが、発行は、月に1回と2回のどちらが良いと思いますか。

■「広報いぬやま」の望ましい発行頻度については、「月1回」が55.7%であり、「月2回」の40.8%を14.9ポイント上回っています。

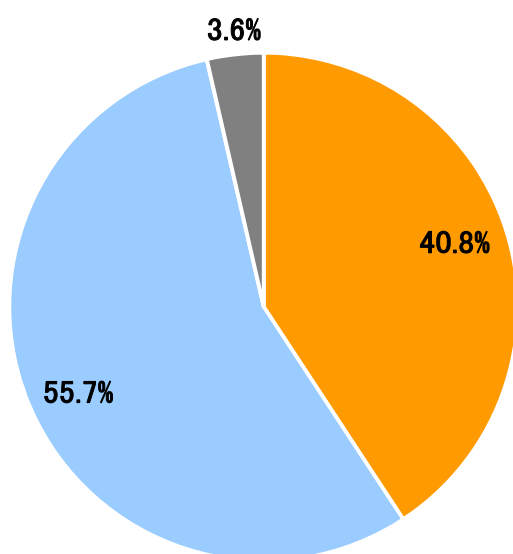
| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 月2回 | 714 | 40.8% |
| 2 月1回 | 975 | 55.7% |
| 3 無回答 | 63 | 3.6% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

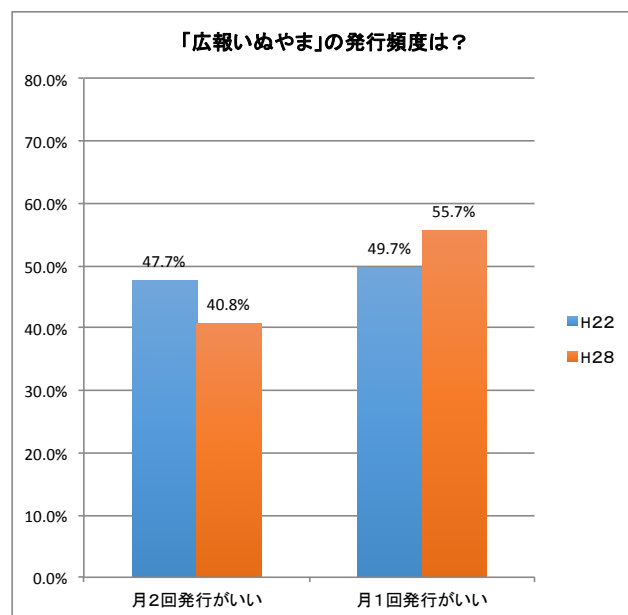
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】

【H22年度との比較】



■ 月2回 ■ 月1回 ■ 無回答



問32 「広報いぬやま」以外で市の情報を得ていますか。

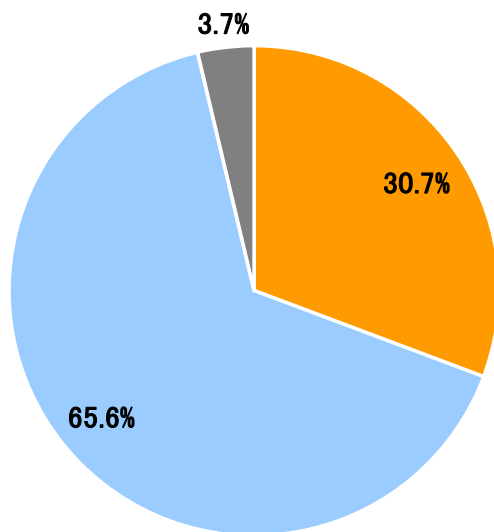
■「広報いぬやま」以外で市の情報を得ている市民は 30.7%であり、平成 22 年度の 29.7% から 1.0 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 538 | 30.7% |
| 2 いいえ | 1,149 | 65.6% |
| 3 無回答 | 65 | 3.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

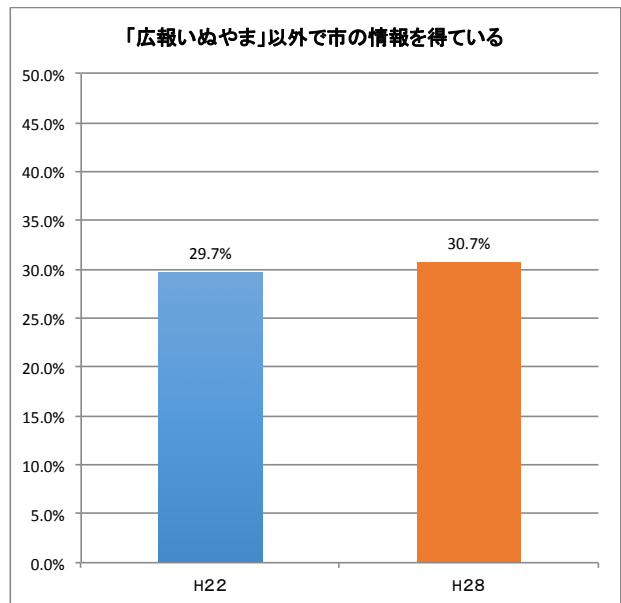
※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

【H22 年度との比較】



問33 問32で「1.はい」とお答えになった方にお聞きます。それはどんな方法ですか？

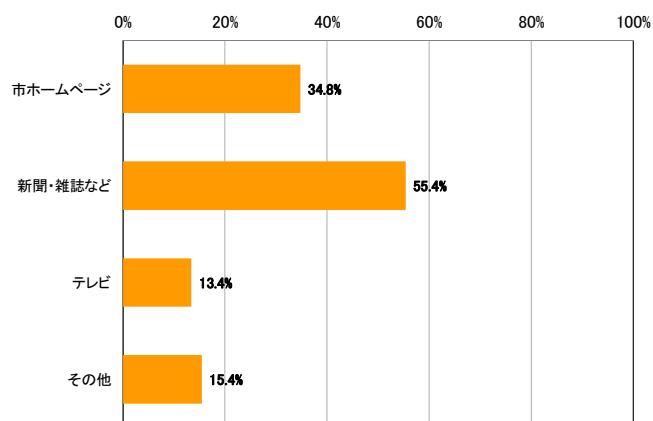
- 「広報いぬやま」以外で市の情報を得ている市民の情報手段は、新聞・雑誌が55.4%と最も多く、ついで市のホームページが34.8%、テレビが13.4%となっています。
- 平成22年度との比較で見ると、新聞・雑誌は1.1ポイント増と微増傾向であるのに対し、市のホームページは12.7ポイント増、テレビは10.1ポイント増と大幅な増加傾向にあります。

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|-------|
| 1 市ホームページ | 187 | 34.8% |
| 2 新聞・雑誌など | 298 | 55.4% |
| 3 テレビ | 72 | 13.4% |
| 4 その他 | 83 | 15.4% |
| 合計 | 538 | - |

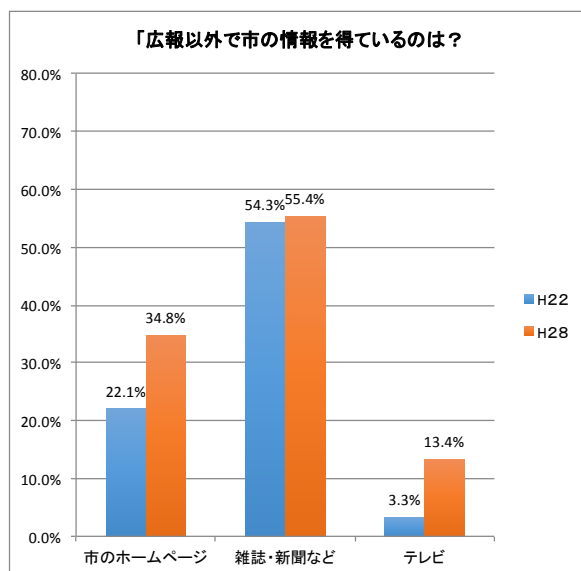
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を全て選択する方式である

※2. 回答数の合計は問32で「1」を選択した人数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



⑤ 犬山市の住みやすさ

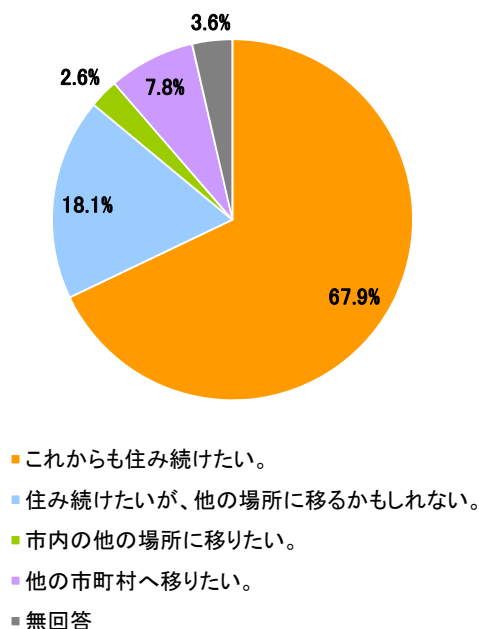
問34 これからも犬山市に住み続けたいと思いますか。

- 「これからも住み続けたい」と「住み続けたいが、他の場所に移るかもしれない」の計は86.0%であり、平成22年度の67.7%から18.3ポイントと大きく増加しています。
- 一方、「他の市町村へ移りたい」は7.8%であり、平成22年度の8.2%から0.4ポイント低下しています。

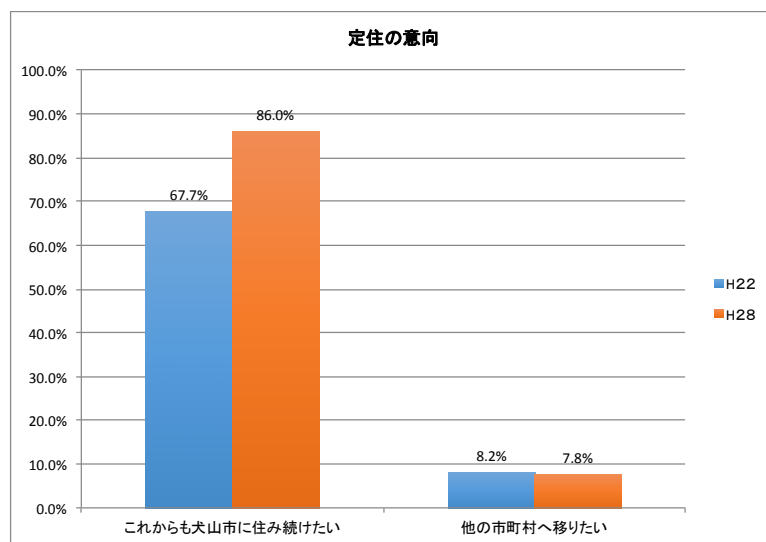
| | 回答数 | 構成比 |
|--------------------------|-------|--------|
| 1 これからも住み続けたい。 | 1,190 | 67.9% |
| 2 住み続けたいが、他の場所に移るかもしれない。 | 317 | 18.1% |
| 3 市内の他の場所に移りたい。 | 46 | 2.6% |
| 4 他の市町村へ移りたい。 | 136 | 7.8% |
| 5 無回答 | 63 | 3.6% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である
 ※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28年・全体】



【H22年度との比較】



問34-1 住み続けたいと思う理由は何ですか？ <3つまで選択>

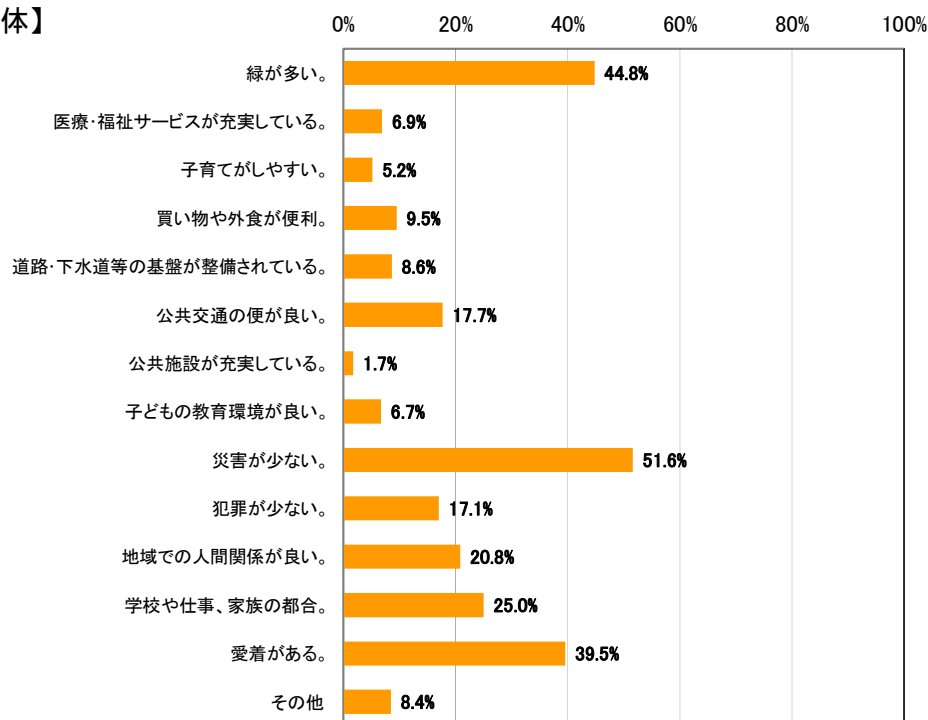
- 「これからも住み続けたい」と答えた回答者の理由のうち、上位5項目をみると、「災害が少ない」「緑が多い」「愛着がある」「学校や仕事、家族の都合」「地域での人間関係がよい」となっています。
- 平成 22 年度との比較でみると、上位5項目に変化はありませんが、首位は「緑が多い」から「災害が少ない」に交代しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------------|-------|-------|
| 1 緑が多い。 | 675 | 44.8% |
| 2 医療・福祉サービスが充実している。 | 104 | 6.9% |
| 3 子育てがしやすい。 | 78 | 5.2% |
| 4 買い物や外食が便利。 | 143 | 9.5% |
| 5 道路・下水道等の基盤が整備されている。 | 130 | 8.6% |
| 6 公共交通の便が良い。 | 267 | 17.7% |
| 7 公共施設が充実している。 | 26 | 1.7% |
| 8 子どもの教育環境が良い。 | 101 | 6.7% |
| 9 災害が少ない。 | 778 | 51.6% |
| 10 犯罪が少ない。 | 257 | 17.1% |
| 11 地域での人間関係が良い。 | 314 | 20.8% |
| 12 学校や仕事、家族の都合。 | 377 | 25.0% |
| 13 愛着がある。 | 596 | 39.5% |
| 14 その他 | 127 | 8.4% |
| 合計 | 1,507 | - |

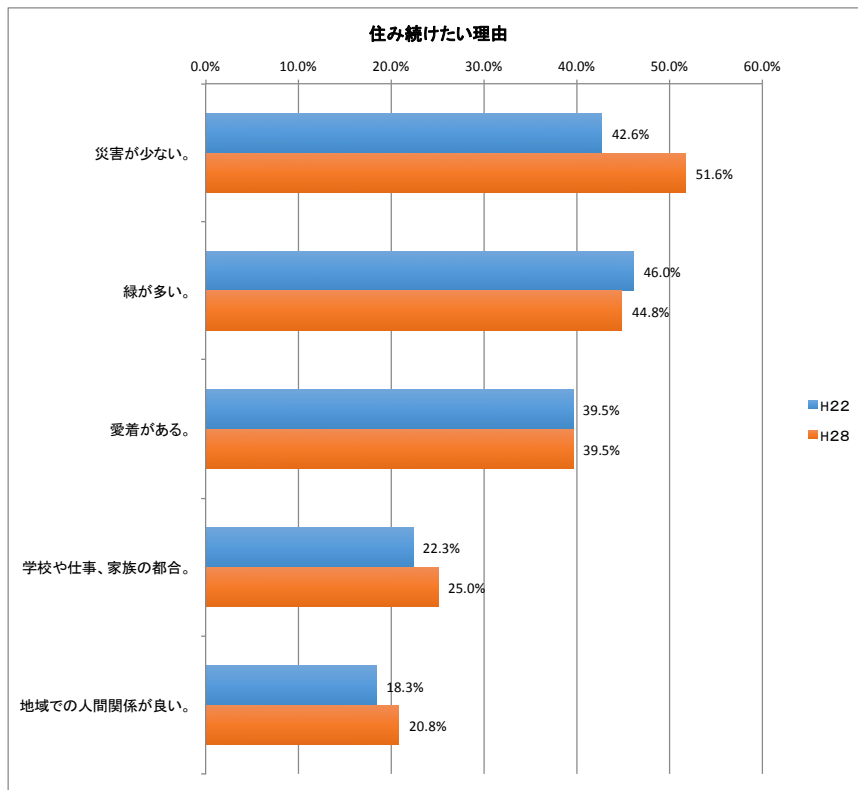
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を3つまで選択する方式である

※2. 回答数の合計は問34で「1」「2」を選択した人数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



問34-2 住み続けたいとは思わない理由は何ですか？ <3つまで選択>

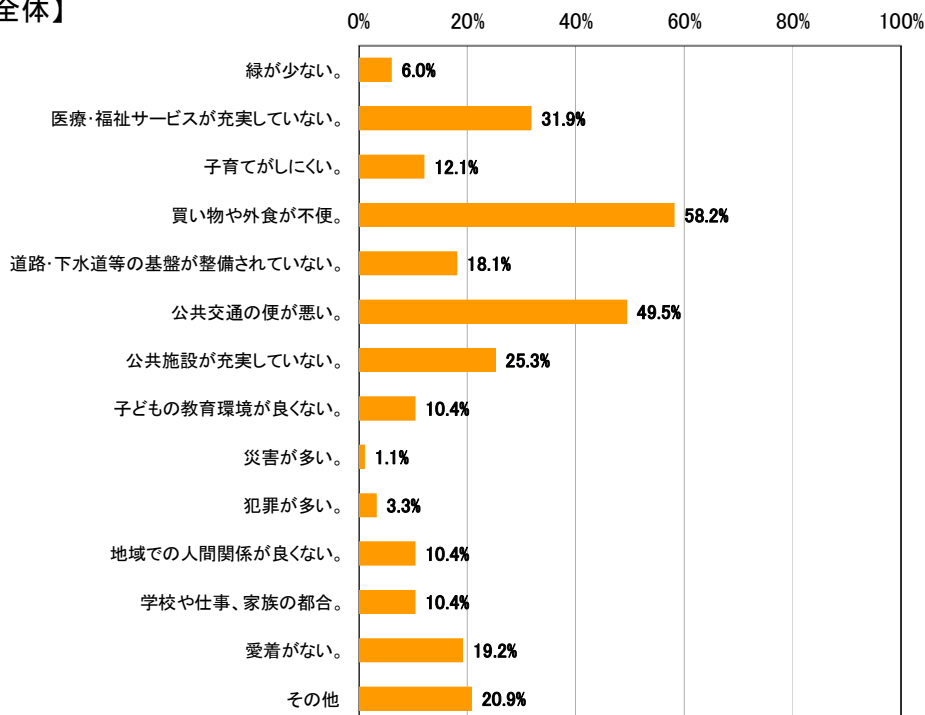
- 「他の市町村へ移りたい」と答えた回答者の理由のうち、上位5項目をみると、「買い物や外食が不便」「公共交通の便が悪い」「医療・福祉サービスが充実していない」「公共施設が充実していない」「愛着がない」となっています。
- 平成 22 年度との比較でみると、上位5項目に変化はありません。理由のうち「医療・福祉サービスが充実していない」を除く4項目はいずれも平成 22 年度より 28 年度のほうが増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|------------------------|-----|-------|
| 1 緑が少ない。 | 11 | 6.0% |
| 2 医療・福祉サービスが充実していない。 | 58 | 31.9% |
| 3 子育てがしにくい。 | 22 | 12.1% |
| 4 買い物や外食が不便。 | 106 | 58.2% |
| 5 道路・下水道等の基盤が整備されていない。 | 33 | 18.1% |
| 6 公共交通の便が悪い。 | 90 | 49.5% |
| 7 公共施設が充実していない。 | 46 | 25.3% |
| 8 子どもの教育環境が良くない。 | 19 | 10.4% |
| 9 災害が多い。 | 2 | 1.1% |
| 10 犯罪が多い。 | 6 | 3.3% |
| 11 地域での人間関係が良くない。 | 19 | 10.4% |
| 12 学校や仕事、家族の都合。 | 19 | 10.4% |
| 13 愛着がない。 | 35 | 19.2% |
| 14 その他 | 38 | 20.9% |
| 合計 | 182 | - |

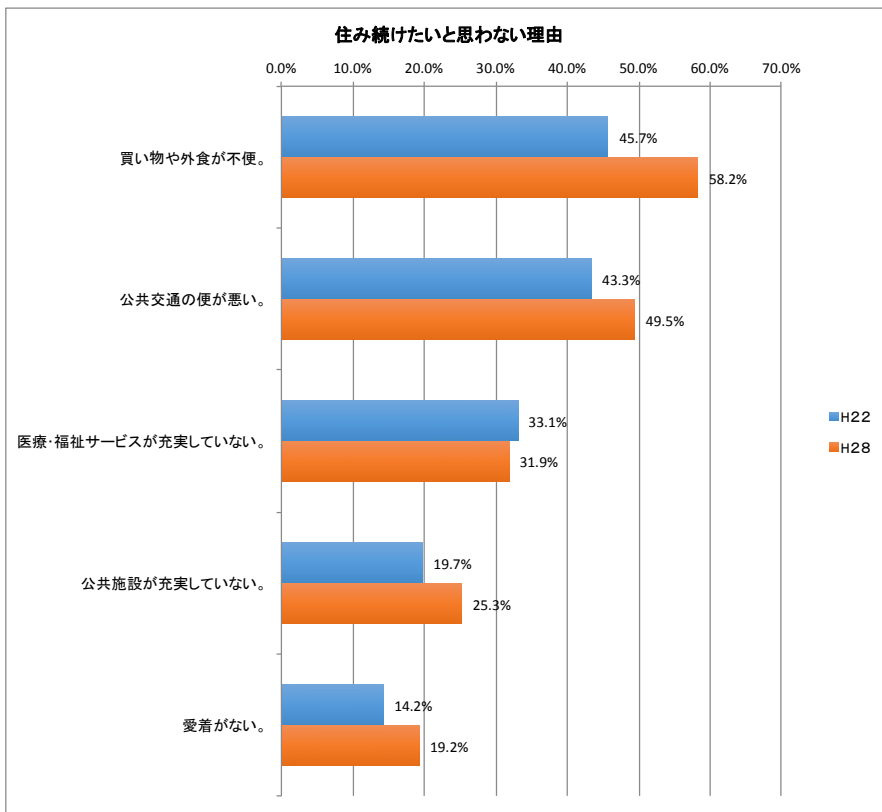
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を3つまで選択する方式である

※2. 回答数の合計は問34で「3」「4」を選択した人数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



⑥ 犬山市の魅力

問35 総合的にみて、犬山市は魅力あるまちだと思いますか。

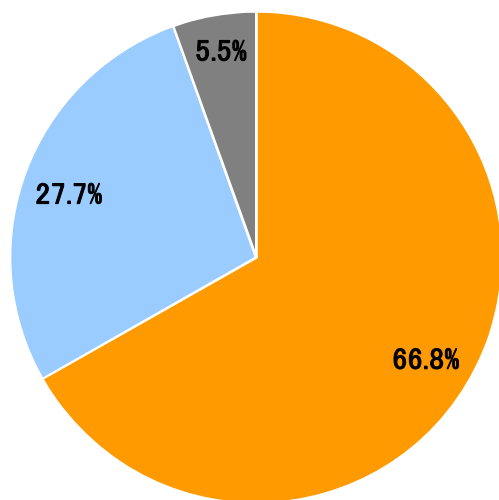
■総合的にみて、犬山市は魅力あるまちだと思う市民は 66.8%であり、平成 22 年度の 63.3%から 3.5 ポイント増加しています。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 はい | 1,170 | 66.8% |
| 2 いいえ | 486 | 27.7% |
| 3 無回答 | 96 | 5.5% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

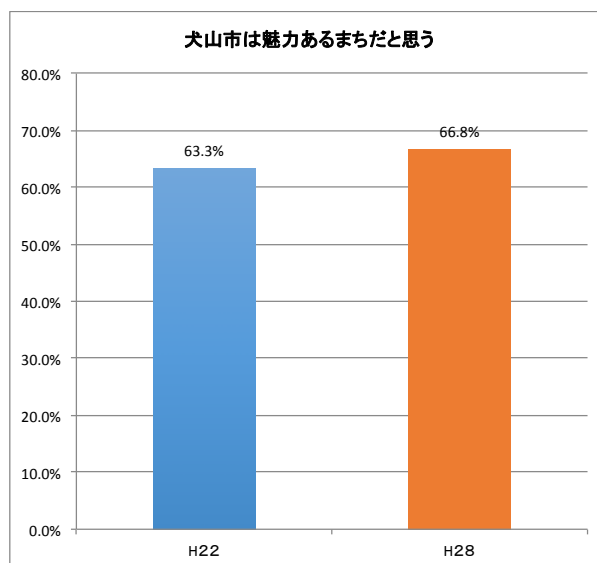
※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

【H28 年・全体】



【H22 年度との比較】



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

2-3 市政に対する評価と今後の期待

第5次犬山市総合計画で当初位置付けた施策について、市民の現状での評価（満足度）と、今後の期待（重要度）を調査しました。

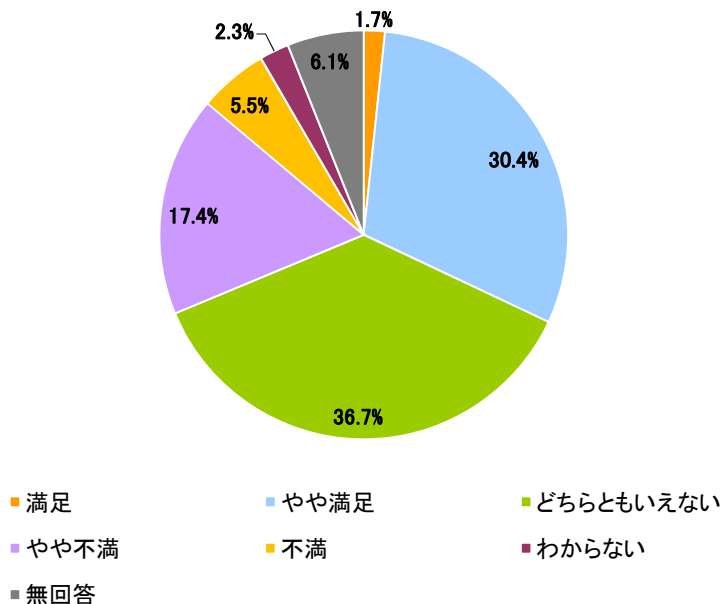
8 『第5次犬山市総合計画』に書かれた以下の施策(1-1～10-3)に基づき、これまでの5年間、まちづくりの施策を進めてきましたが、現在の「満足度」と、今後施策を進める上での「重要度」をお答えください。（「重要度」については、「今後犬山市が取り組むべき施策としてどの程度重要か」という観点でお答えください。）

①総合的な満足度

| 満足度 | 満足 | やや満足 | どちらとも いえない | やや不満 | 不満 | わからない | 無回答 | 合計 |
|----------|----|------|---------------|------|----|-------|-----|-------|
| 1 犬山市の現状 | 29 | 532 | 643 | 305 | 96 | 41 | 106 | 1,752 |

■犬山市の過去5年間の施策を総合的にみて、「満足」「やや満足」と答えたのは32.1%と概ね1/3を占めています。「やや不満」「不満」は22.9%、「どちらともいえない」が36.7%となっています。

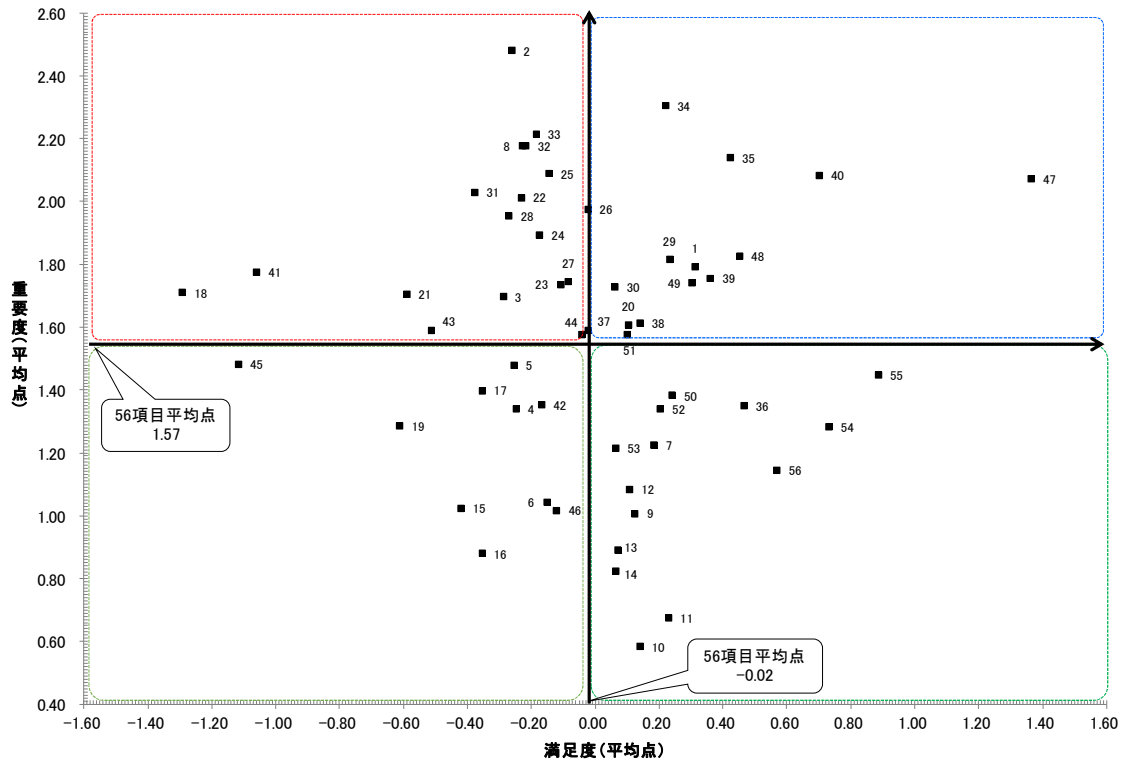
【H28年・全体】



②満足度と重要度の分布

■各施策について、満足度、重要度を得点化して比較すると以下のとおりです。図中、グラフの左上の象限（赤いエリア）内にある施策は、「満足度が平均より低い」かつ「重要度が平均より高い」ものを示しており、改善の必要性が高い施策と位置付けることができます。

【H28年・全体】



【改善を要する項目】満足度が「低」重要度が「高」

- 2地域医療・救急医療体制の充実
- 3効率的・効果的な行政運営
- 8健全な財政運営
- 18魅力ある商業地の整備
- 21雇用環境の向上
- 22地域福祉の充実・福祉施設の整備
- 23高齢者の生きがいづくりと社会参加
- 24高齢者福祉の充実・地域包括ケア体制の確立
- 25子育て支援・子育て環境の整備
- 26保育サービスの充実
- 27障害者(児)福祉の充実
- 28社会保障の充実(低所得者支援、国民健康保険・国民年金の運営、福祉医療)
- 31交通安全意識の高揚・交通環境の整備
- 32防犯体制・環境の整備
- 33災害に強いまちづくり(施設の耐震化・防災体制の充実)
- 37公園の整備・管理、緑化の推進
- 41駅周辺地区の整備(駅周辺の魅力づくり)、市街地の整備
- 43道路・橋りょうの整備
- 44鉄道の利便性向上

【現在の水準を維持していく項目】満足度が「高」重要度が「高」

- 1健康づくりの推進
- 20観光資源の整備・情報発信の充実
- 29治水対策(河川・ため池整備、雨水排水対策)
- 30治山対策(土砂災害対策)
- 34救急・救助体制の充実
- 35消防体制の整備・火災予防の充実
- 38公害対策、環境保全と美化
- 39し尿・生活排水の適正処理
- 40ごみの適正処理
- 47上水道の整備(安全でおいしい水の供給)
- 48下水道の整備
- 49義務教育の充実(特色ある学校づくり)
- 51青少年の健全育成

【現状を維持するあり方を検討する項目】満足度が「低」重要度が「低」

- 4消費者の保護
- 5公共施設の維持管理・整備
- 6周辺自治体などとの連携
- 15農地の保全・活用
- 16農業経営の確立
- 17地産地消の推進
- 19中小企業の振興
- 42地域特性を活かした景観づくり
- 45バスの利便性向上
- 46住宅・宅地の供給と住環境の整備

【改善の必要性が低い項目】満足度が「高」重要度が「低」

- 7広報広聴活動の充実や情報公開
- 9市民参画の推進・市民活動の支援
- 10国内都市間交流の推進
- 11国際交流活動の推進
- 12平和活動の推進
- 13男女共同参画の推進
- 14多文化共生の推進
- 36自然環境の保全と活用・里山文化の育成
- 50生涯学習活動の充実・支援
- 52図書館の充実
- 53スポーツの振興・指導者育成・施設の充実
- 54歴史・文化財の理解と意識の高揚
- 55歴史・文化財の保存・活用
- 56文化活動の振興・支援

【H21 年度調査との比較】

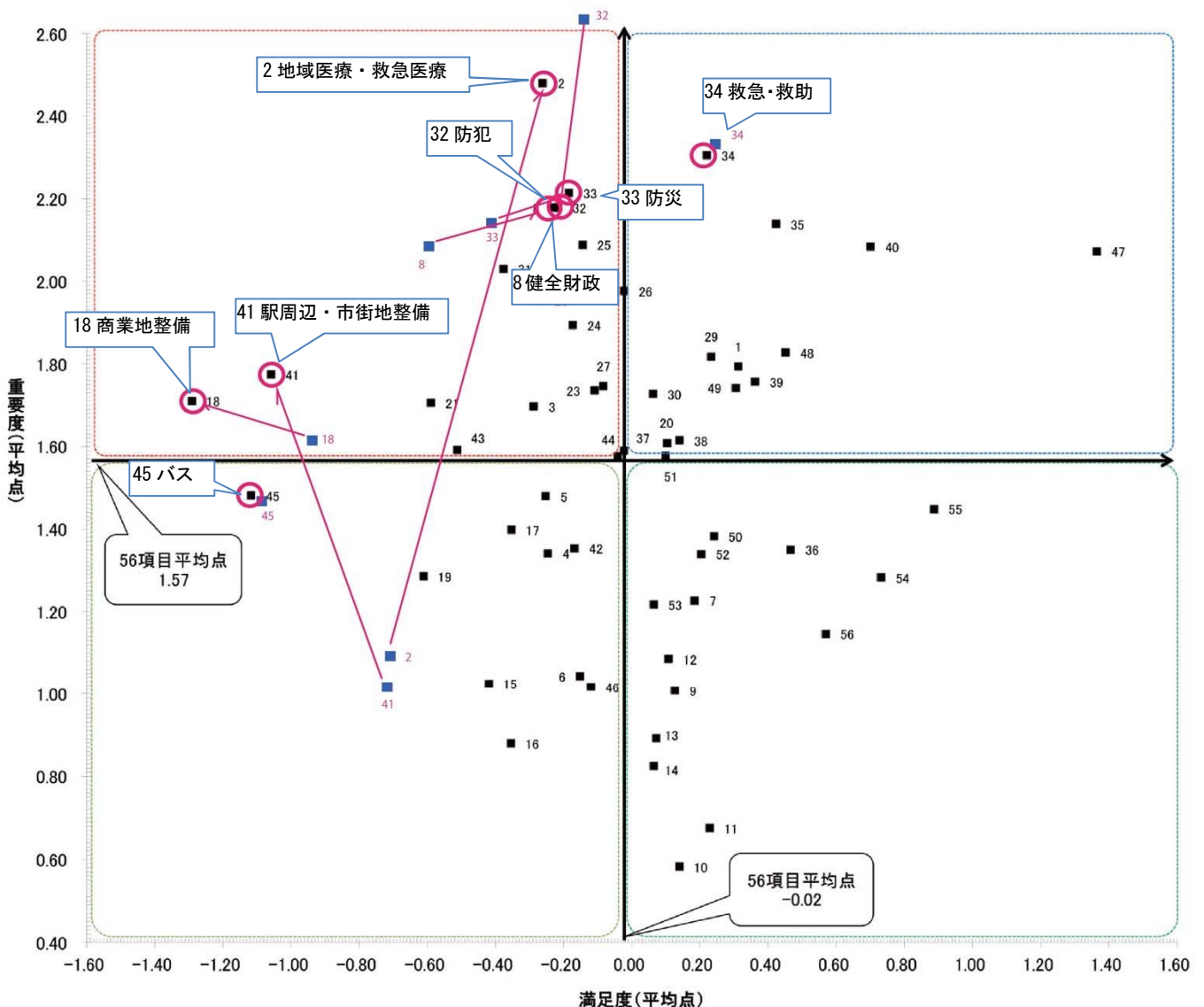
■ 図中、特に満足度が低い施策、特に重要度が高い施策について、平成 21 年度に行った調査と比較して数値の変動状況を整理しました。

【満足度が低いもの】（グラフの左方に分布しているもの）

- 18 商業地整備（満足度は低下し、重要度は上昇）
- 41 駅周辺・市街地整備（満足度は低下し、重要度は上昇、特に重要度の上昇傾向が顕著）
- 45 バス利便性（満足度、重要度ともにほぼ変化なし）

【重要度が高いもの】（グラフの上端に分布しているもの）

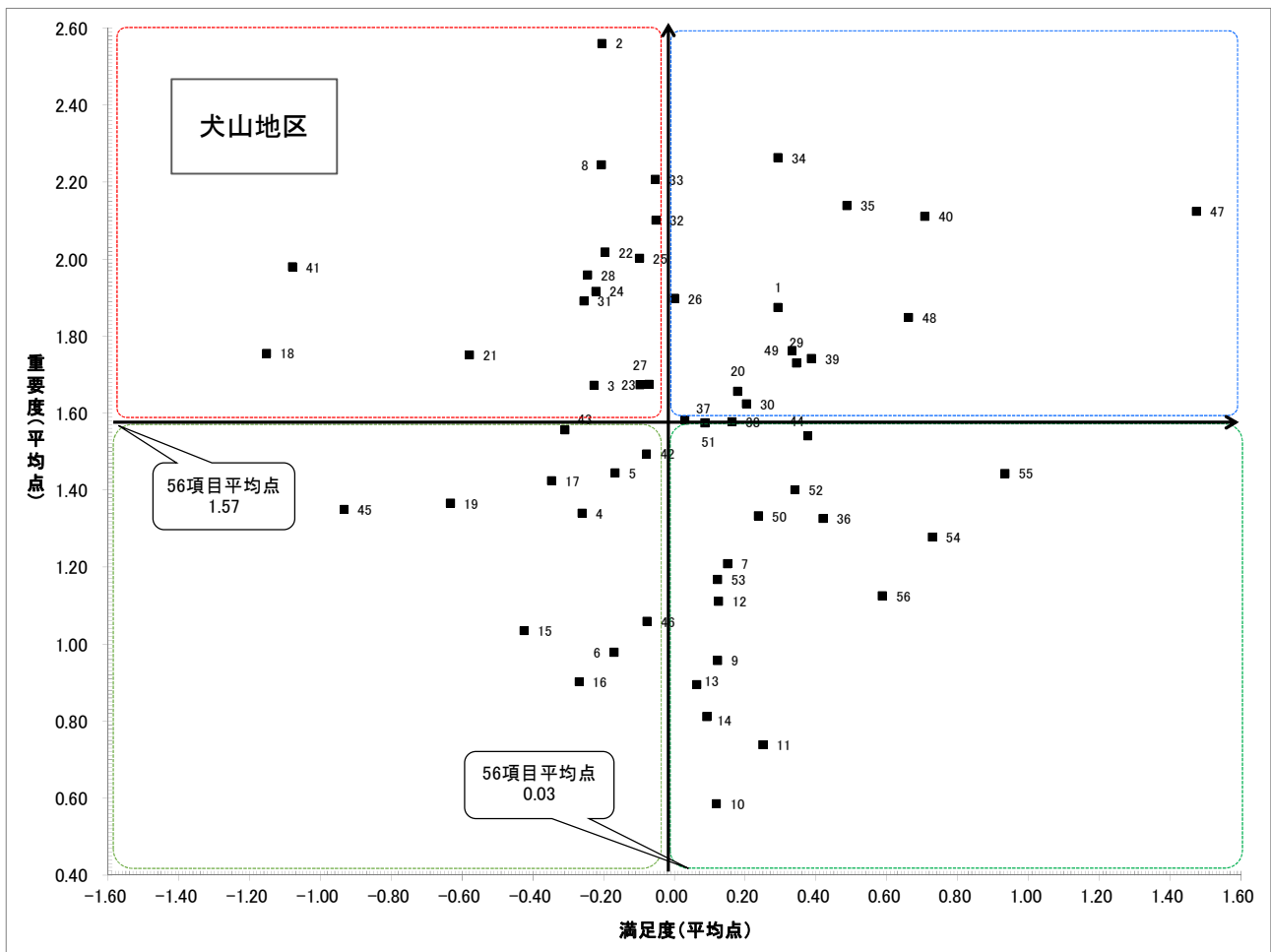
- 2 地域医療・救急医療（満足度は若干上昇、重要度は大きく上昇）
- 8 健全財政（満足度は上昇、重要度は若干上昇）
- 32 防犯（満足度は若干低下、重要度は大きく低下）
- 33 防災（満足度は低下、重要度はやや上昇）
- 34 救急・救助（満足度、重要度ともにほぼ変化なし）

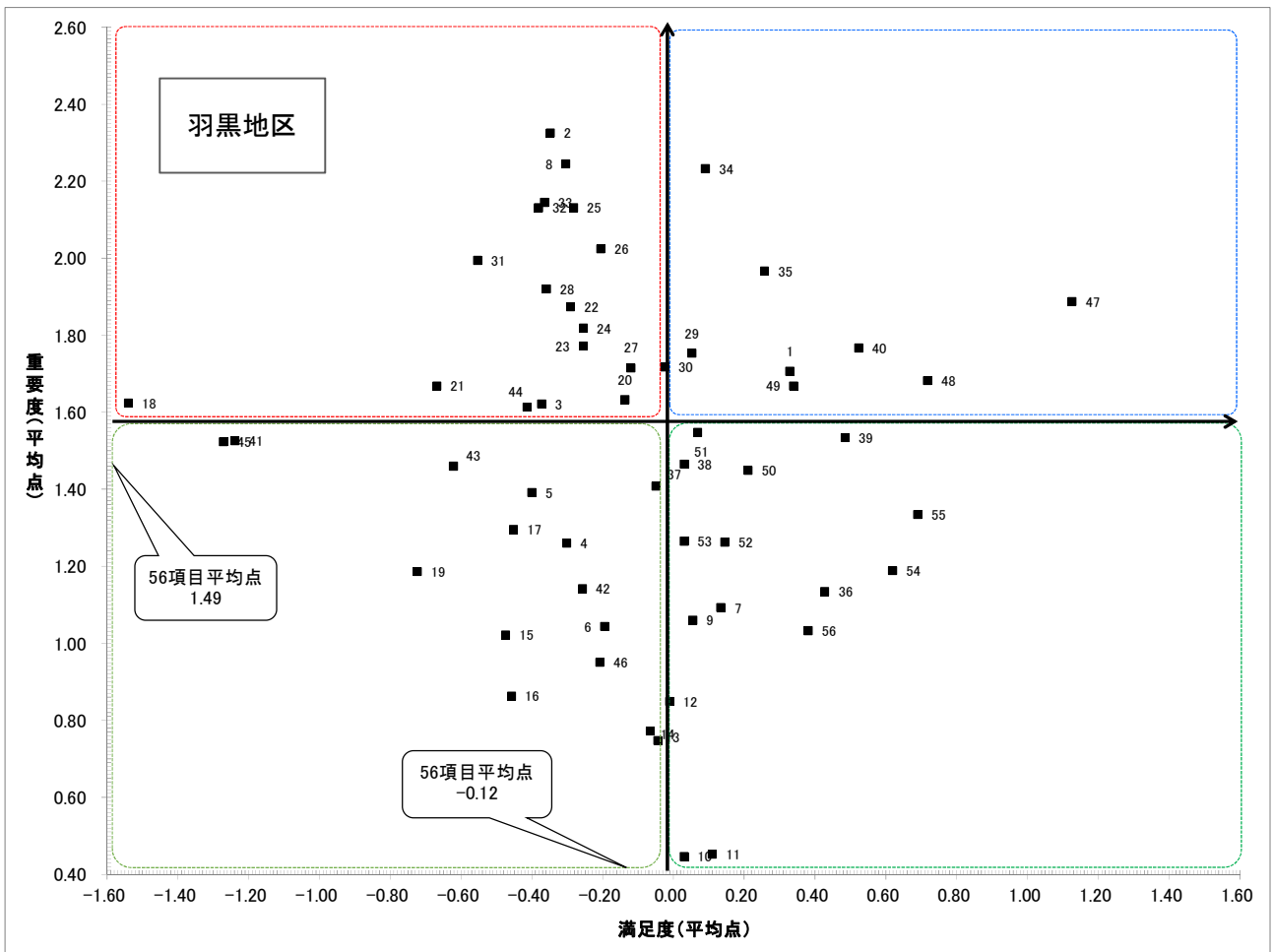
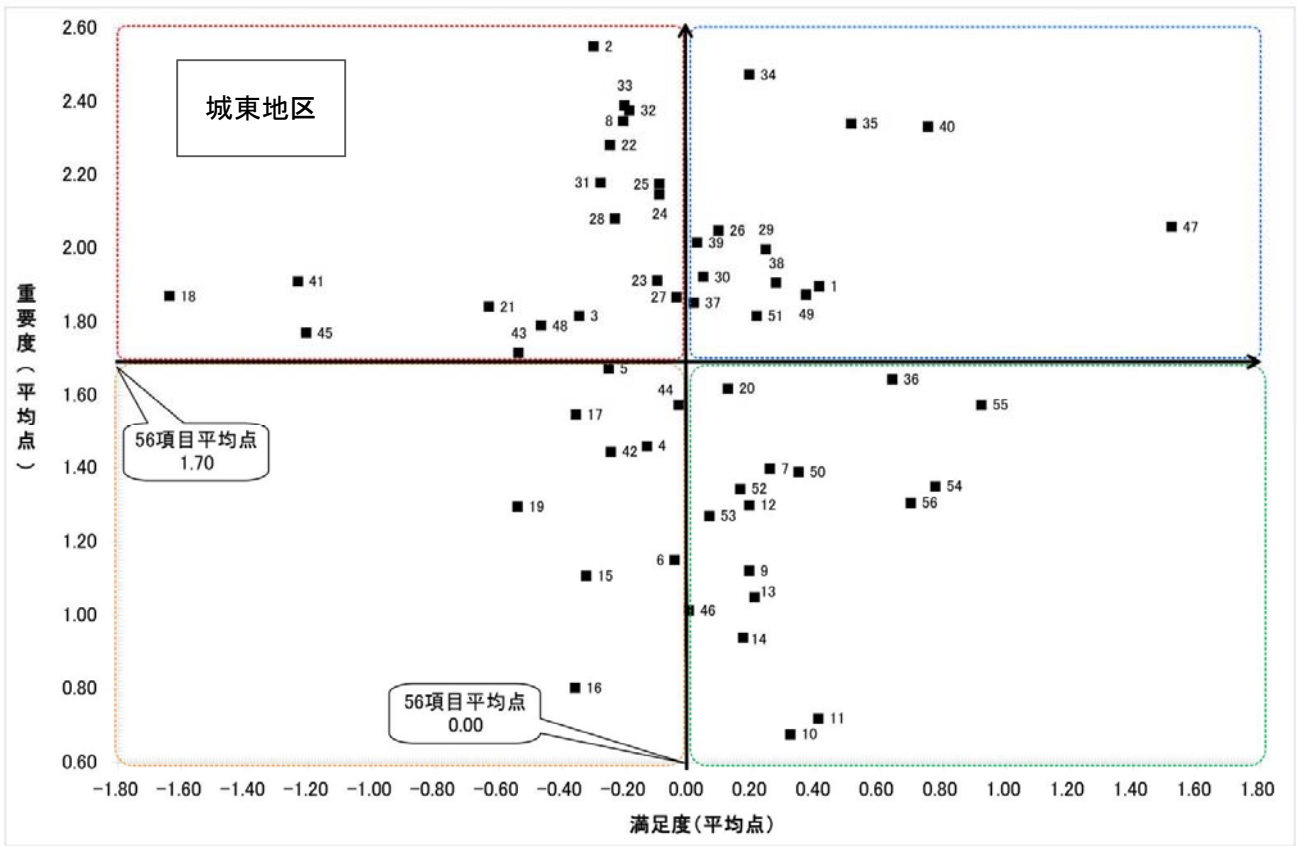


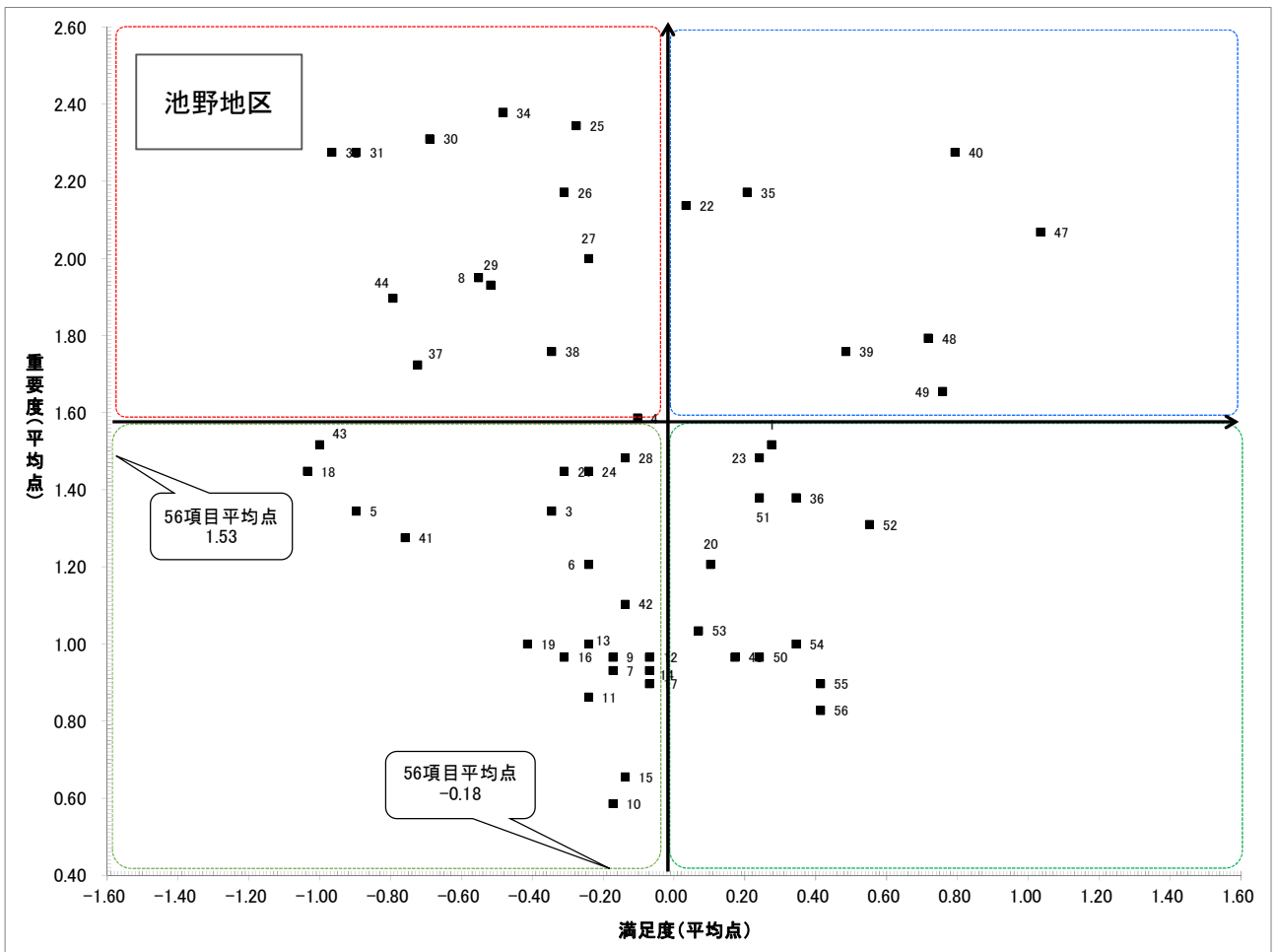
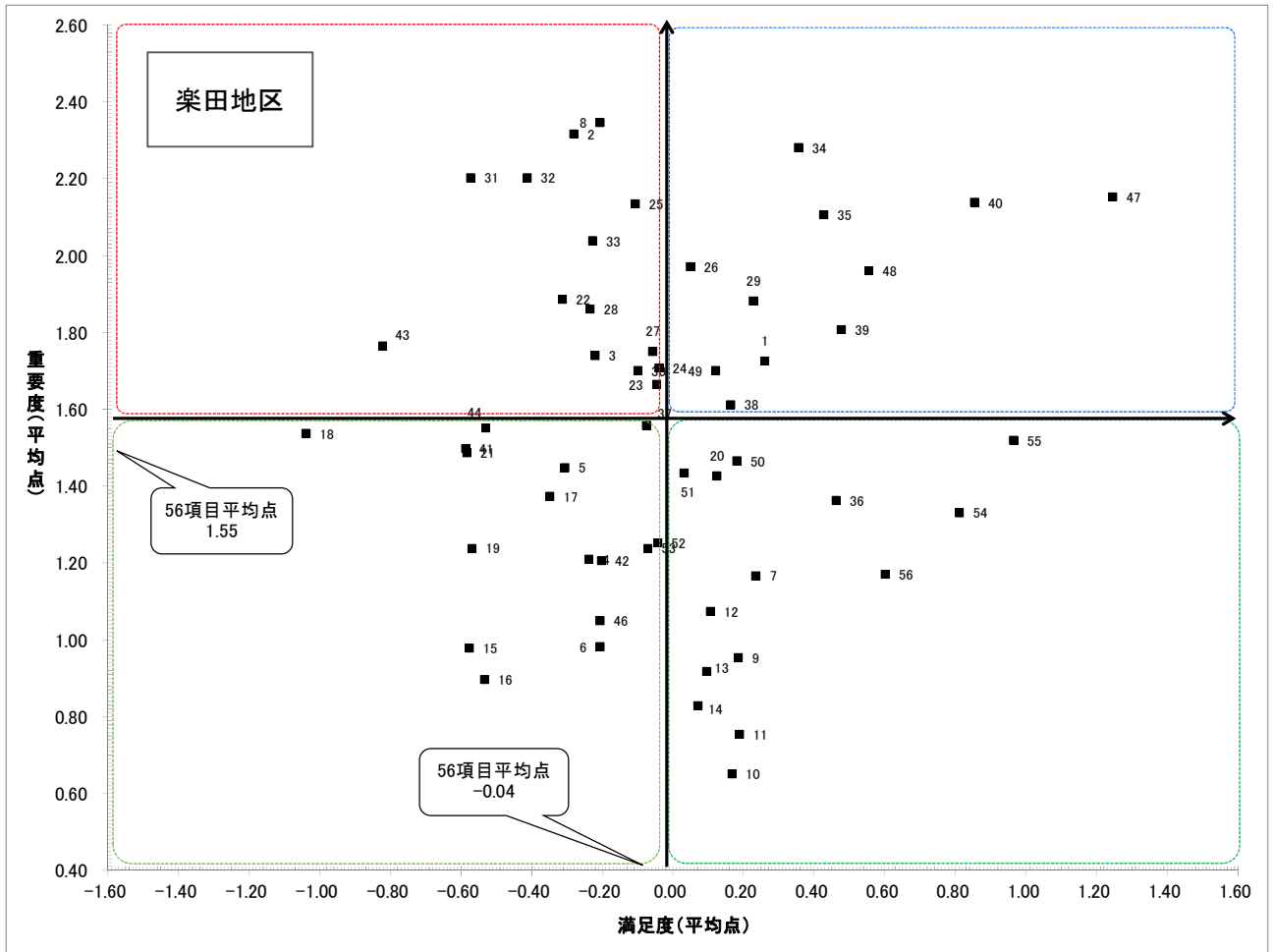
【地区別の比較】

■ 図中、特に満足度が低い施策、特に重要度が高い施策について、平成 21 年度に行った調査と比較して数値の変動状況を整理しました。

- 各地区とも共通して満足度が低い施策として、18「魅力ある商業地整備」41「駅周辺・市街地整備」45「バス利便性」等が挙げられる。
- 犬山地区の分布は概ね全体と類似した傾向にあり、18「魅力ある商業地整備」41「駅周辺・市街地整備」45「バス利便性」の満足度が低い。
- 城東地区の特徴としては、18「魅力ある商業地整備」の満足度が-1.64 と著しく低い（図左端欄外）
- 羽黒地区の特徴としては、城東地区と同様、18「魅力ある商業地整備」の満足度が-1.54 と目立って低い。
- 楽田地区の特徴としては、43「道路・橋梁」の満足度が他地区と比較して低い。
- 池野地区では、特に突出して満足度が低い施策がないかわりに、全体的に満足度が低い。他地区と異なり、5「公共施設の維持管理」31「交通安全」33「防災」37「公園整備」43「道路・橋梁」44「鉄道利便性」などが満足度が低いグループに属している。



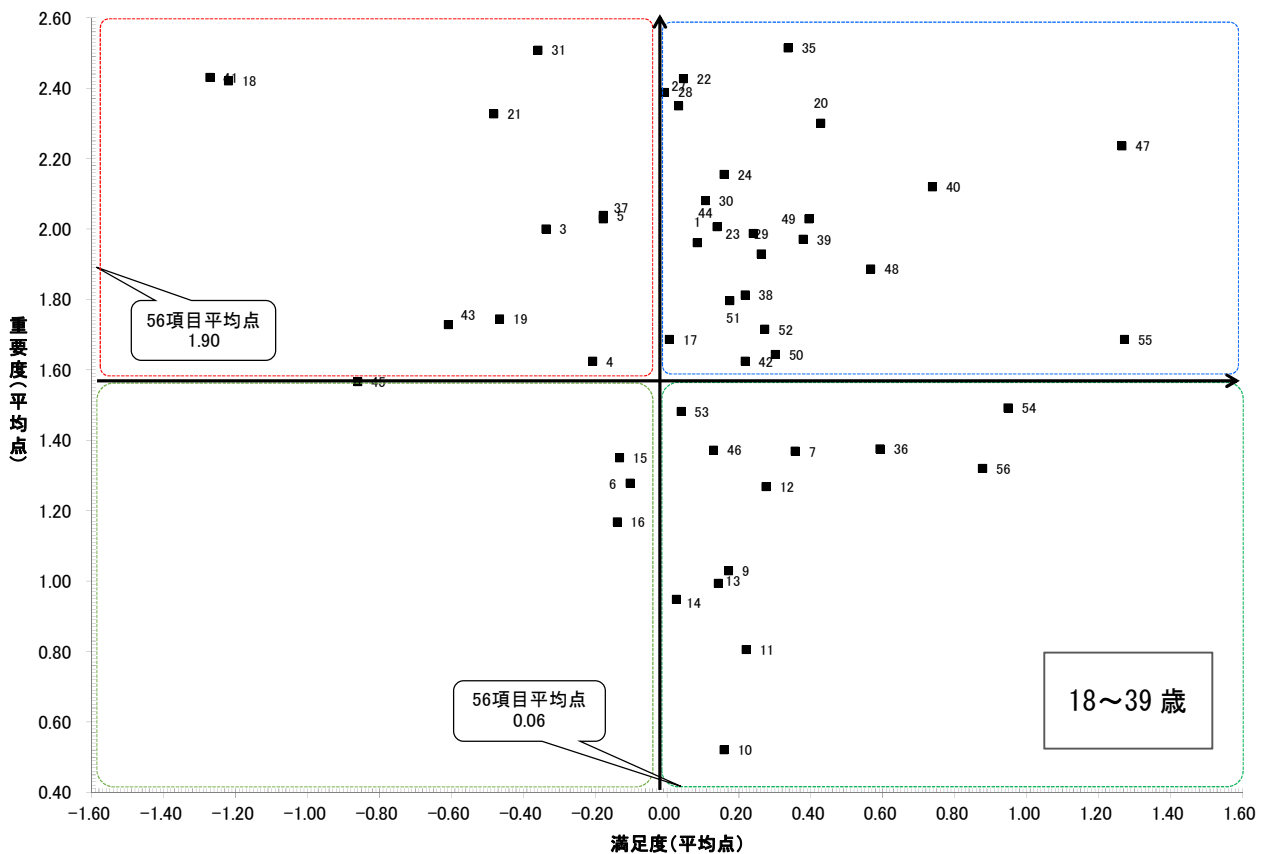


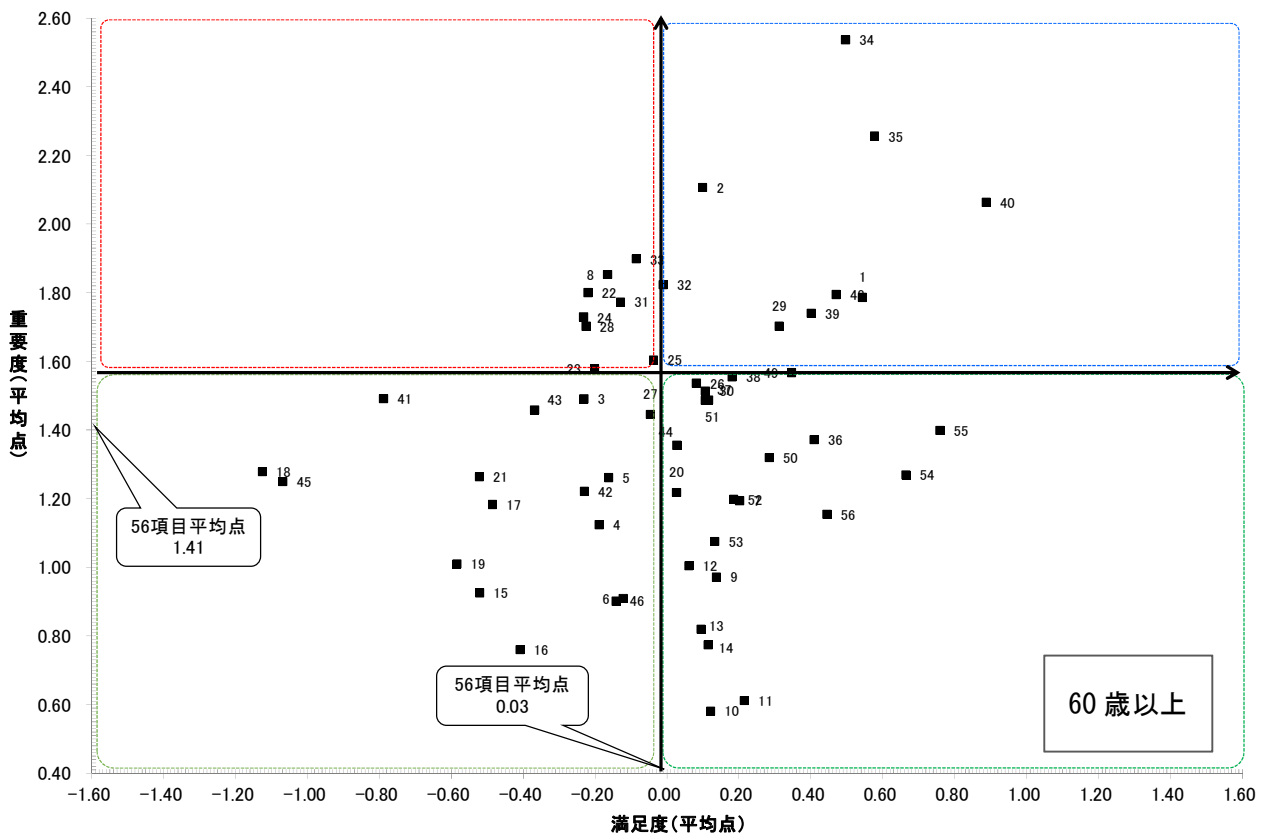
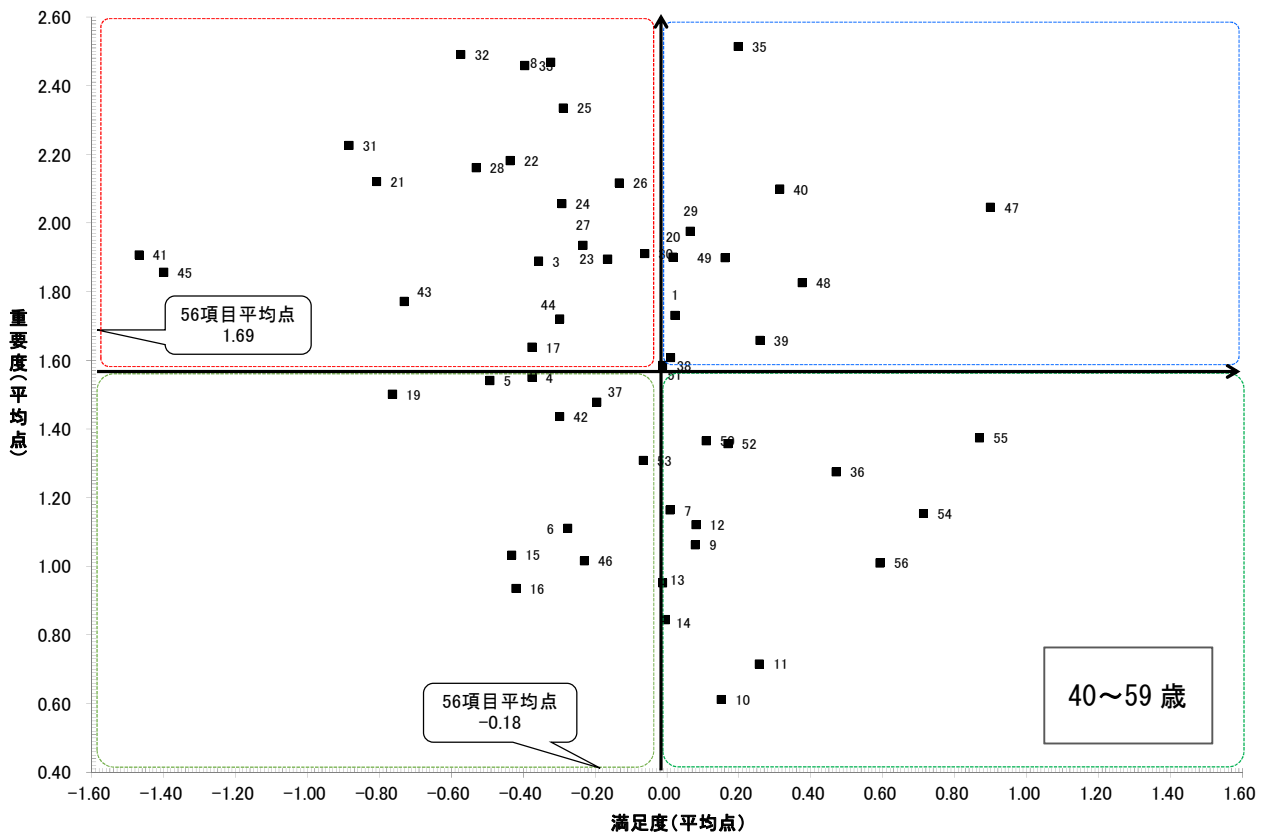


【年代別の比較】

■ 図中、特に満足度が低い施策、特に重要度が高い施策について、平成 21 年度に行った調査と比較して数値の変動状況を整理しました。

- 18～39 歳：18「魅力ある商業地整備」41「駅周辺・市街地整備」が突出して満足度が低く重要度が高い。
- 40～59 歳：上記に加え 45「バス利便性」31「交通安全」21「雇用環境」19「中小企業振興」の満足度の低さが目立つ。
- 60 歳以上：満足度が低く重要度が高い施策（グラフの左上の領域）が少ないのが特徴といえる。そうしたなか、満足度が低い施策は概ね全体と類似傾向にあり、18「魅力ある商業地整備」41「駅周辺・市街地整備」45「バス利便性」が満足度が低いグループに属する。





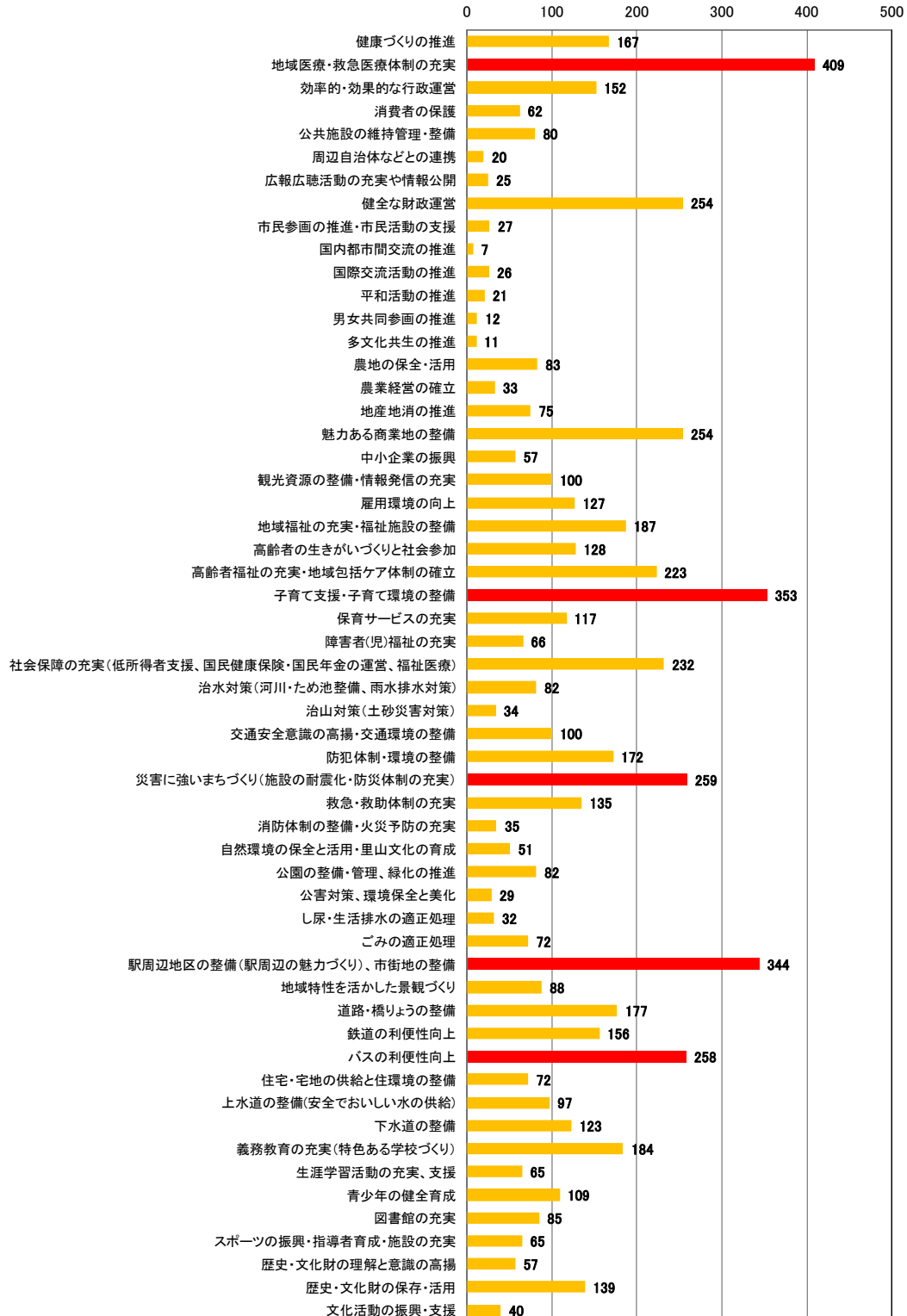
③特に重要と思う施策

■各施策のうち「特に重要と思うもの」を選んだ結果は以下のとおりです。

【H28年・全体】

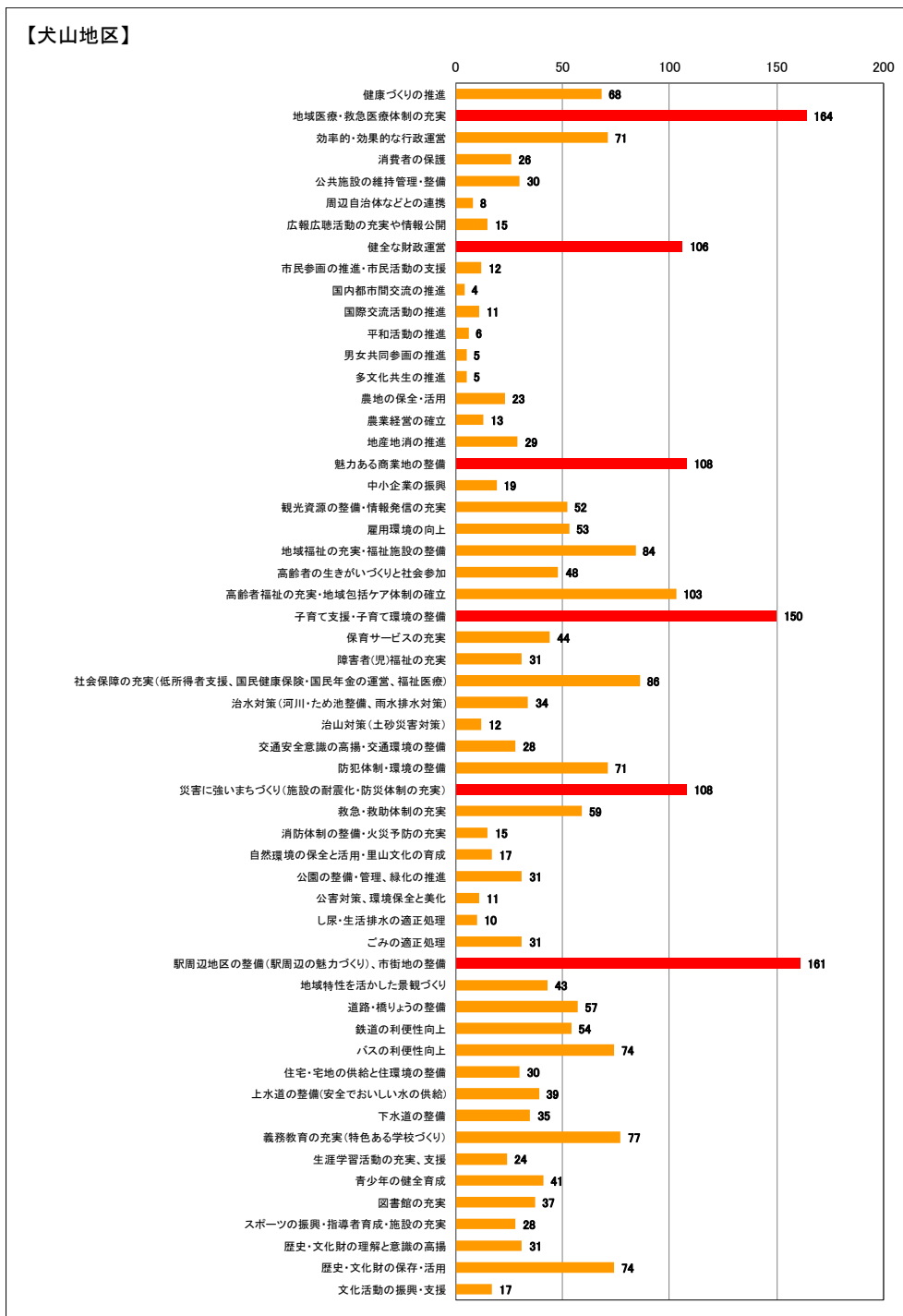
・上位5位の施策は、「医療」「子育て」「駅周辺整備・市街地整備」「防災」「バス」。

※図中の赤表示が上位5項目（以下同じ）

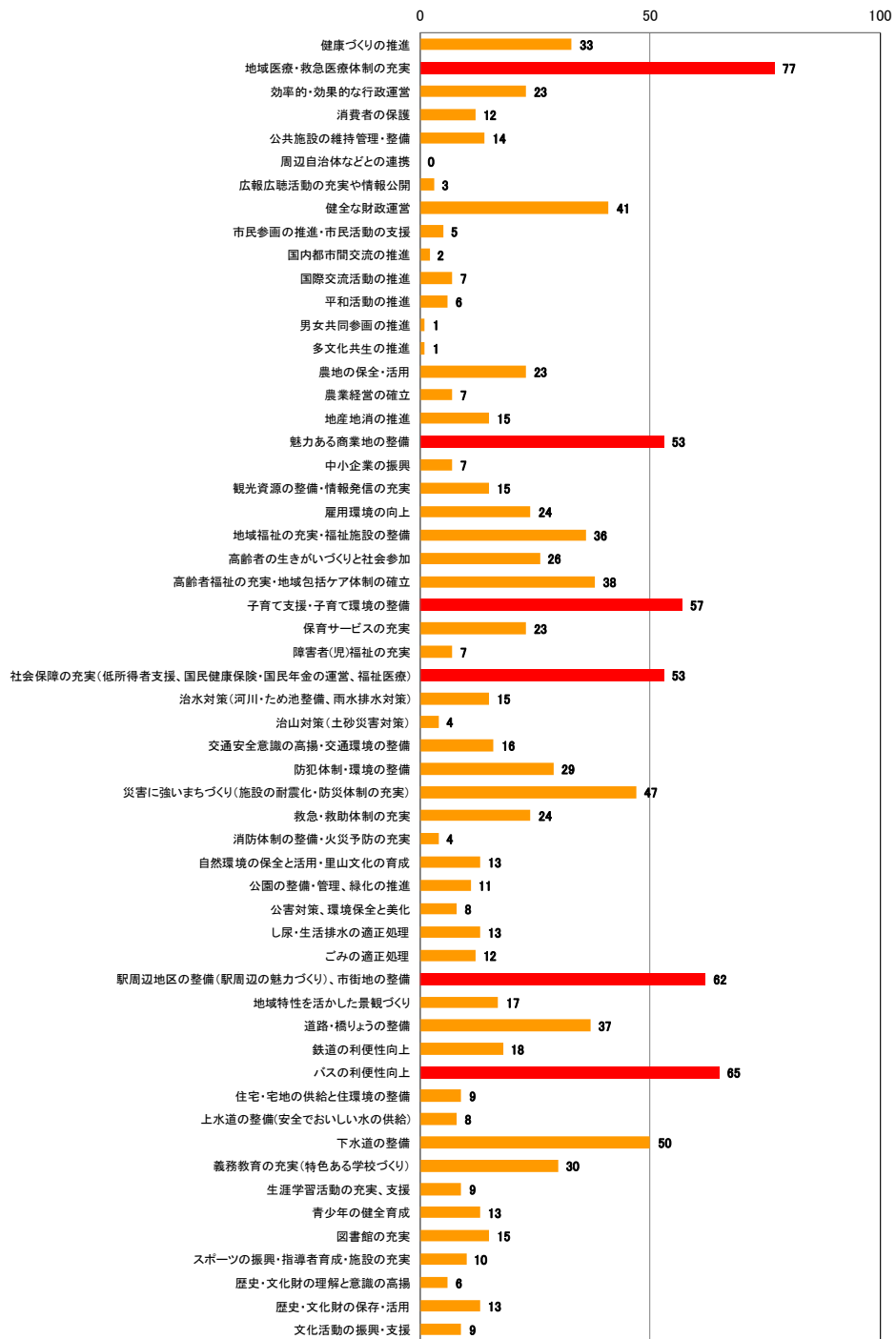


【地区別の比較】

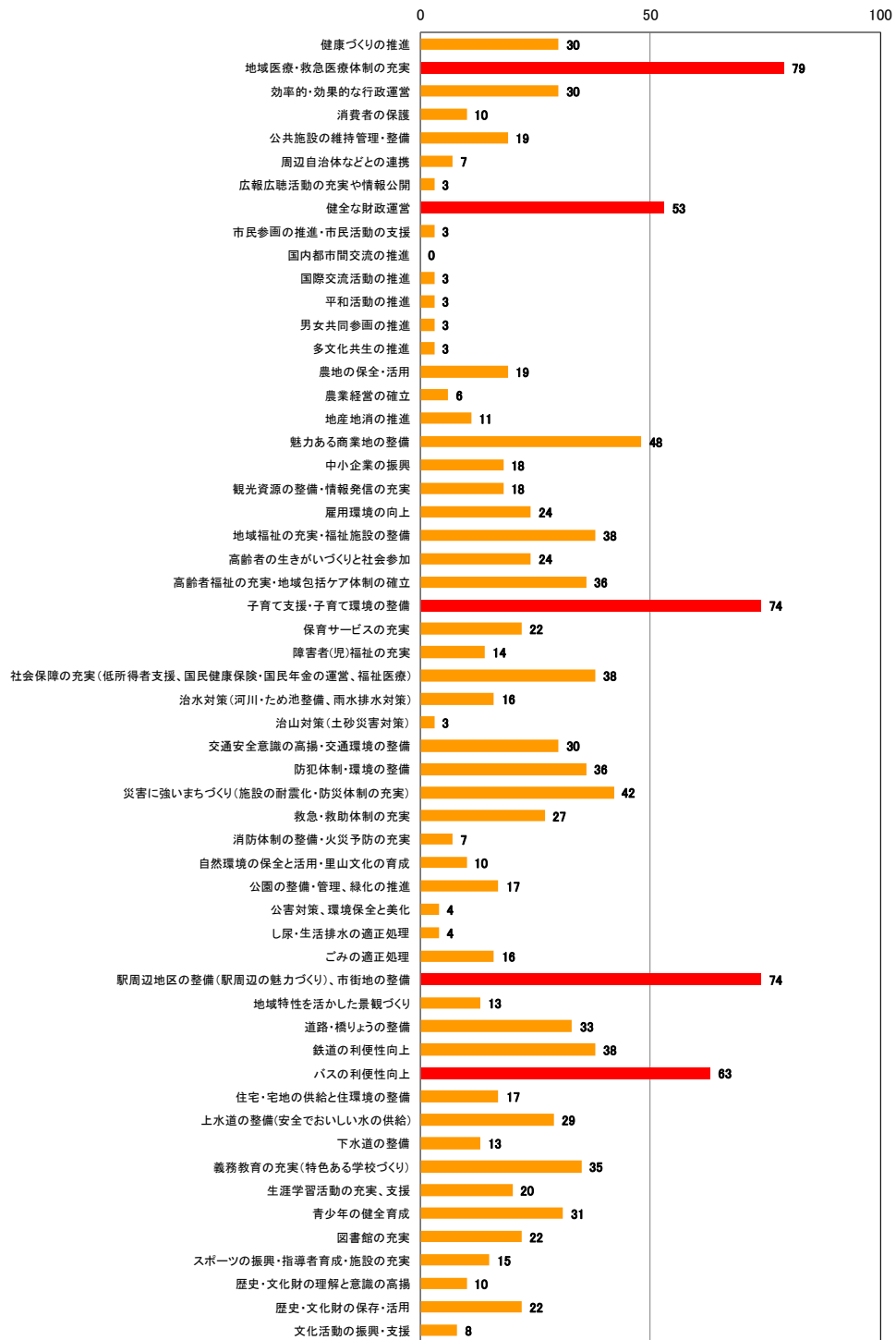
- 各地区ともに共通して重視されている施策は「医療」「子育て」。
- 犬山地区における上位5位の施策は「医療」「駅周辺整備」「子育て」「防災」「商業地整備」であり、概ね全体と同様な傾向。
- 城東地区における上位5位の施策は「医療」「バス」「駅周辺整備」「子育て」「商業地整備」「社会保障」。
- 羽黒地区における上位5位の施策は「医療」「子育て」「駅周辺」「バス」「財政」。
- 楽田地区における上位5位の施策は「医療」「子育て」「社会保障」「防災」「道路・橋梁」。
- 池野地区における上位5位の施策は「子育て」「防災」「医療」「バス」「教育」。



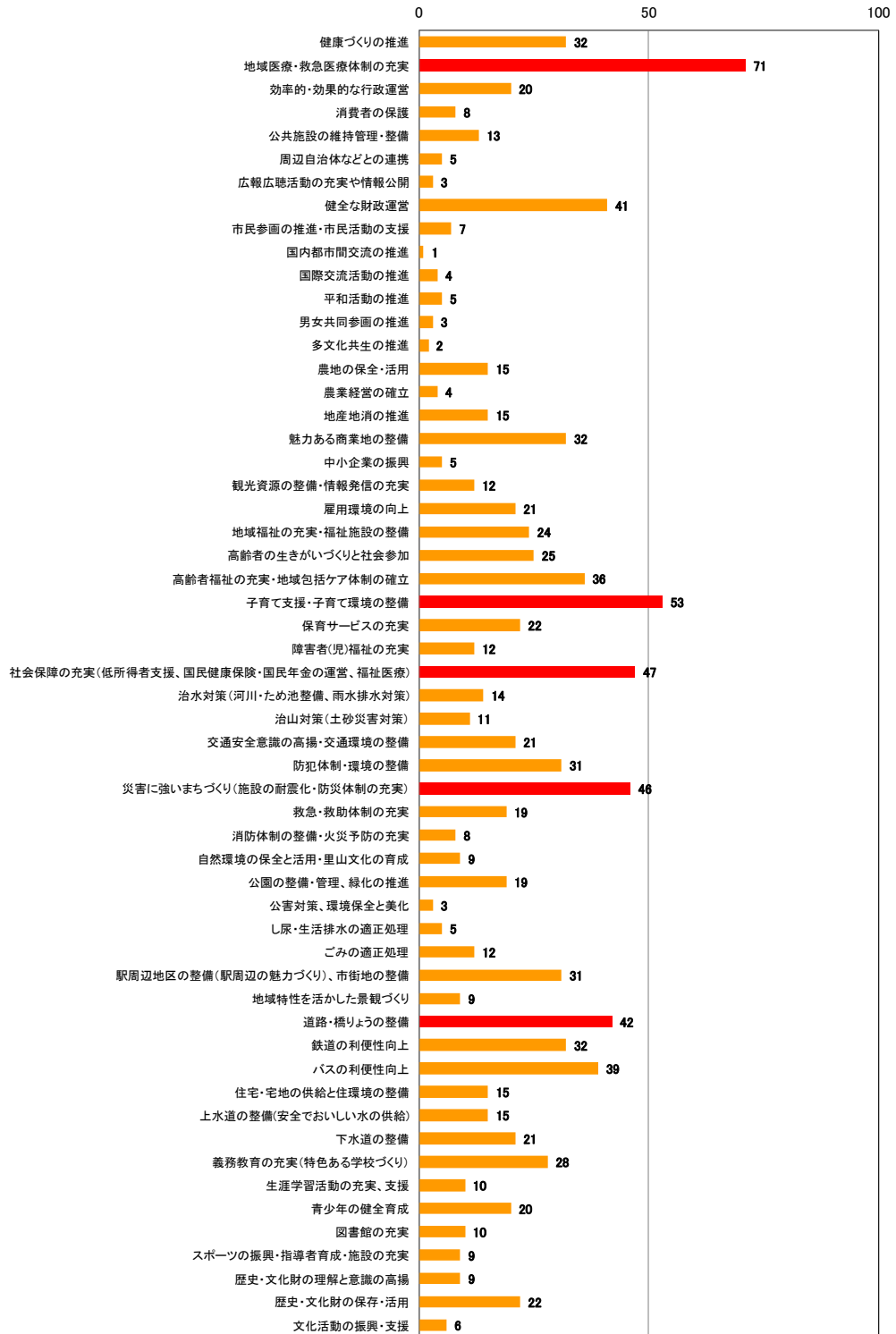
【城東地区】



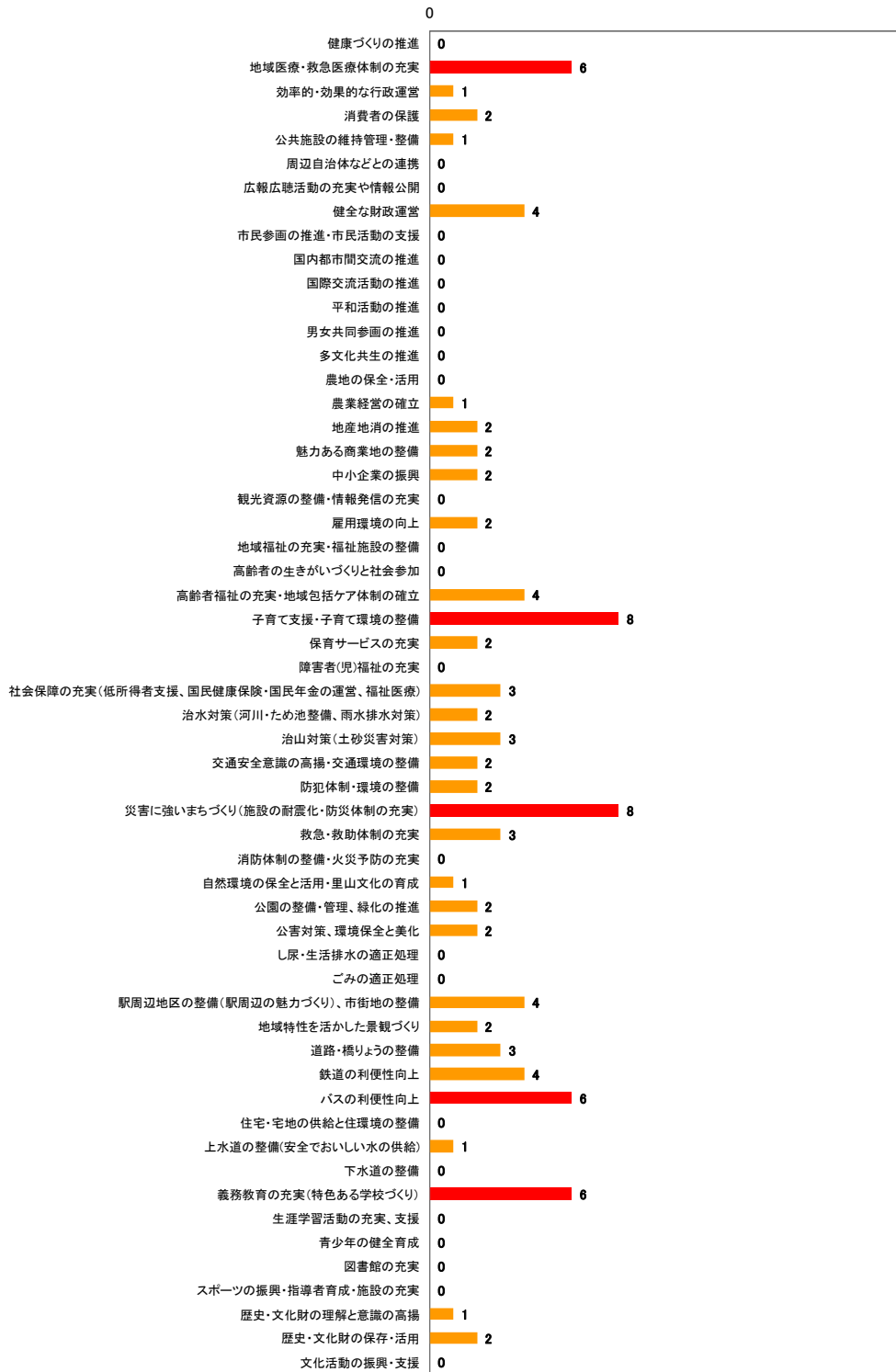
【羽黒地区】



【楽田地区】

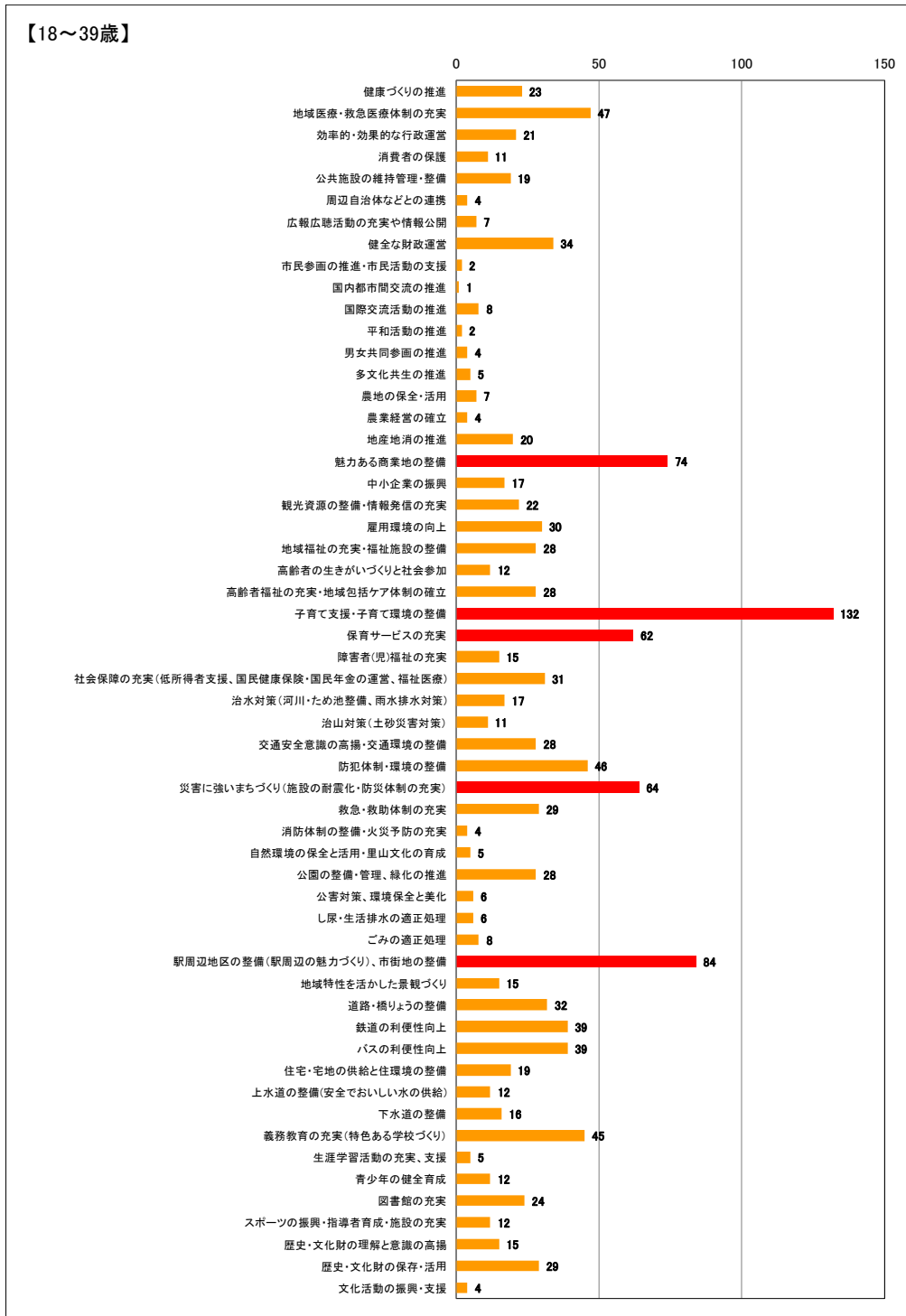


【池野地区】

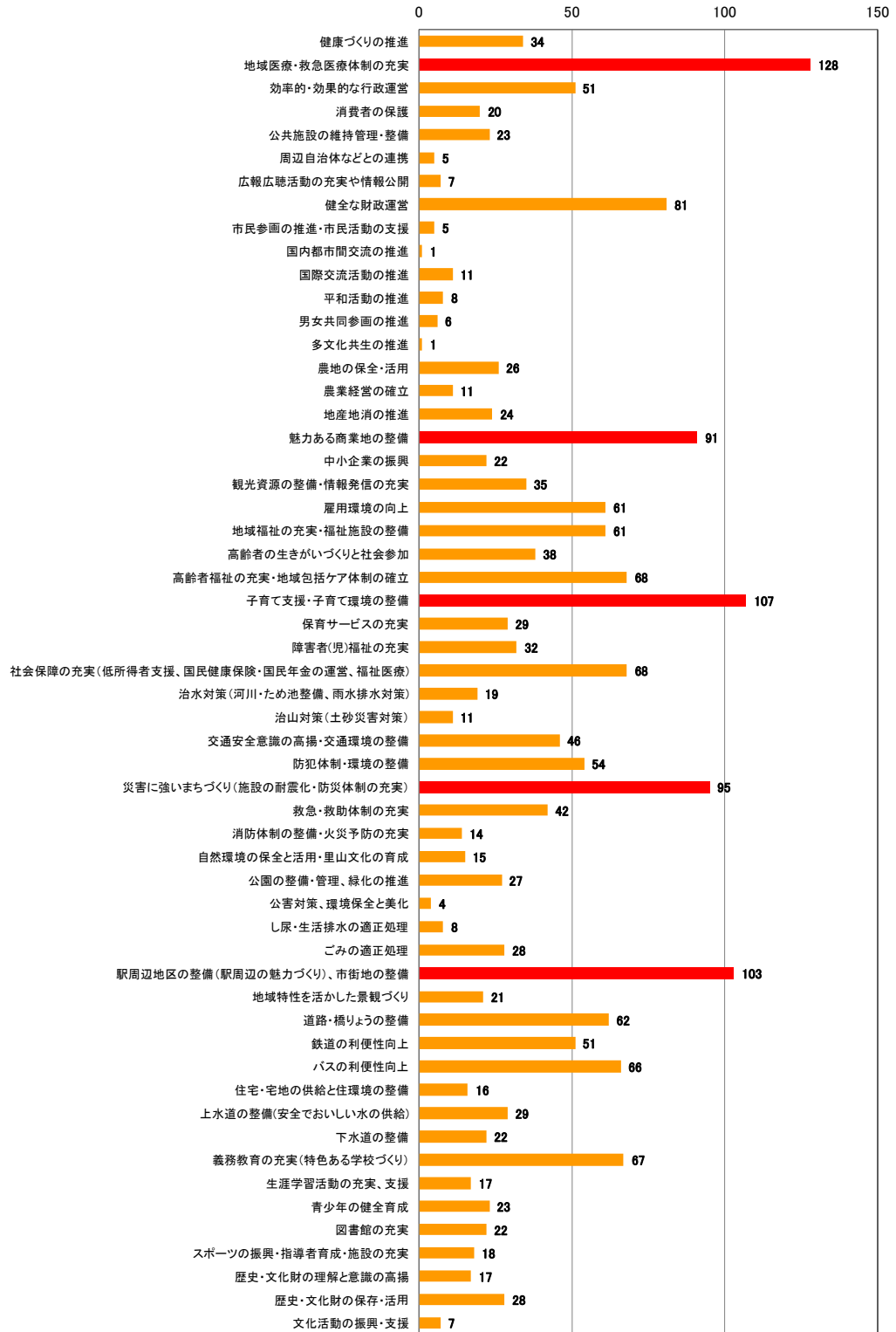


【世代別の比較】

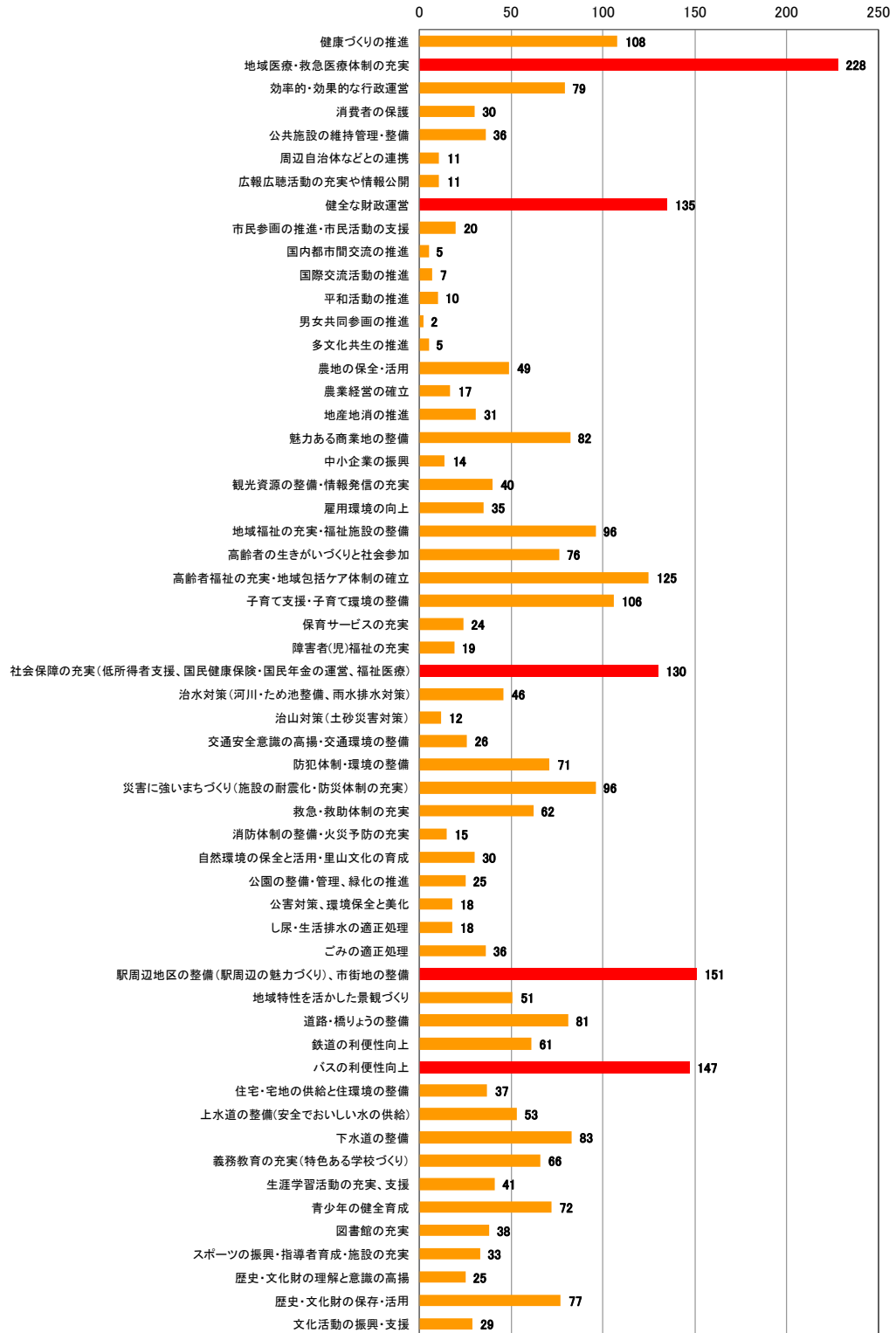
- 各世代共通する施策は「駅周辺整備」。また、比較的若い世代では「子育て」「保育」といった子育て世代のニーズ、一方高齢世代では「医療」「バス」「健全財政」「社会保障」など、暮らしの安心へのニーズが特徴といえます。
- 18～39歳における上位5位の施策は「子育て」「駅周辺整備」「商業地」「防災」「保育」。
- 40～59歳における上位5位の施策は「医療」「子育て」「駅周辺整備」「防災」「商業地」。
- 60歳以上における上位5位の施策は「医療」「駅周辺整備」「バス」「健全財政」「社会保障」。



【40～59歳】

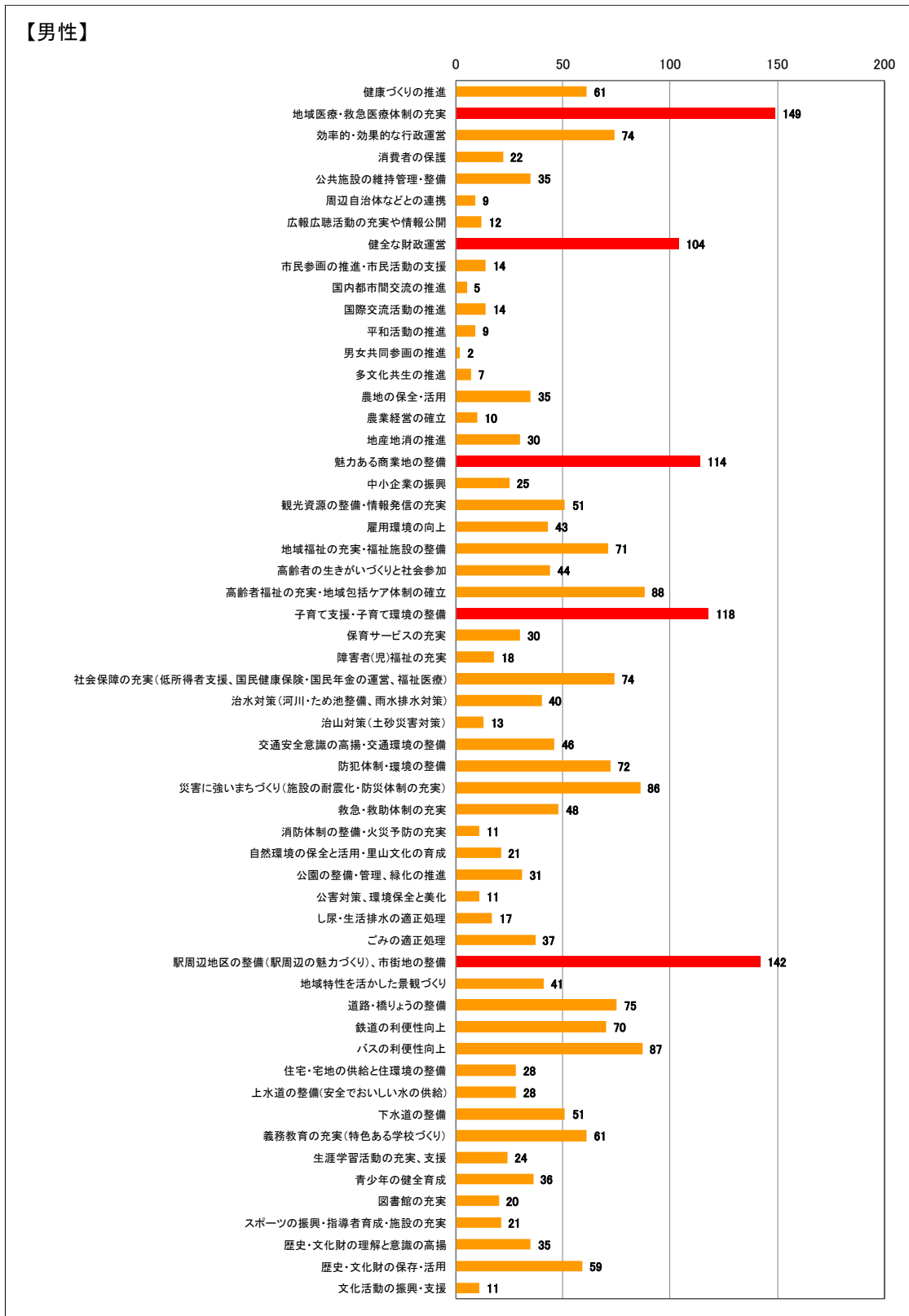


【60歳以上】

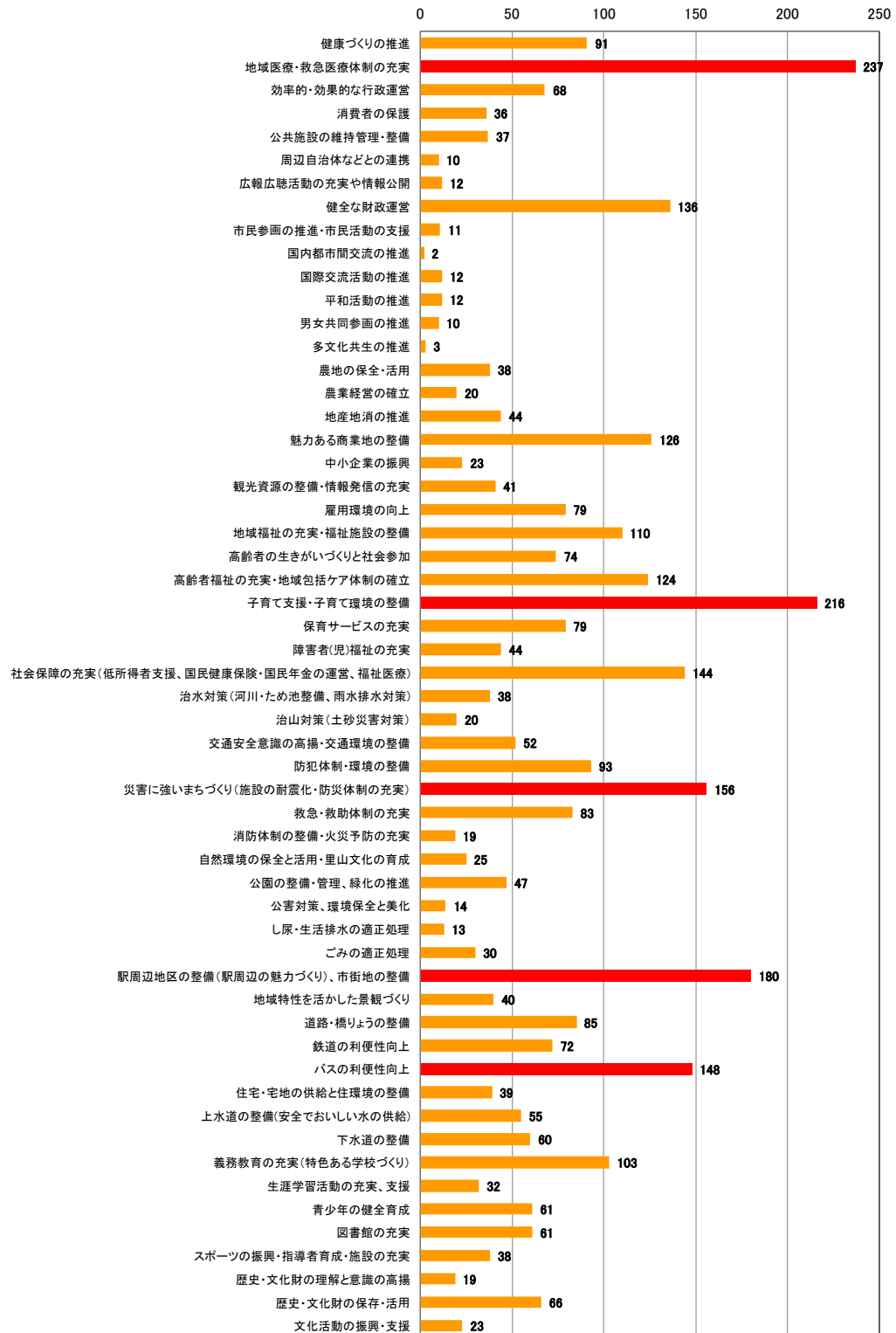


【男女別の比較】

- ・男女ともに共通して重視する施策は「医療」「子育て」「駅周辺」。
- ・男性が重要視する施策の上位5位は「医療」「駅周辺」「子育て」「商業地整備」「健全財政」。
- ・女性が重要視する施策の上位5位は「医療」「子育て」「駅周辺」「防災」「バス」。



【女性】



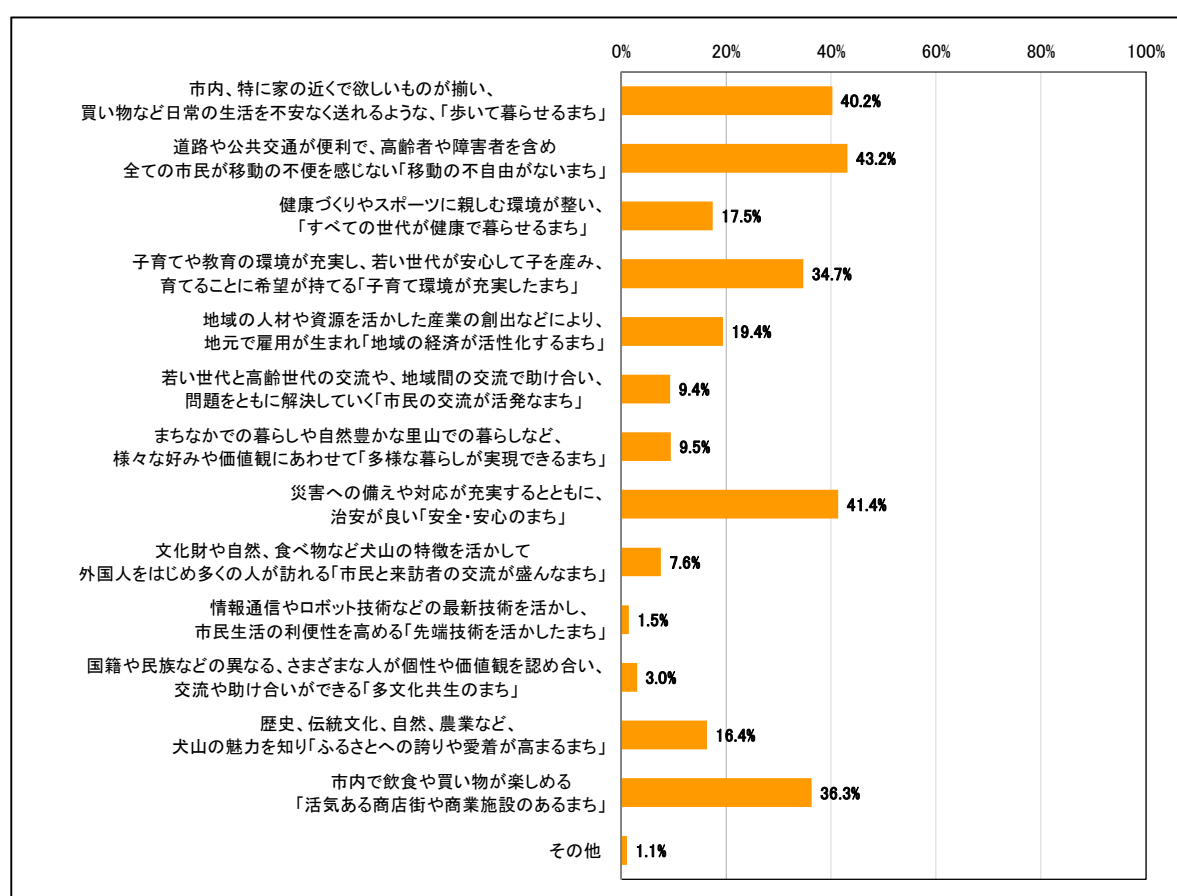
2-4 近年の社会情勢に対応したまちづくりについて

①めざすべきまちの将来像

問 今後、犬山はどのようなまちを目指すべきだと思いますか？次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

■今後めざすべきまちの将来像として、上位5位は、「移動の不自由がないまち」「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「子育て環境が充実したまち」となっています。



【地区別】

■各地区とも上位5つの将来像は「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「移動の不自由がないまち」「子育て環境が充実したまち」で共通しています。

犬山地区：「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「移動の不自由がないまち」「子育て環境が充実したまち」

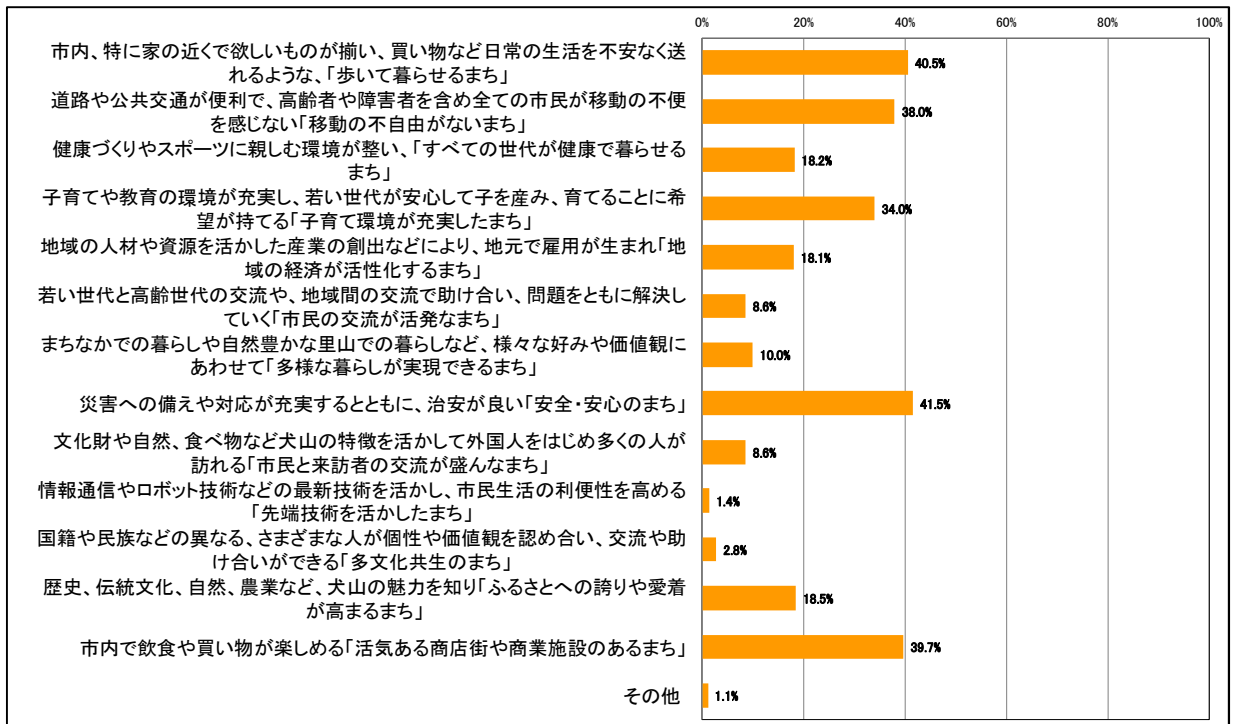
城東地区：「移動の不自由がないまち」「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「子育て環境が充実したまち」

羽黒地区：「移動の不自由がないまち」「歩いて暮らせるまち」「安全・安心のまち」「子育て環境が充実したまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」

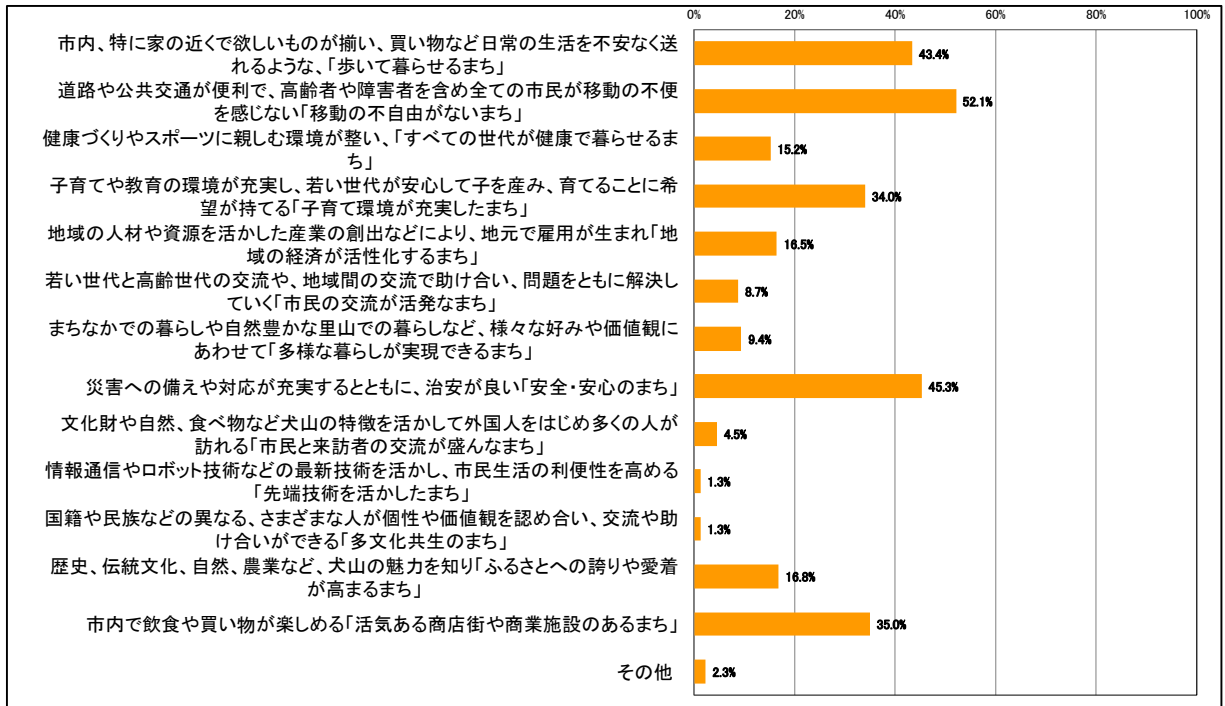
楽田地区：「移動の不自由がないまち」「安全・安心のまち」「子育て環境が充実したまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」

池野地区：「安全・安心のまち」「子育て環境が充実したまち」「移動の不自由がないまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「歩いて暮らせるまち」

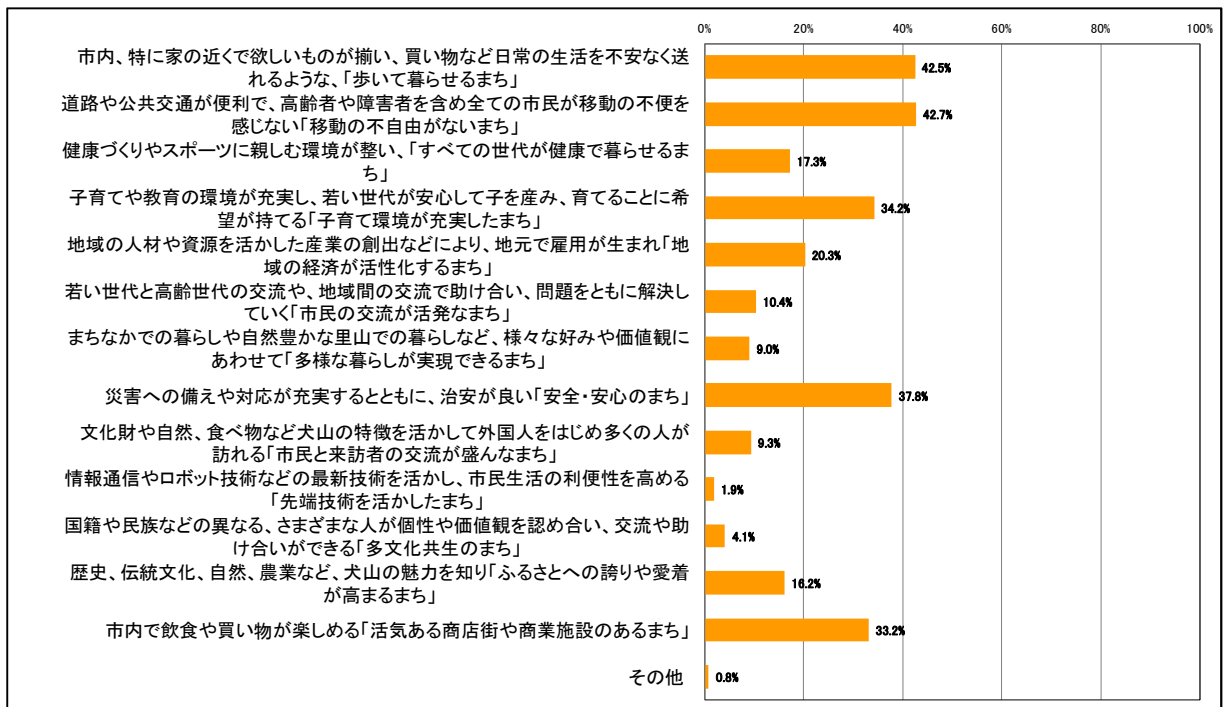
【犬山地区】



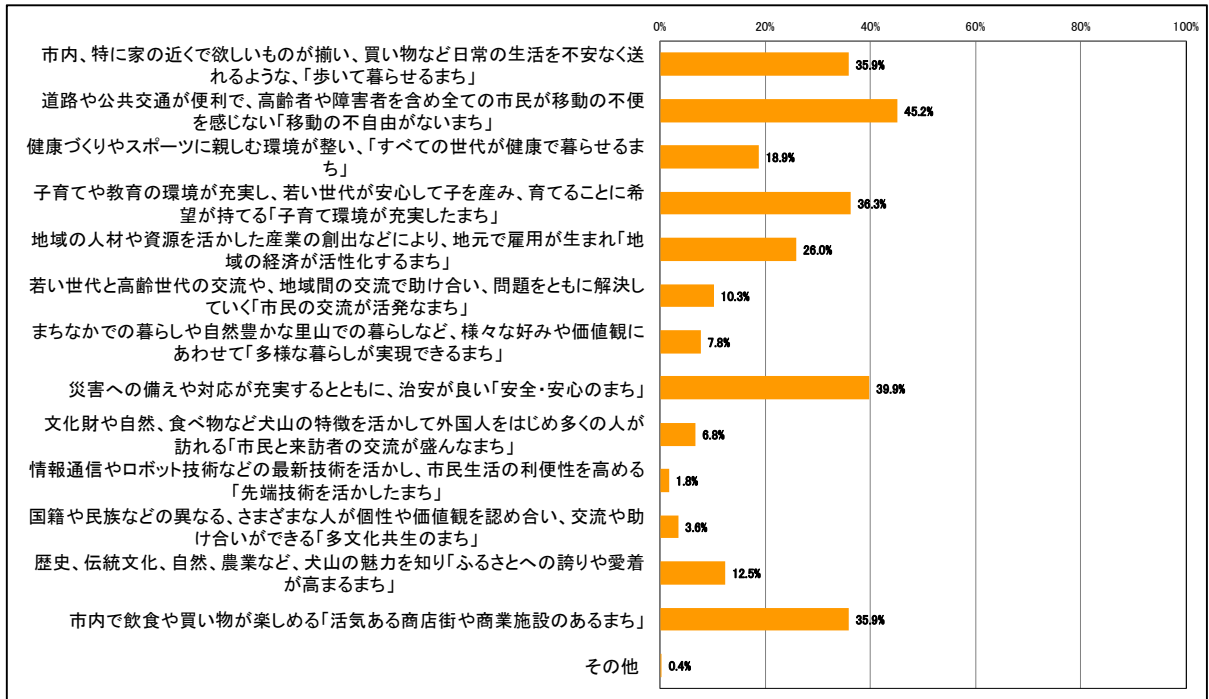
【城東地区】



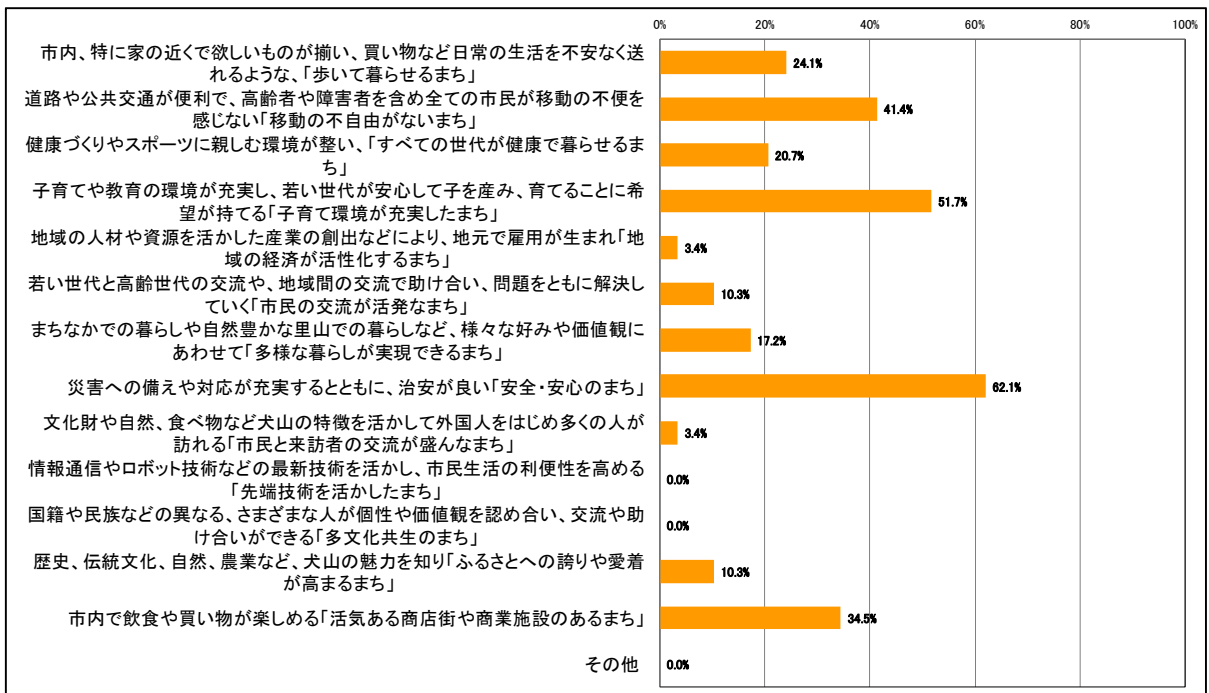
【羽黒地区】



【楽田地区】



【池野地区】



【世代別】

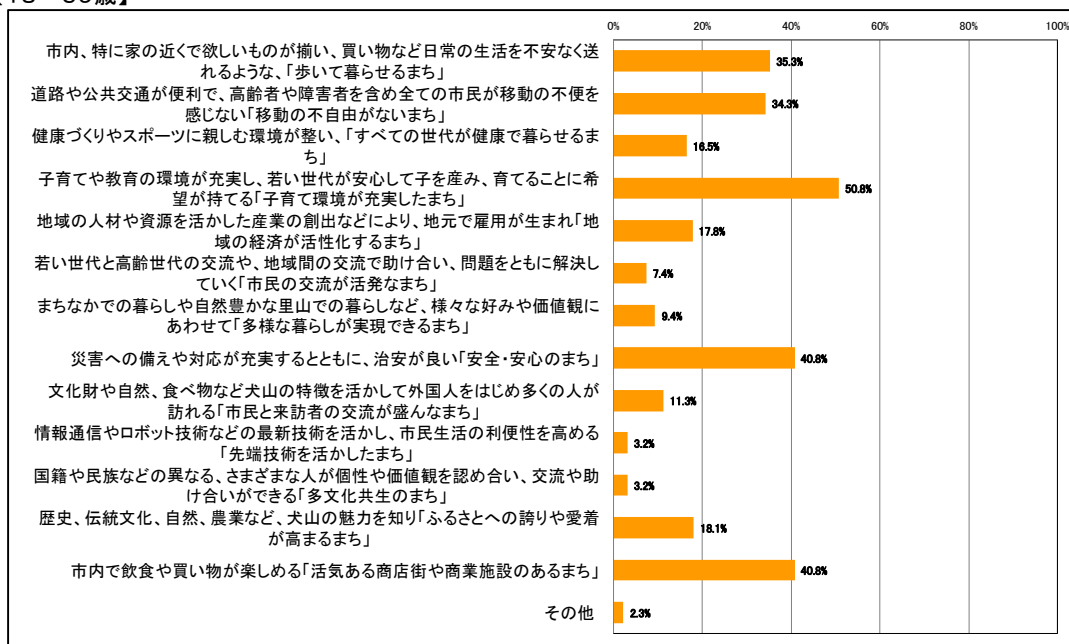
■年代別に比較しても、各世代とも上位5つの将来像は「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「移動の不自由がないまち」「子育て環境が充実したまち」で共通しています。

18～39歳：「子育て環境が充実したまち」「安全・安心のまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「歩いて暮らせるまち」「移動の不自由がないまち」

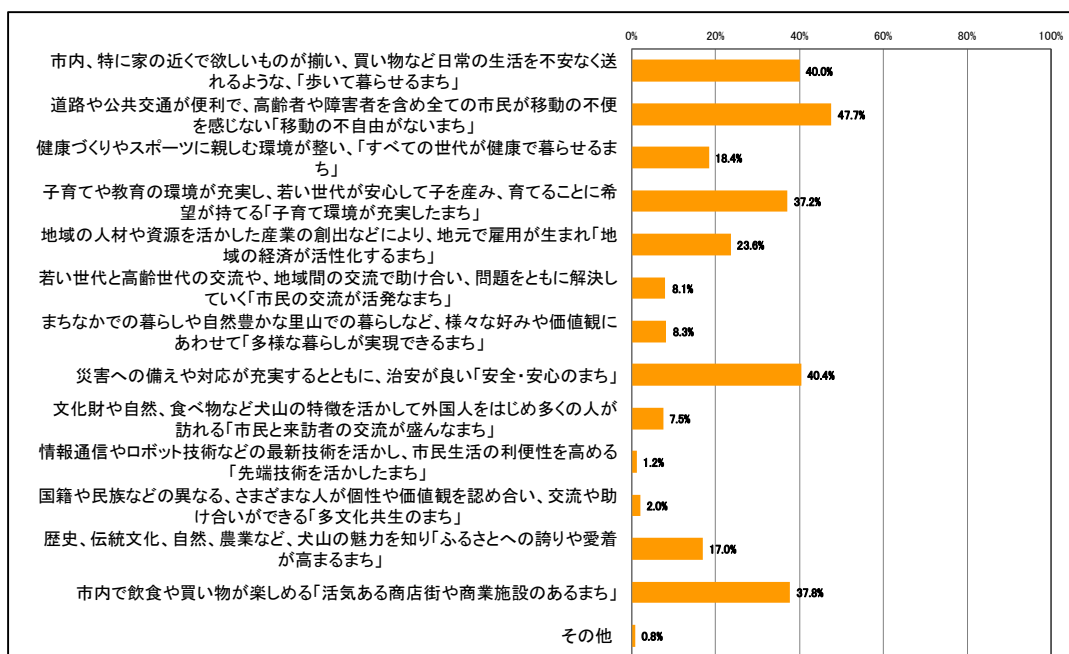
40～59歳：「移動の不自由がないまち」「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「子育て環境が充実したまち」

60歳以上：「移動の不自由がないまち」「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「子育て環境が充実したまち」

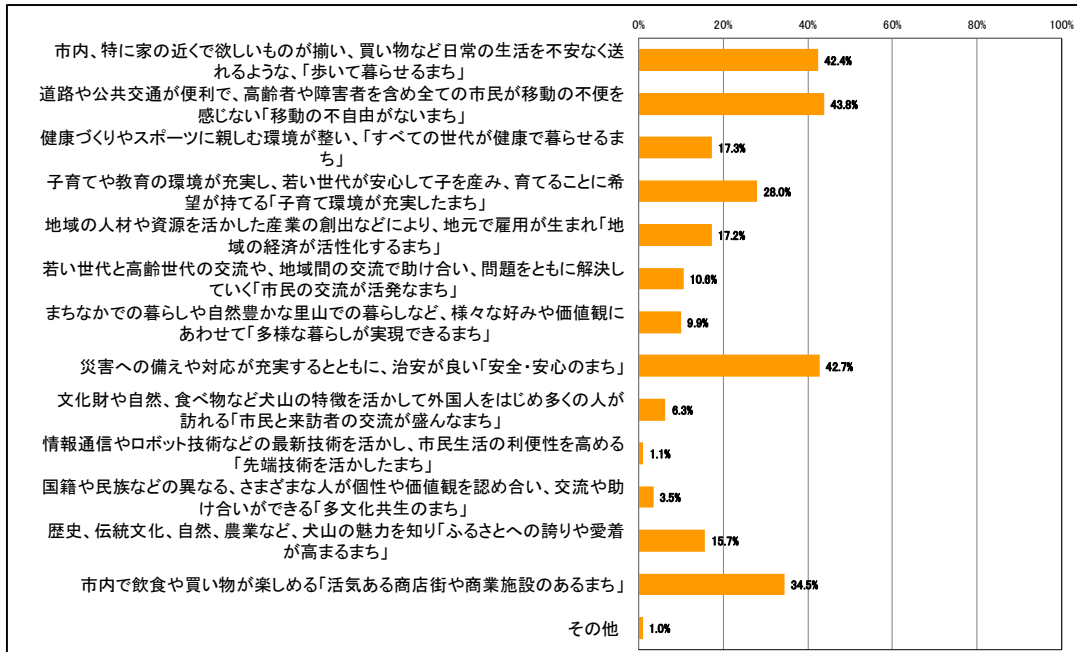
【18～39歳】



【40～59歳】



【60歳以上】



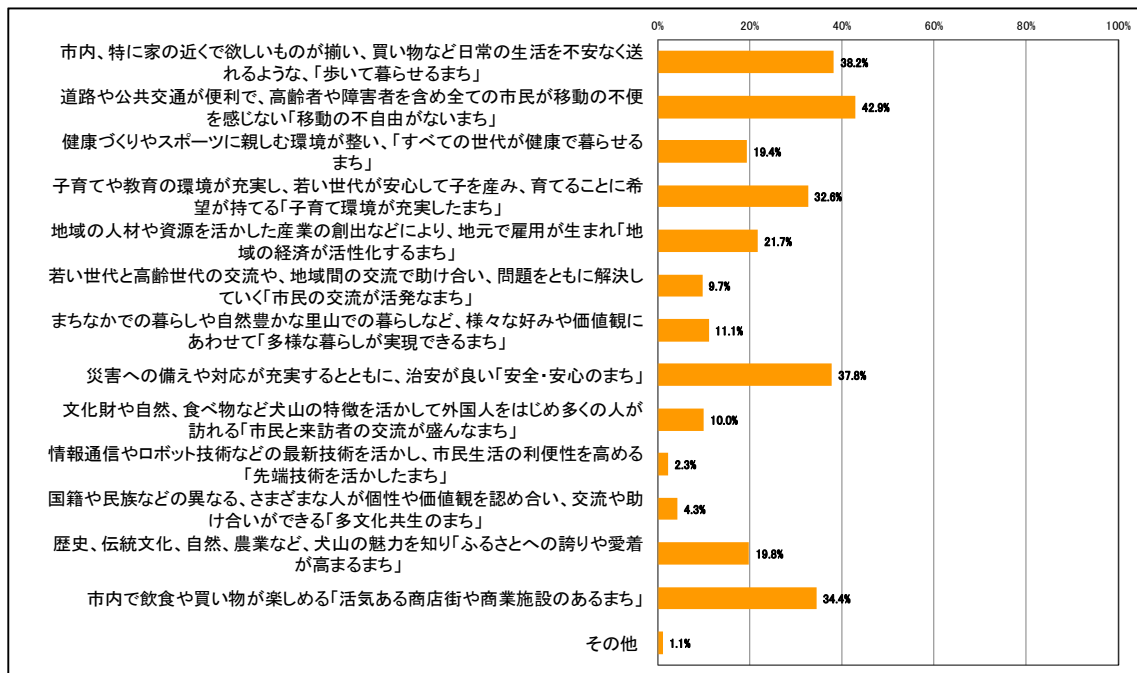
【男女別】

■男女別に比較しても、ともに上位5つの将来像は「安全・安心のまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「移動の不自由がないまち」「子育て環境が充実したまち」で共通しています。

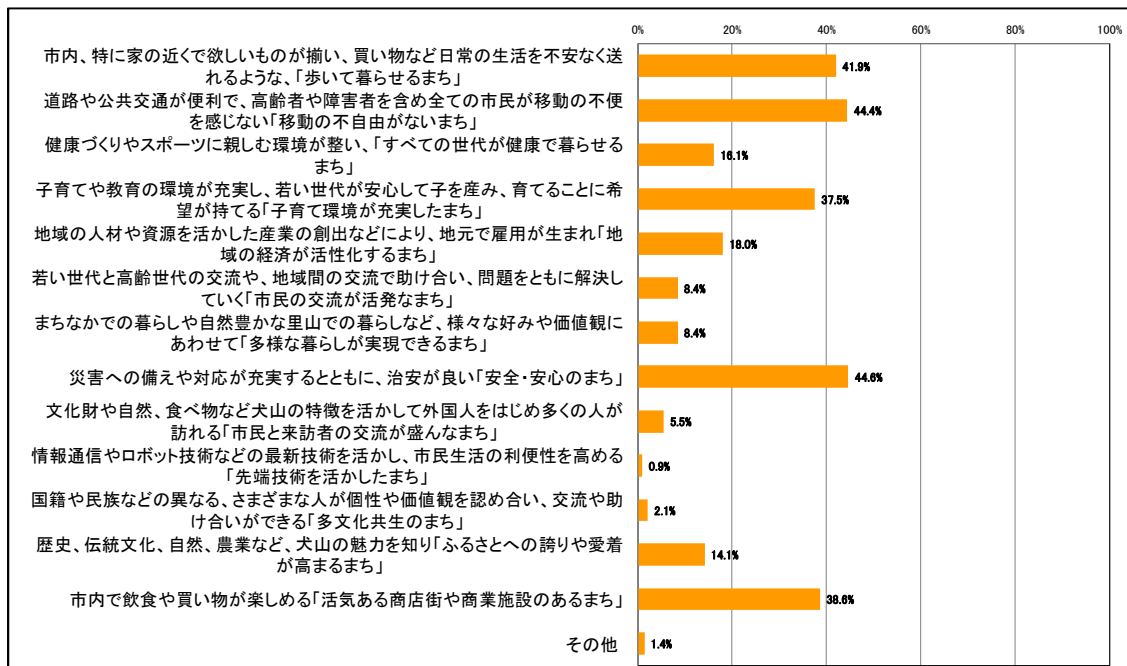
男性：「移動の不自由がないまち」「歩いて暮らせるまち」「安全・安心のまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「子育て環境が充実したまち」

女性：「安全・安心のまち」「移動の不自由がないまち」「歩いて暮らせるまち」「活気ある商店街や商業施設のあるまち」「子育て環境が充実したまち」

【男性】



【女性】

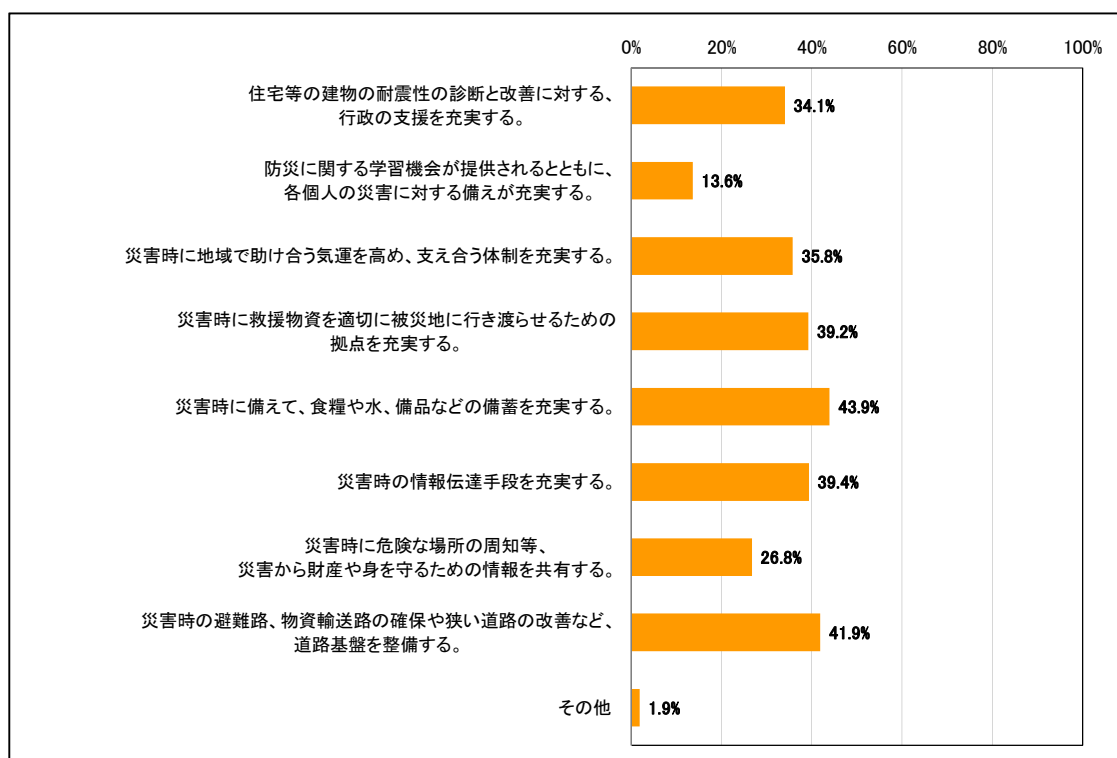


② 大規模な災害に備える取り組み

近年の社会情勢に対応したまちづくりのあり方について、以下、もう少し具体的に伺います。
大規模な災害に対する備えとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

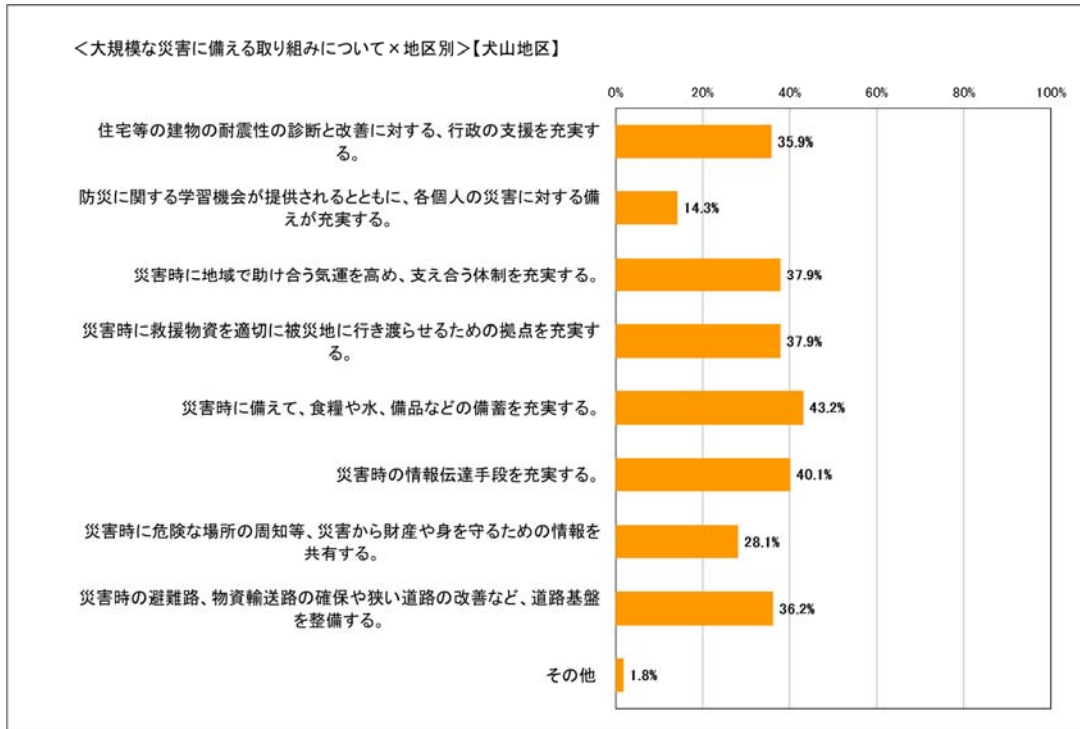
■大規模災害への備えとして、「備蓄」「道路基盤整備」「情報伝達」「拠点整備」「支え合い」が上位5つの取り組みとして選ばれています。



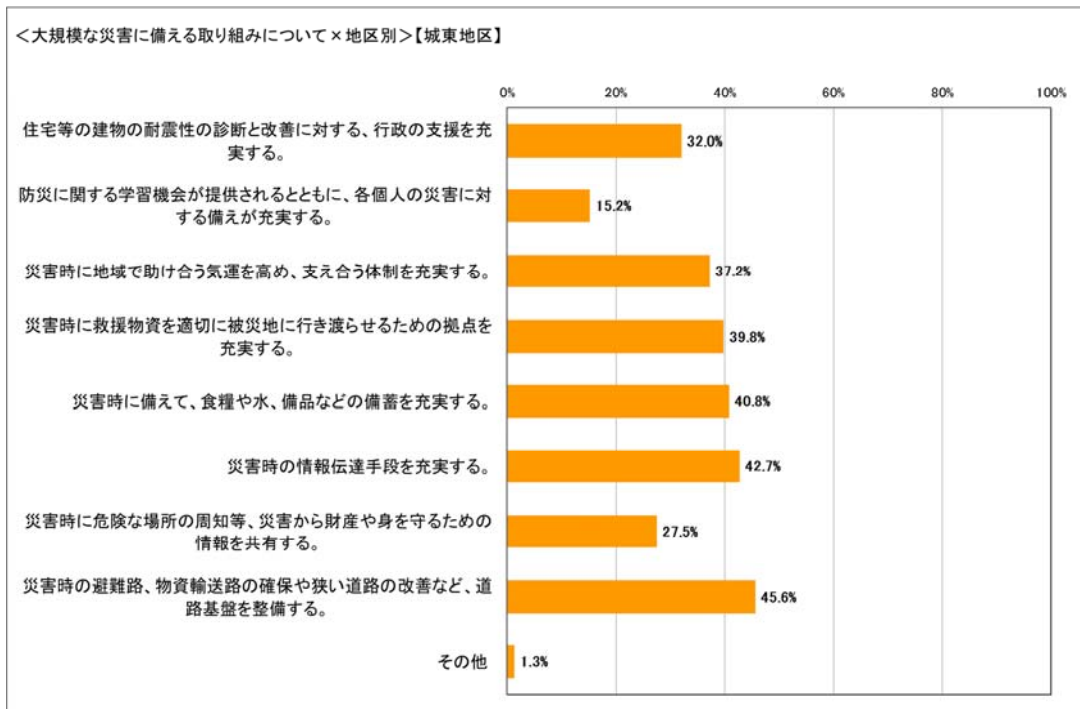
【地区別】

■大規模災害への備えの考え方は、各地区とも大きな違いはなく、「各個人の備え」が低い以外、概ねどの施策も同程度重要とされていますが、楽田、池野地区では若干「道路整備」が高くなっています。

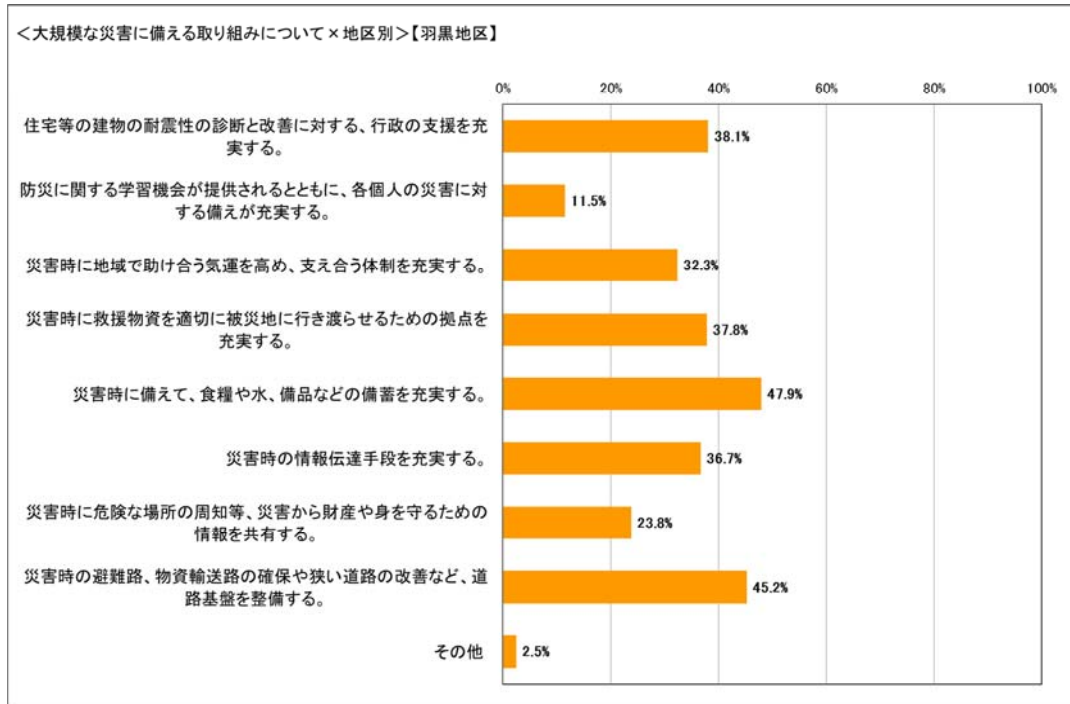
【犬山地区】



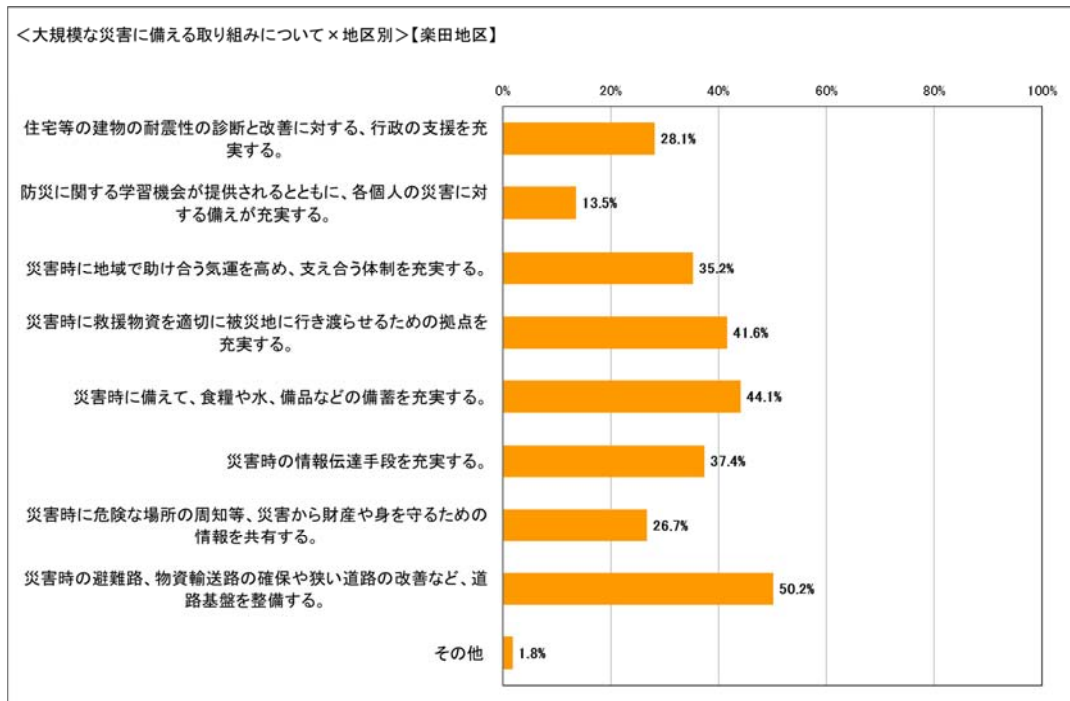
【城東地区】



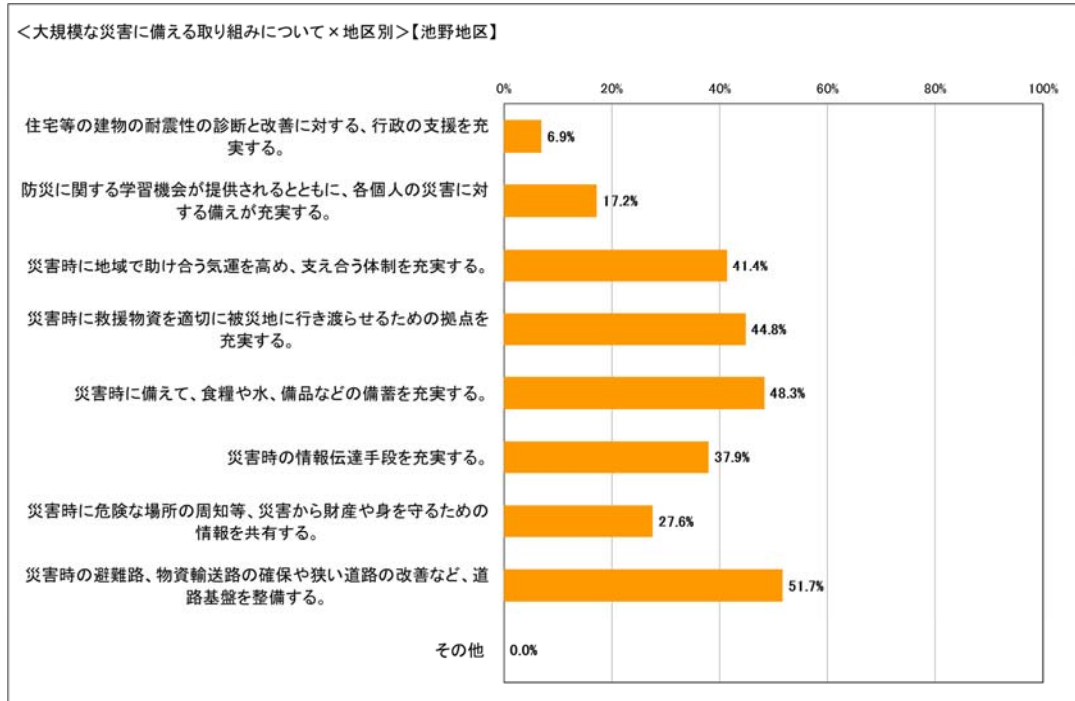
【羽黒地区】



【楽田地区】



【池野地区】

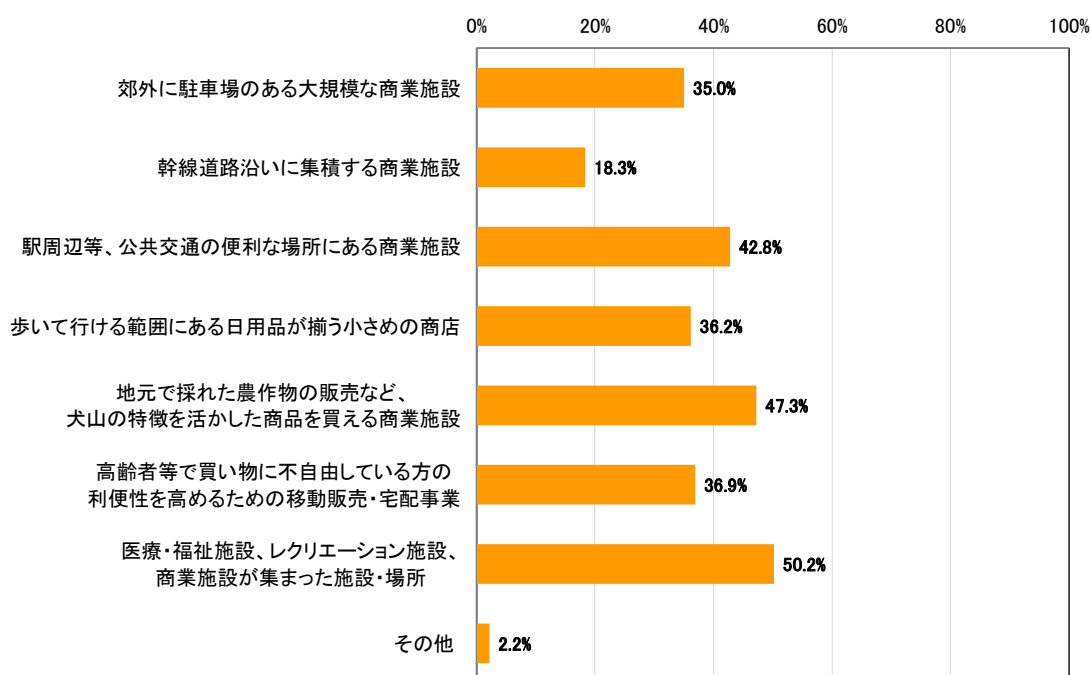


③ 日常の暮らしの利便性に関する取り組み

買い物など、日常の暮らしに関して、あなたにとって市内にどのような施設があると利便性が高まると思いますか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

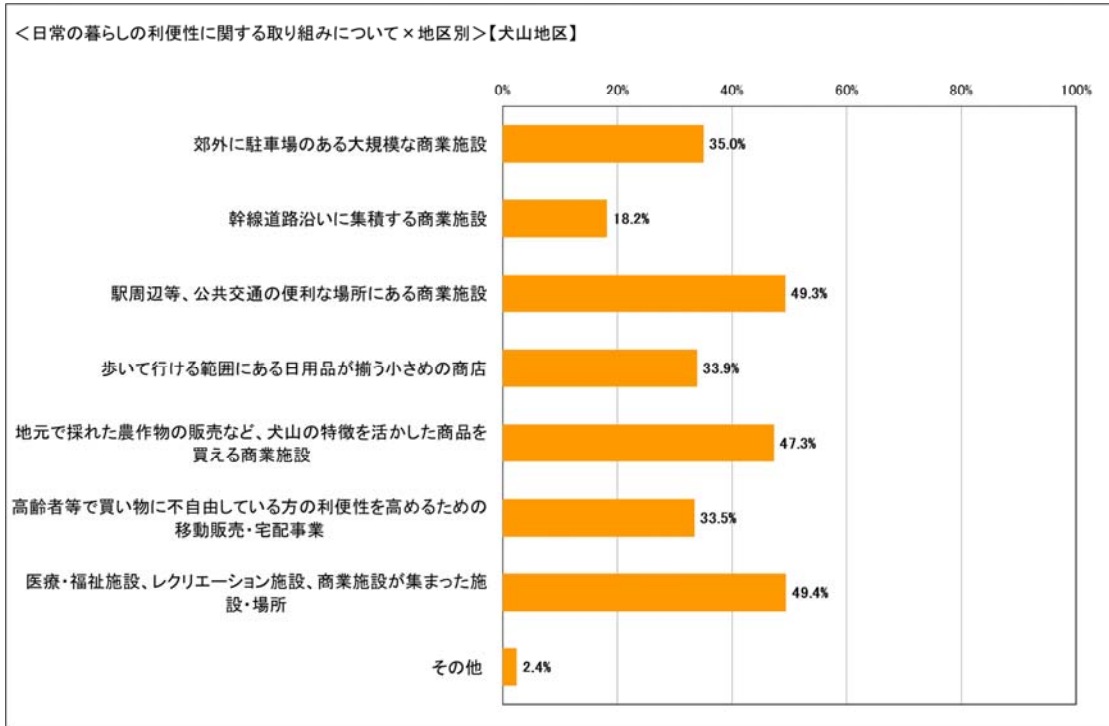
■日常の暮らしの利便施設として、「医療、福祉、レクリエーション、商業」「犬山の特徴を活かした商業」「公共交通利用が便利な商業」「移動販売・宅配」「日用品が揃う小さな商店」が上位5つとして選ばれています。



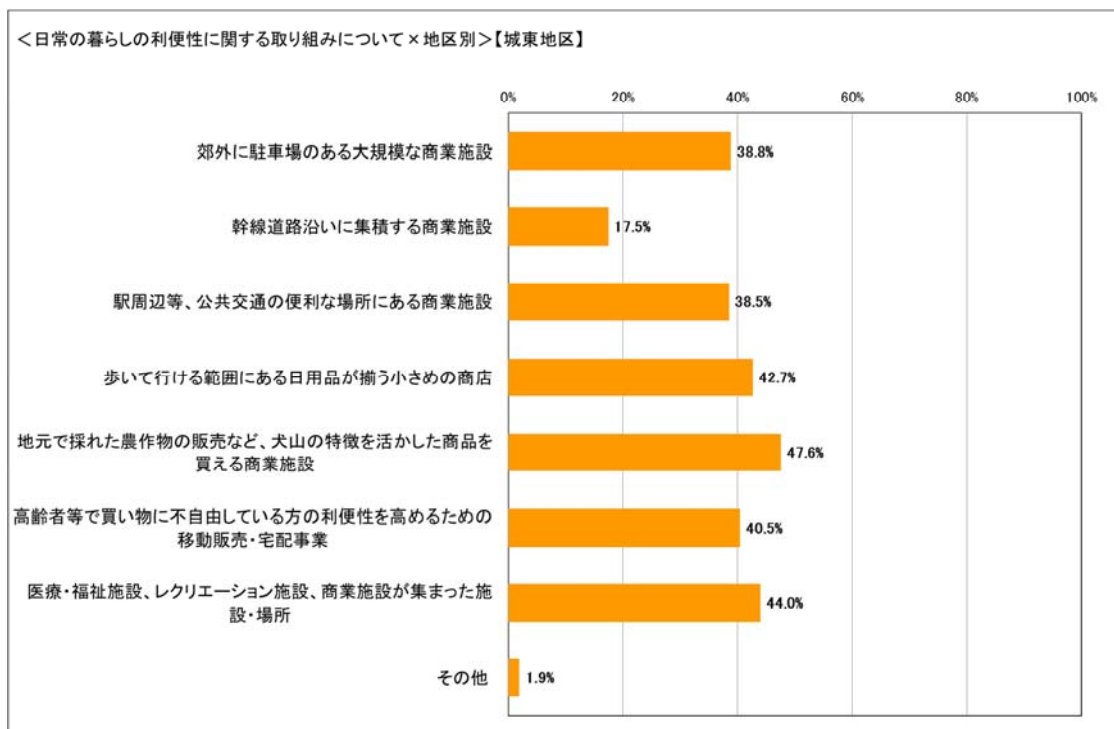
【地区別】

■地区別にみると、各地区とも「幹線道路沿いに集積する商業地」が低い以外、概ねどの施設も日常の暮らしの利便施設として支持されていますが、楽田、池野地区では、「医療、福祉、レクリエーション、商業の複合施設」の支持率が他地区より若干高めになっています。また、池野地区では、「駐車場のある大規模な商業施設」の支持率も高くなっています。

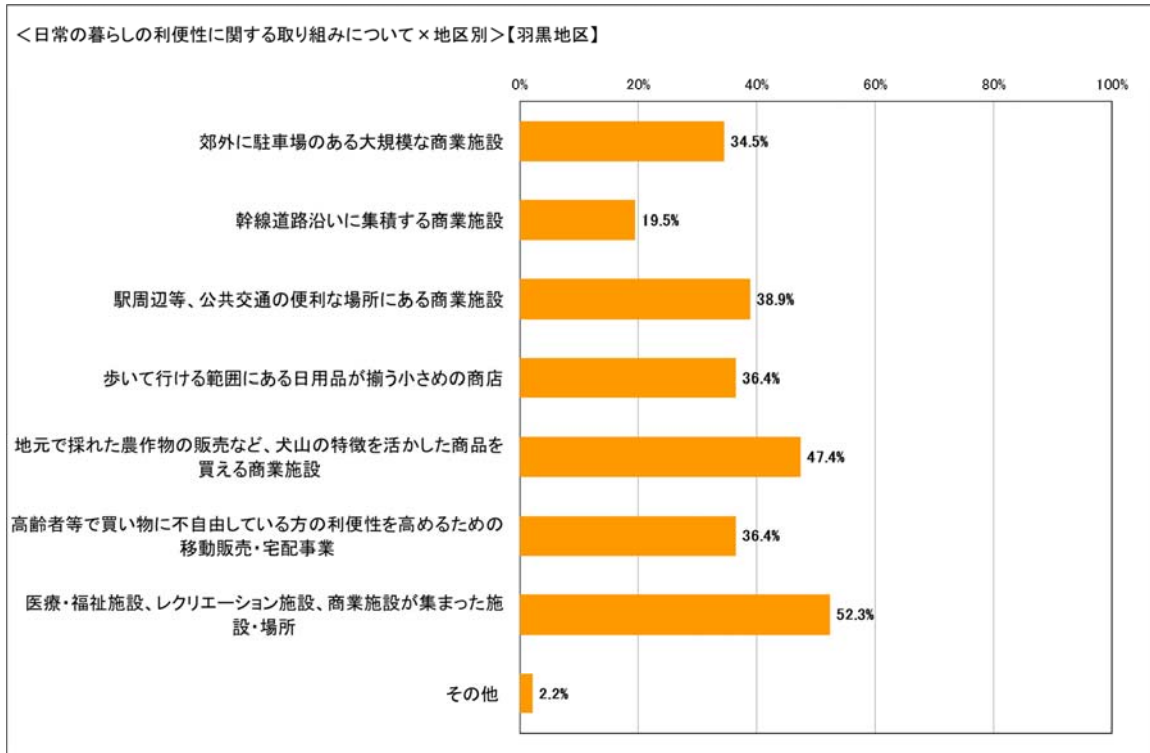
【犬山地区】



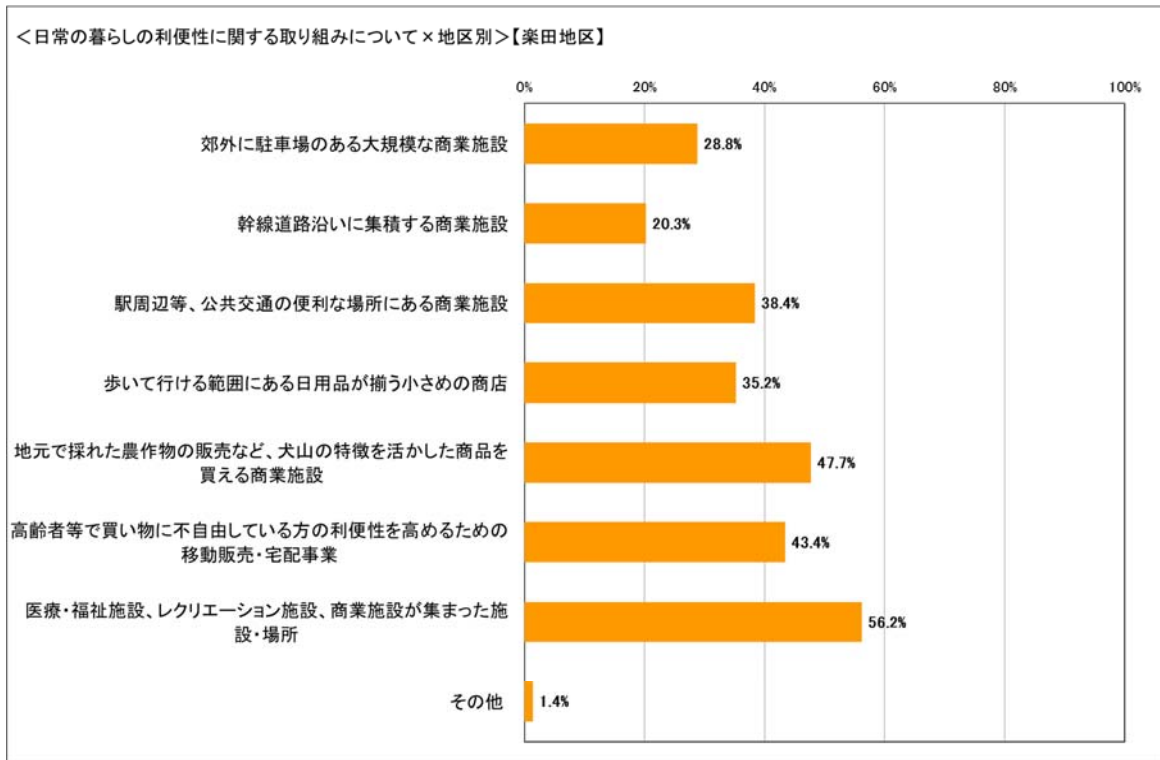
【城東地区】



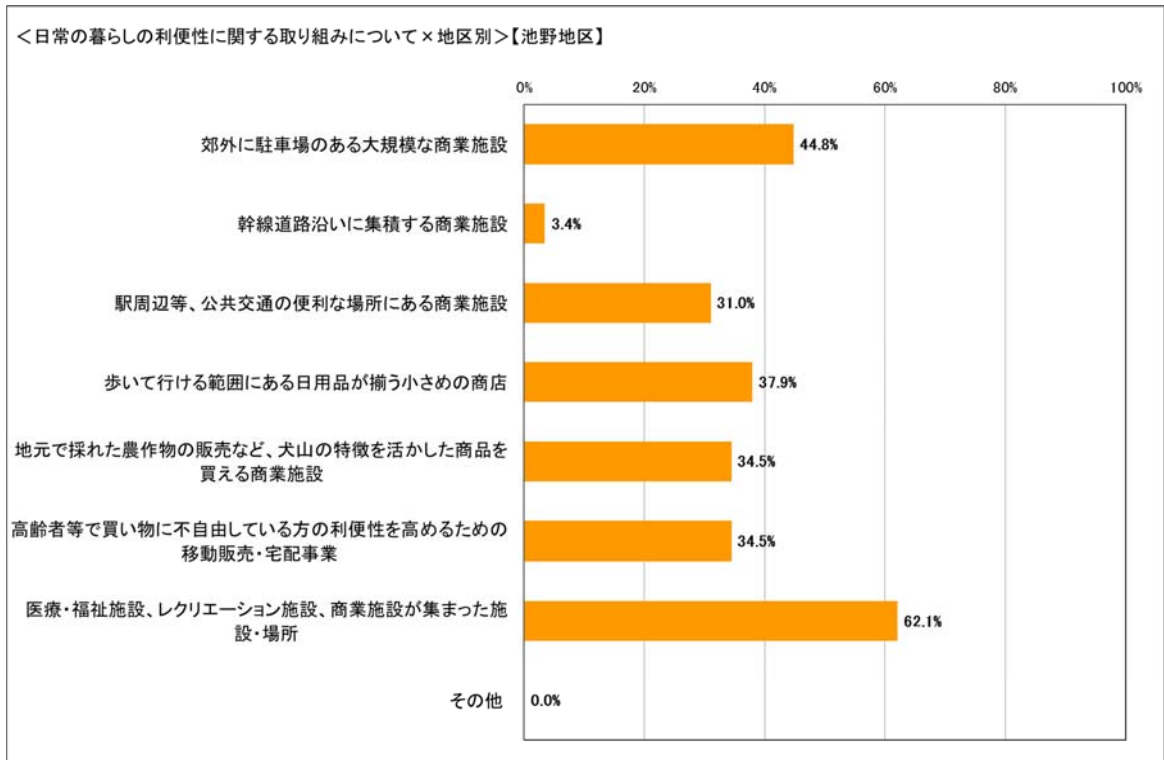
【羽黒地区】



【楽田地区】



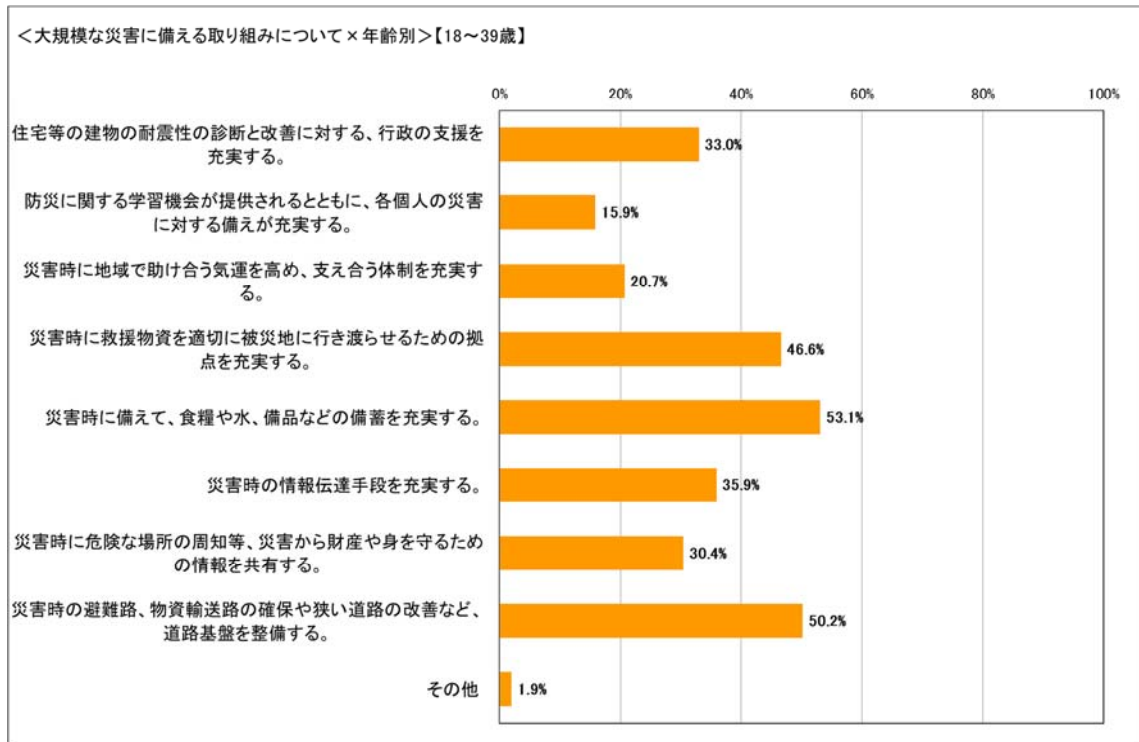
【池野地区】



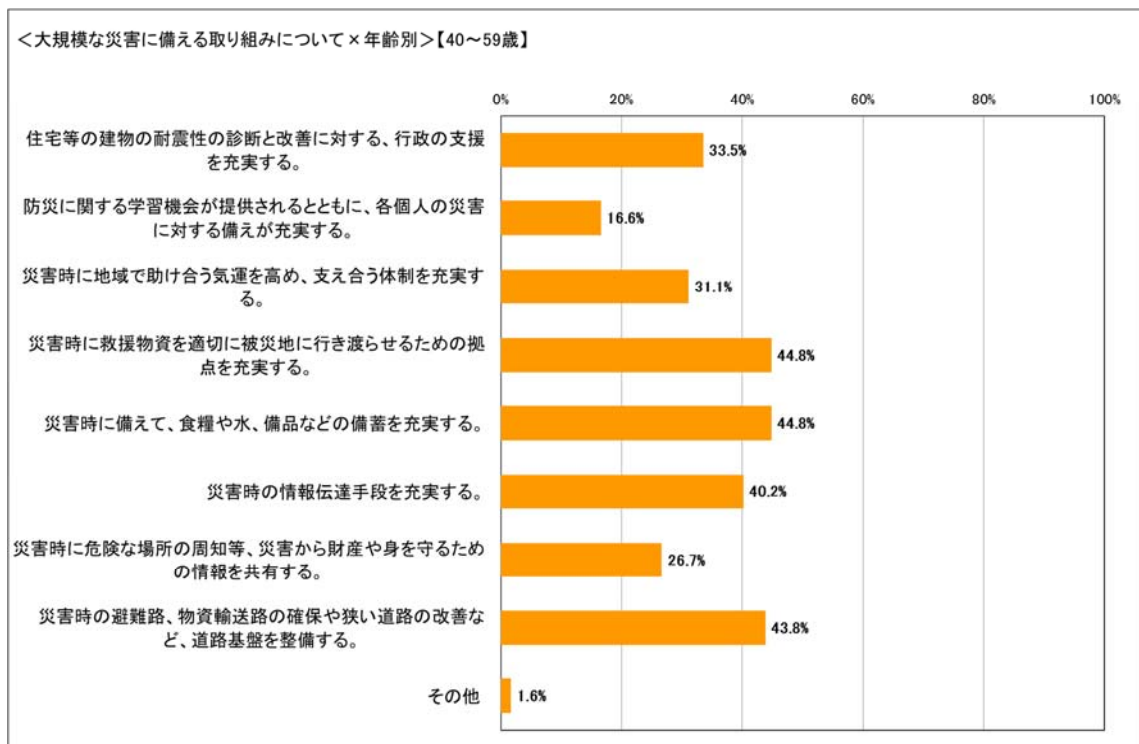
【世代別】

- 若い世代では「郊外の大規模な商業施設」や「幹線道路沿いの商業施設」のニーズが高いのに対し、高齢世代では「移動販売・宅配事業」や「医療・福祉、レクリエーション、商業の複合施設」のニーズが高い傾向にあります。

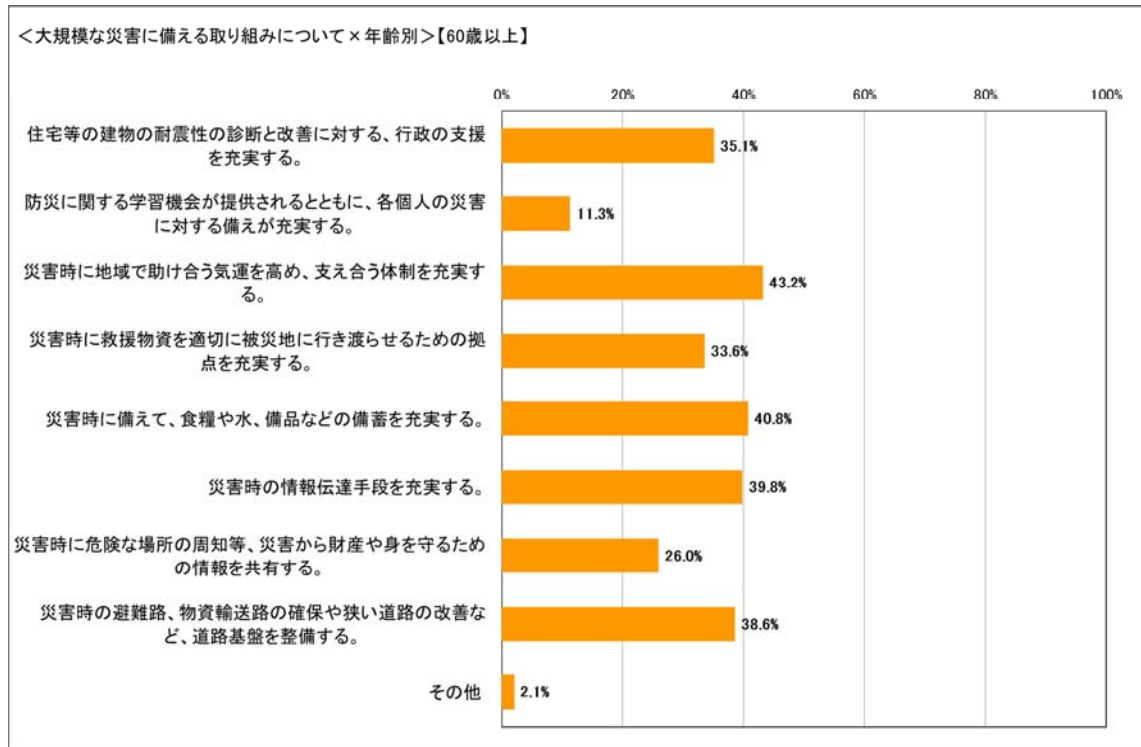
【18-39 歳】



【40-59 歳】



【60歳以上】

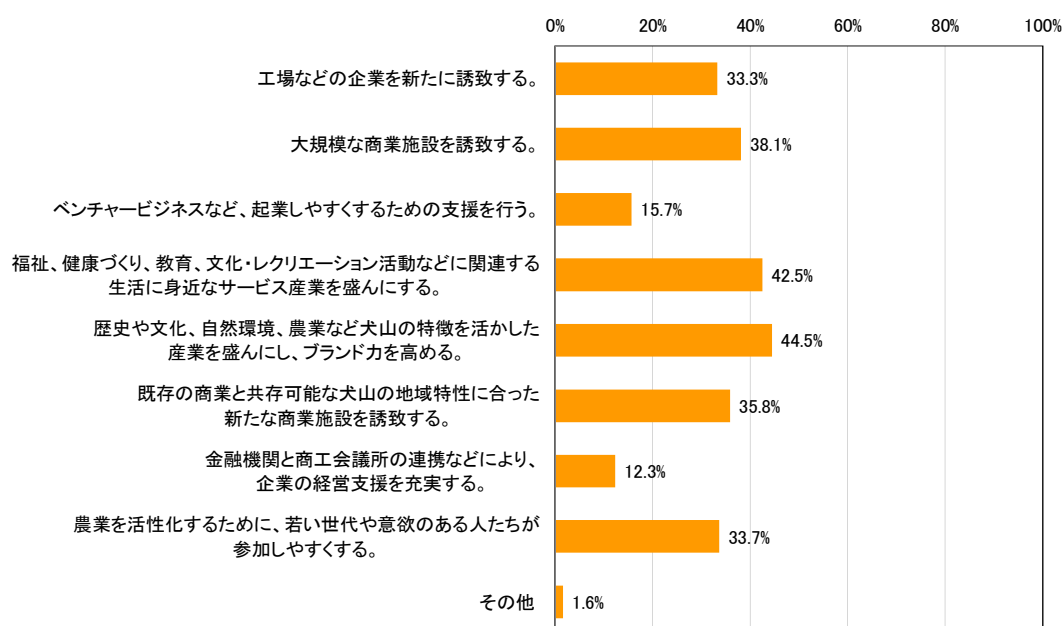


④ 産業の振興に関する取り組み

市内で働く場を増やしたり、税収を増やして市の財政基盤を豊かにするための産業の振興に関する方策として、次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

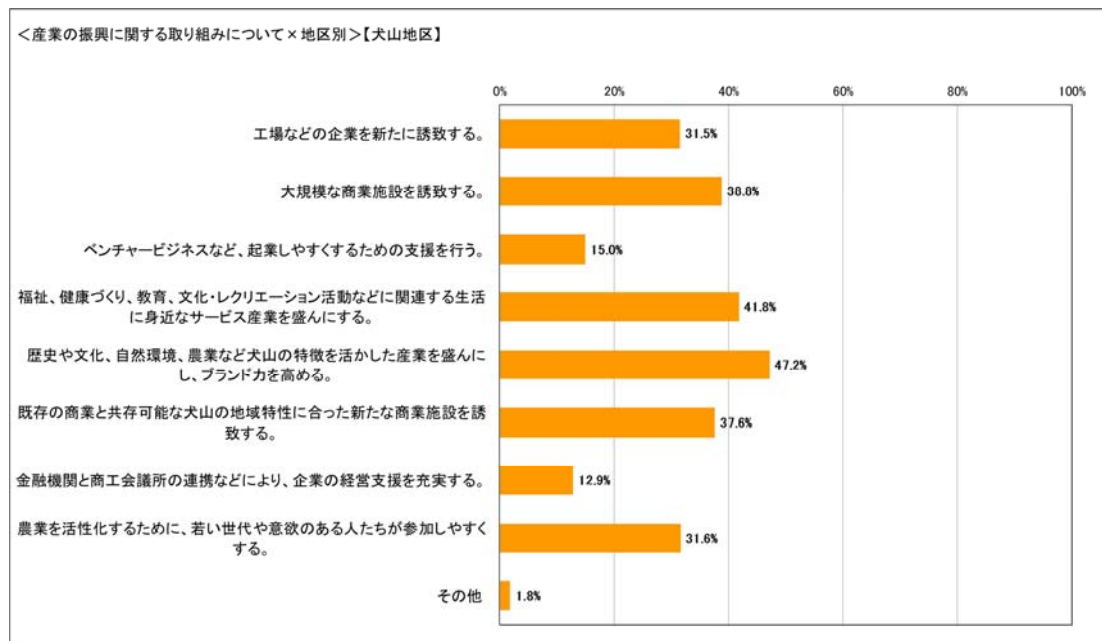
■産業振興方策として、「犬山の特徴を活かしたブランド力向上」「生活に身近なサービス産業育成」「大規模商業誘致」「地域特性に合った商業誘致」「農業活性化のための参加機会拡大」が上位5つとして選ばれています。



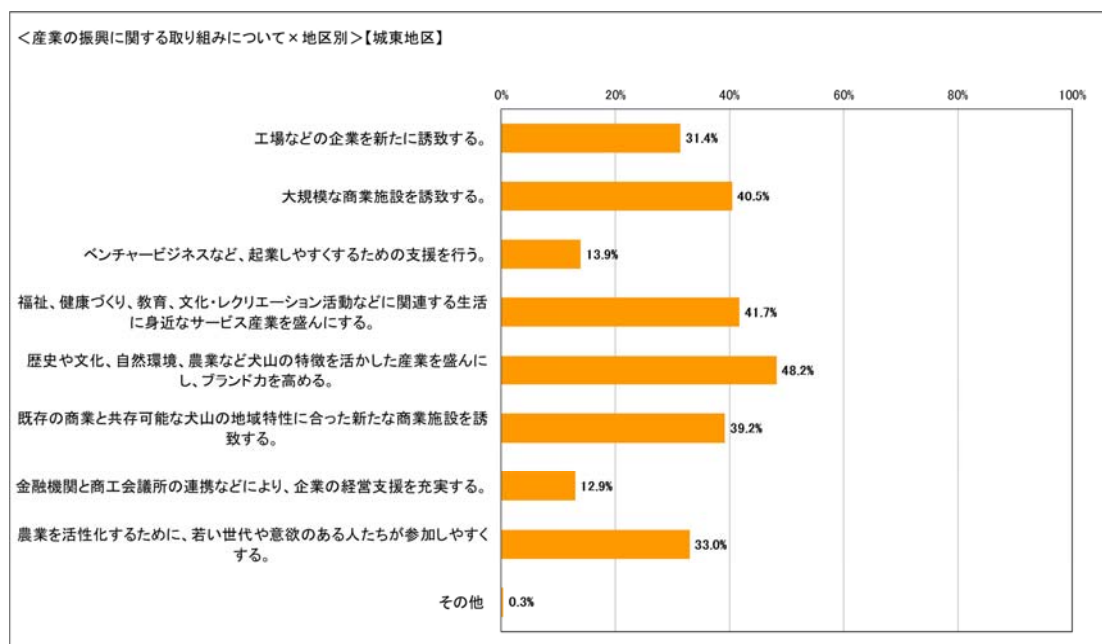
【地区別】

■地区別にみると、各地区とも「起業支援」「企業の経営支援」が低い以外、概ねどの施策も産業振興施策として共通して支持されていますが、池野地区では、「農業活性化のための参加機会拡大」の支持率が他地区より若干高め、「大規模商業誘致」「地域特性に合った商業誘致」が低めとなっています。

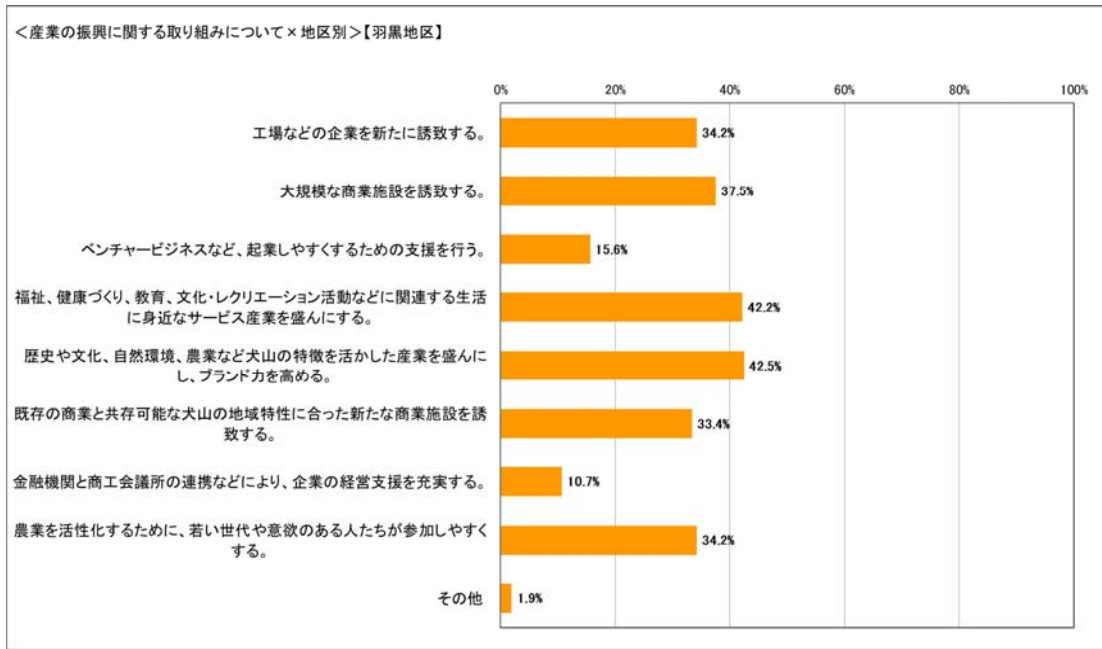
【犬山地区】



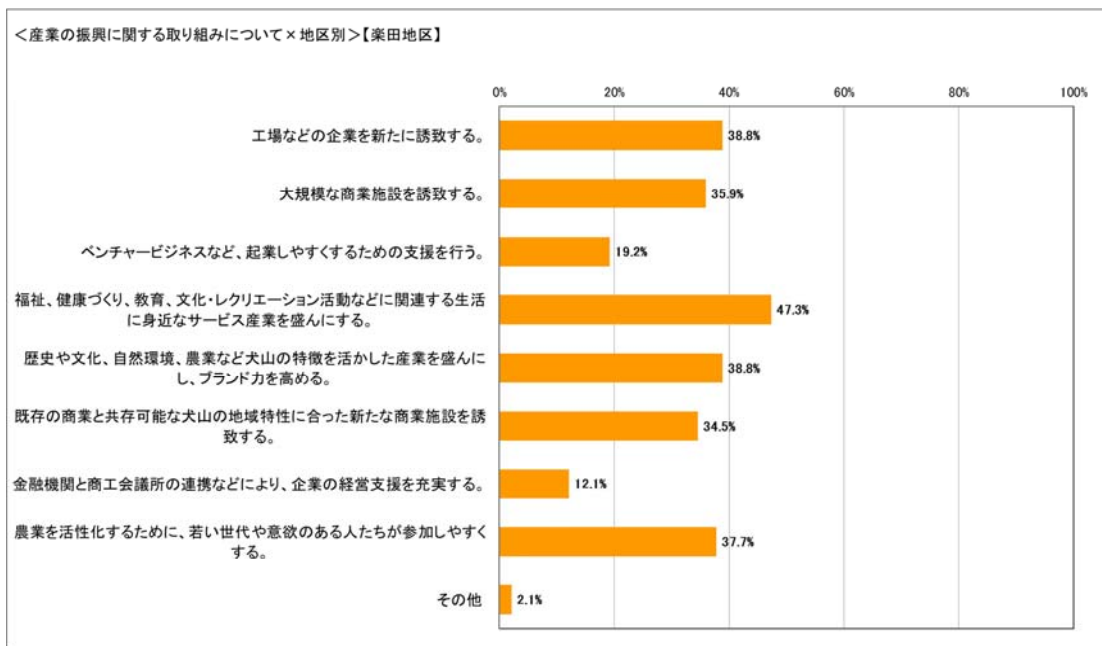
【城東地区】



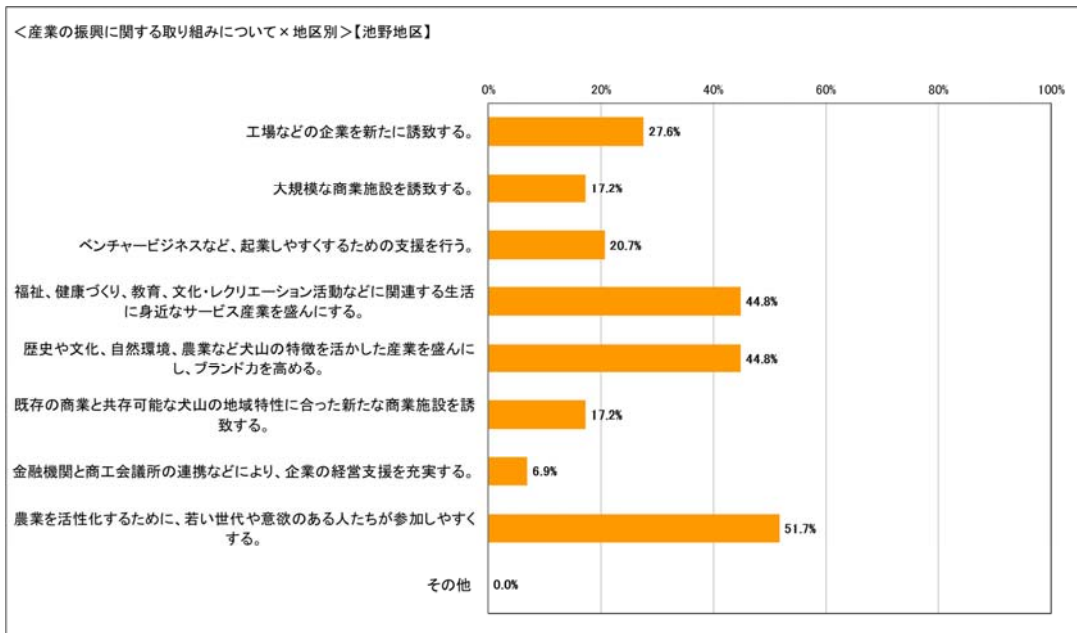
【羽黒地区】



【楽田地区】



【池野地区】

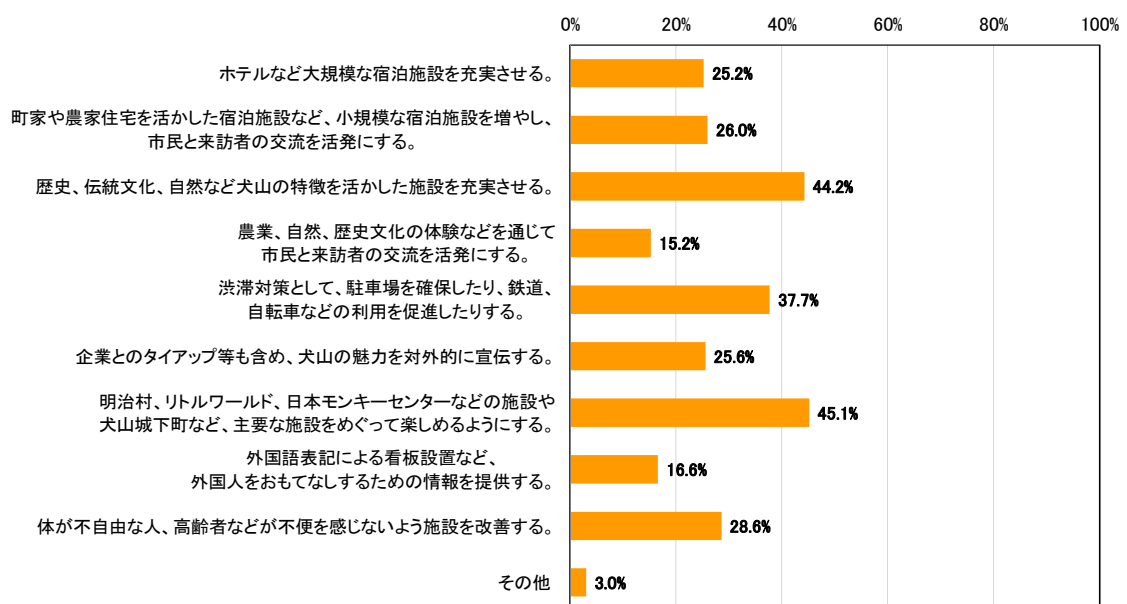


⑤ 犬山市を訪れる人を増やすための取り組み

市外から訪れる人を増やすことで、より多くの市民が交流するなどして、犬山市の経済を活性化していくための方策として、次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

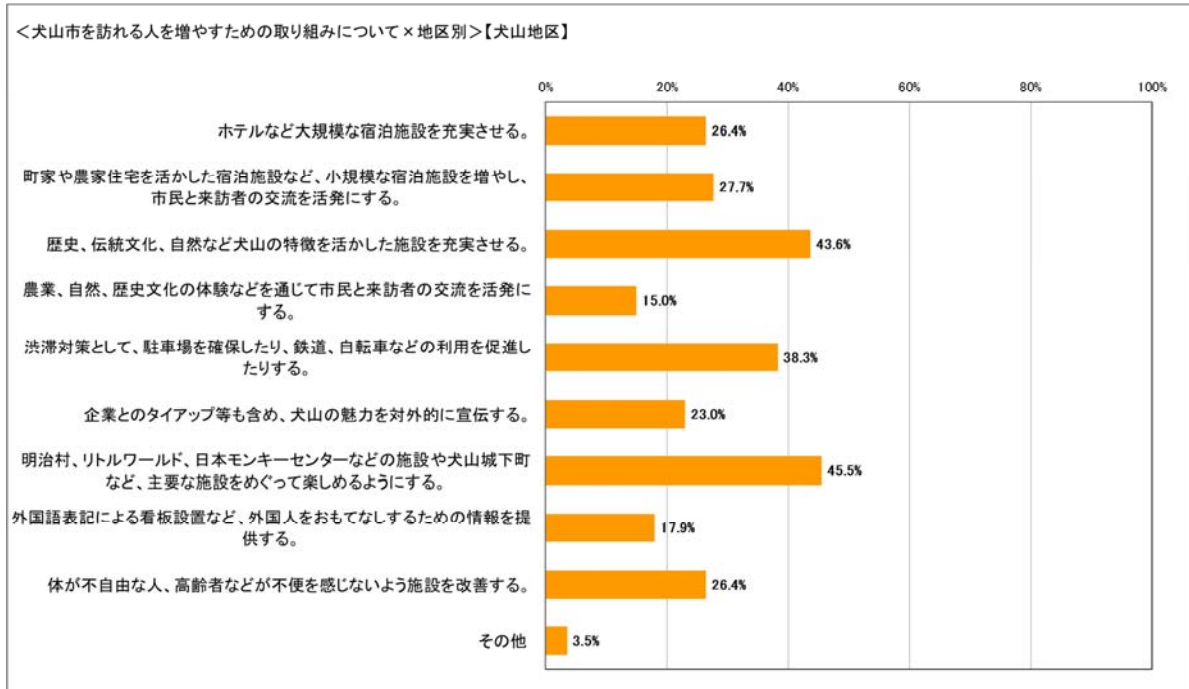
■ 来訪者増加、交流拡大の方策として、「主要な観光施設の回遊性強化」「歴史、文化、自然など犬山の特徴の活用」「駐車場確保や公共交通の利用促進」「町家や農家活用による宿泊施設」「対外的な宣伝の強化」が上位5つとして選ばれています。



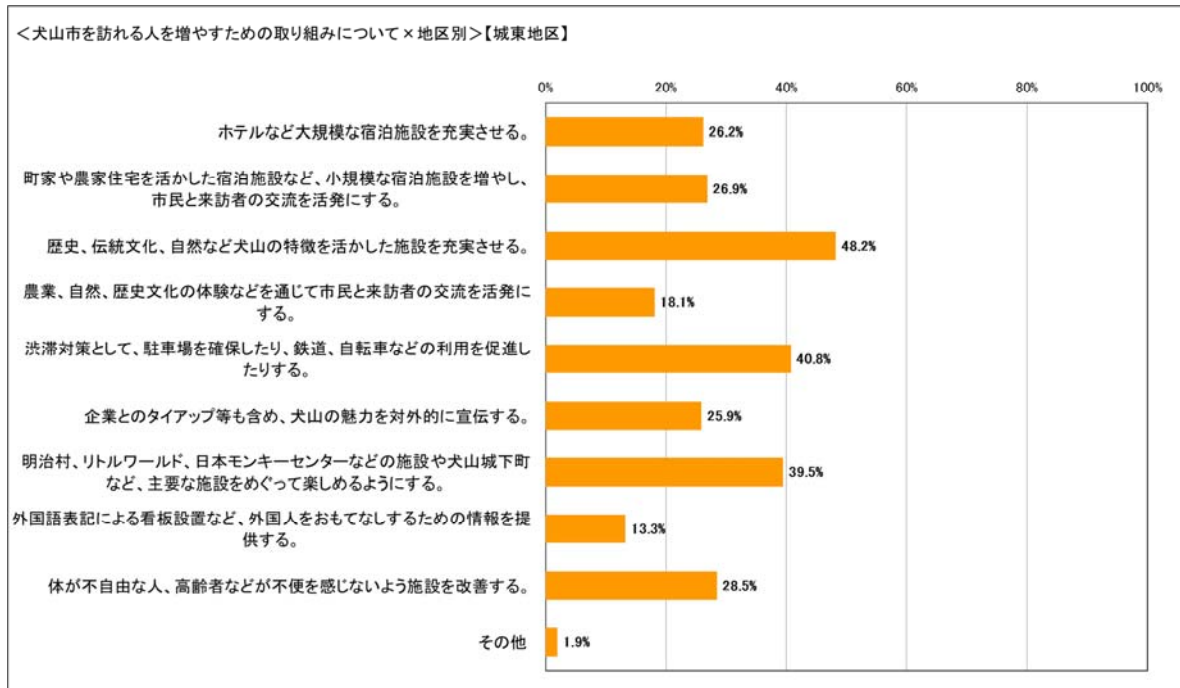
【地区別】

■地区別にみると、各地区とも概ね同様の傾向となっており、地区間の大きな傾向の相違はみられません。

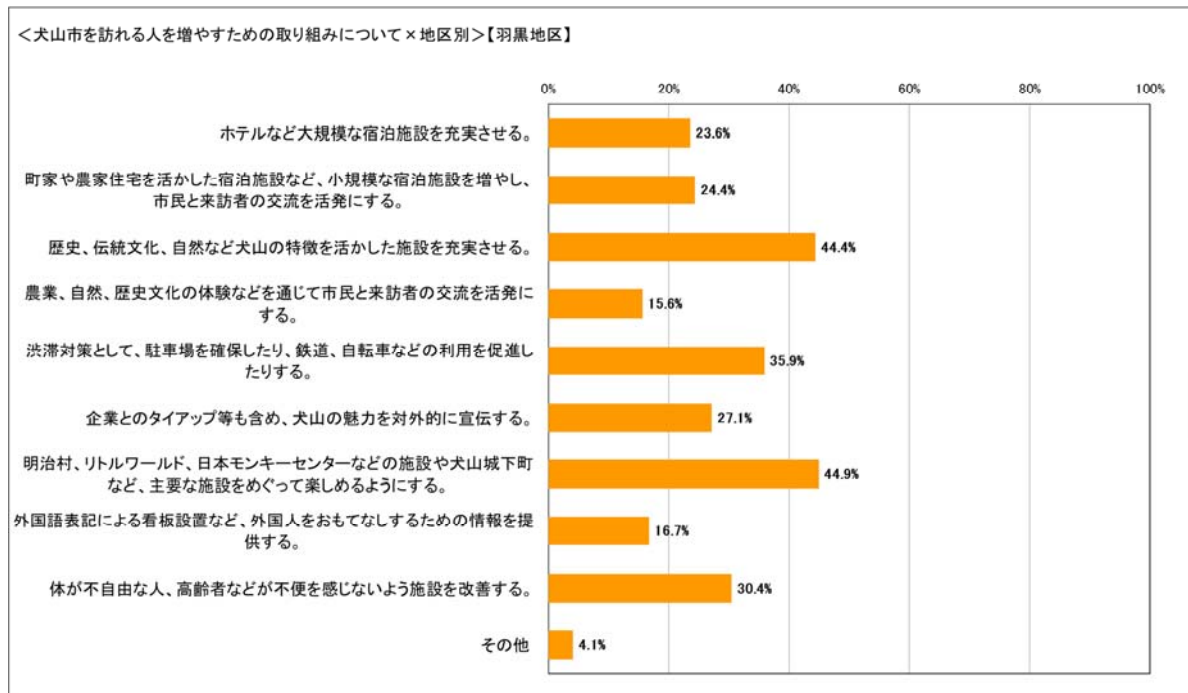
【犬山地区】



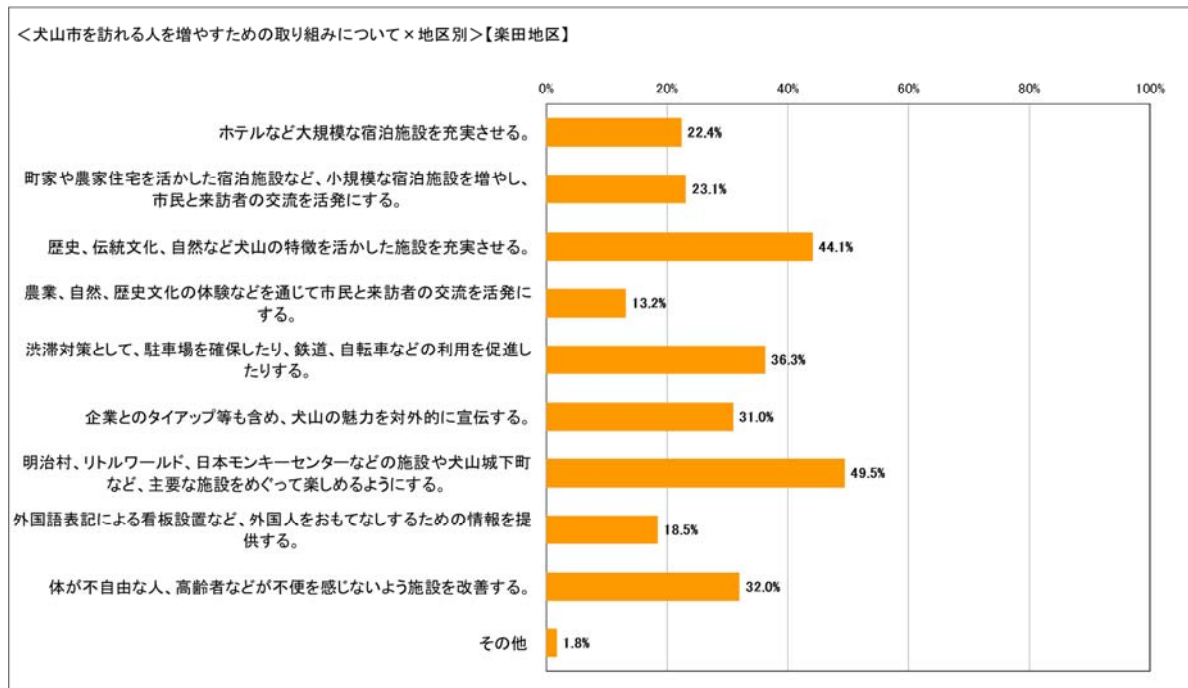
【城東地区】



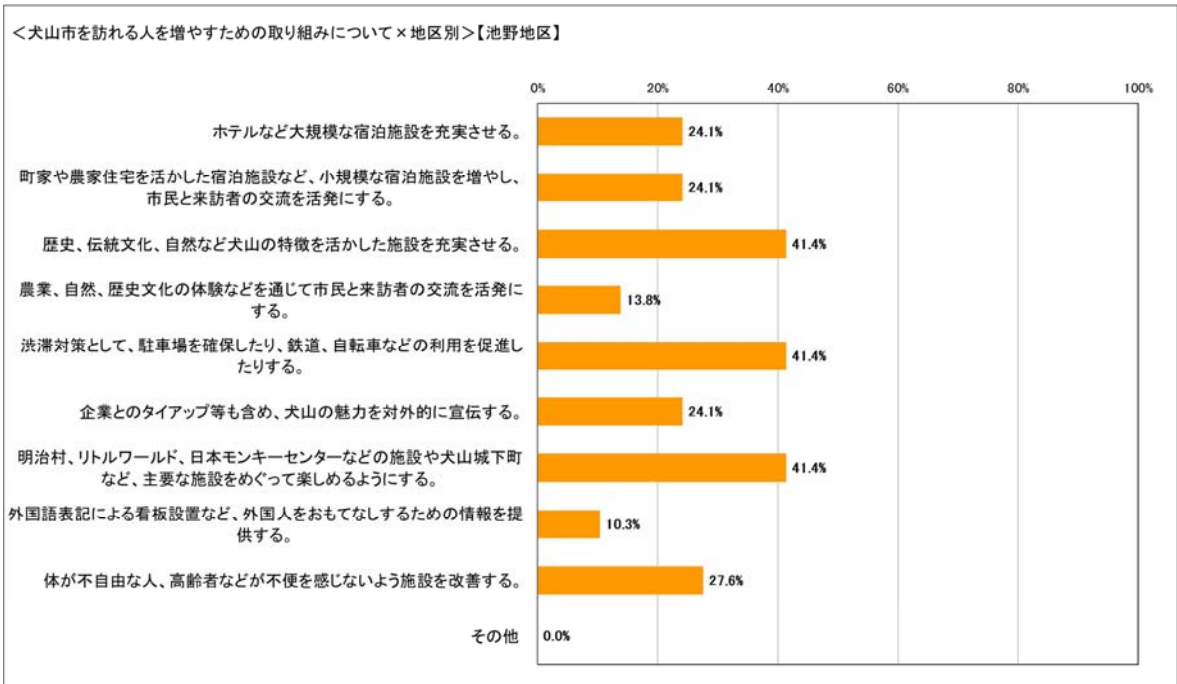
【羽黒地区】



【楽田地区】



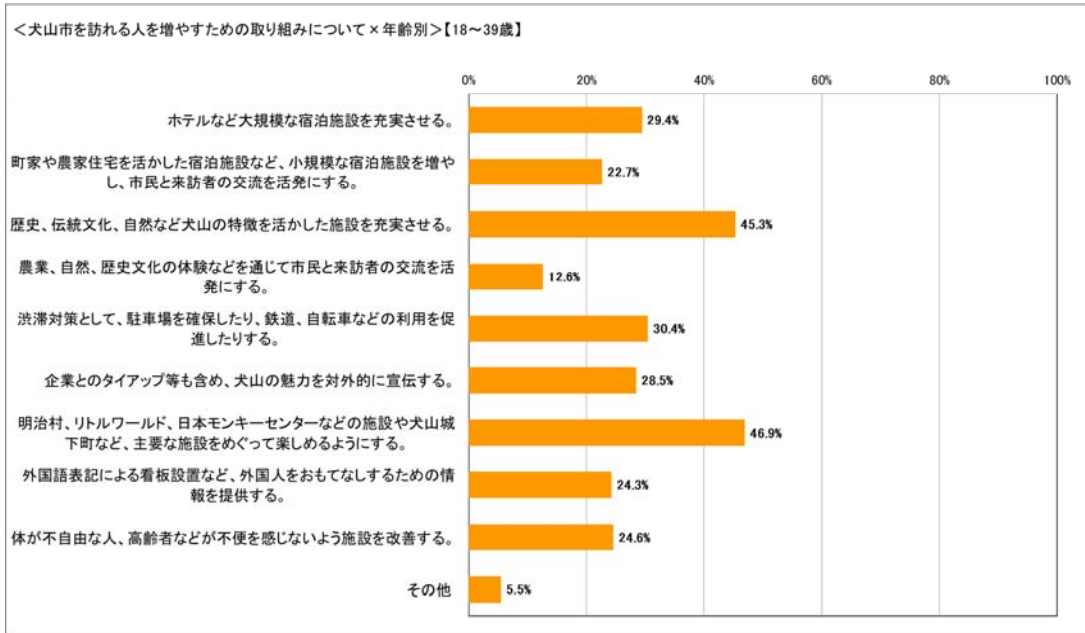
【池野地区】



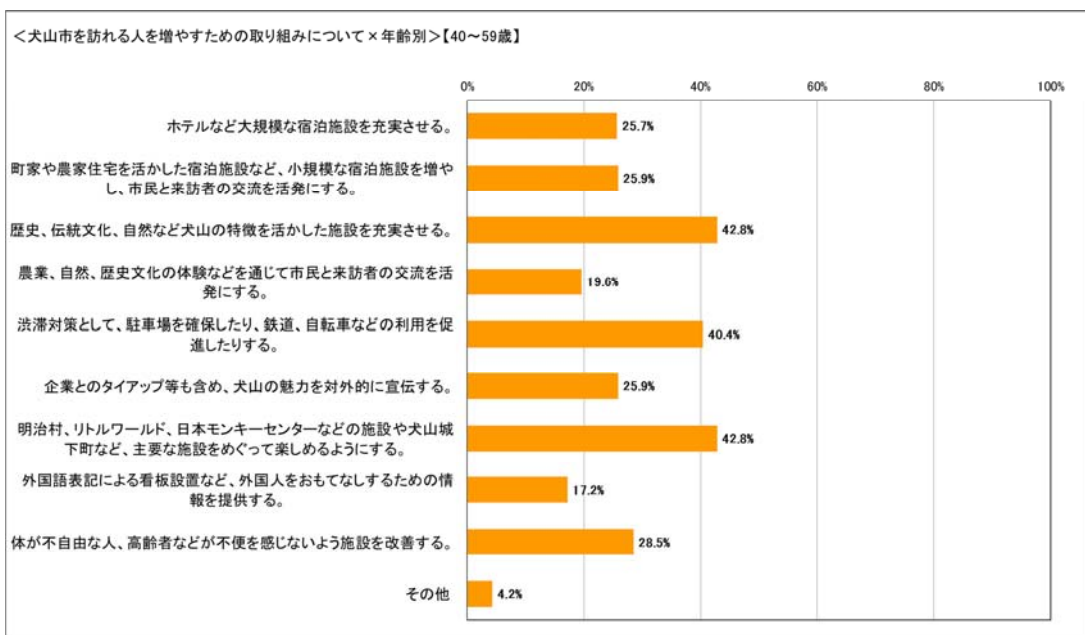
【世代別】

■世代別にみても、各世代とも概ね同様の傾向となっており、世間の大きな傾向の相違はみられません。

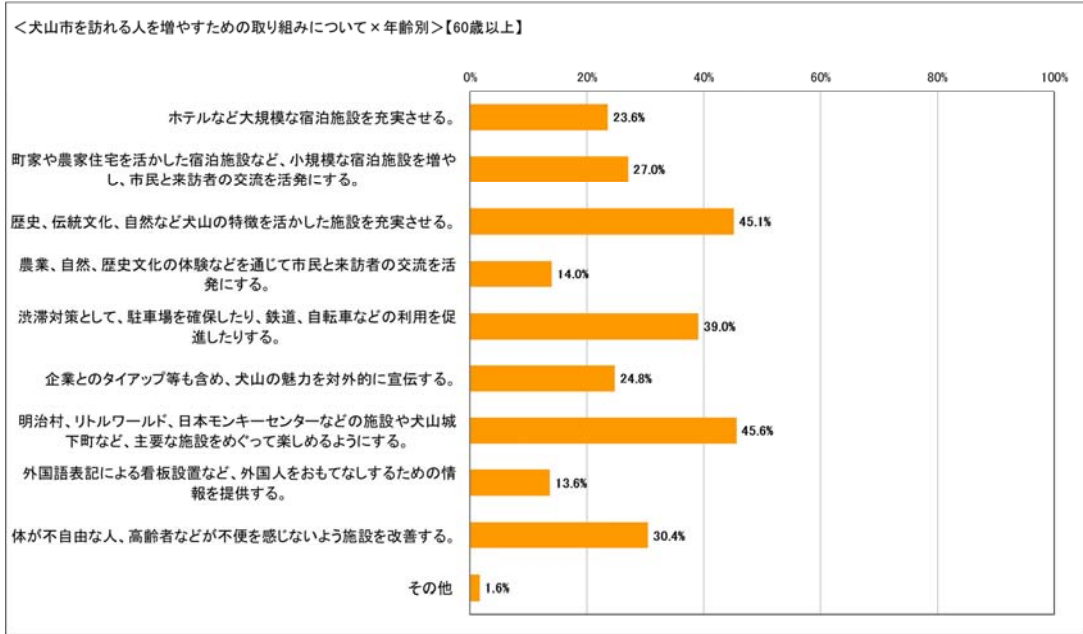
【18-39 歳】



【40-59 歳】



【60歳以上】

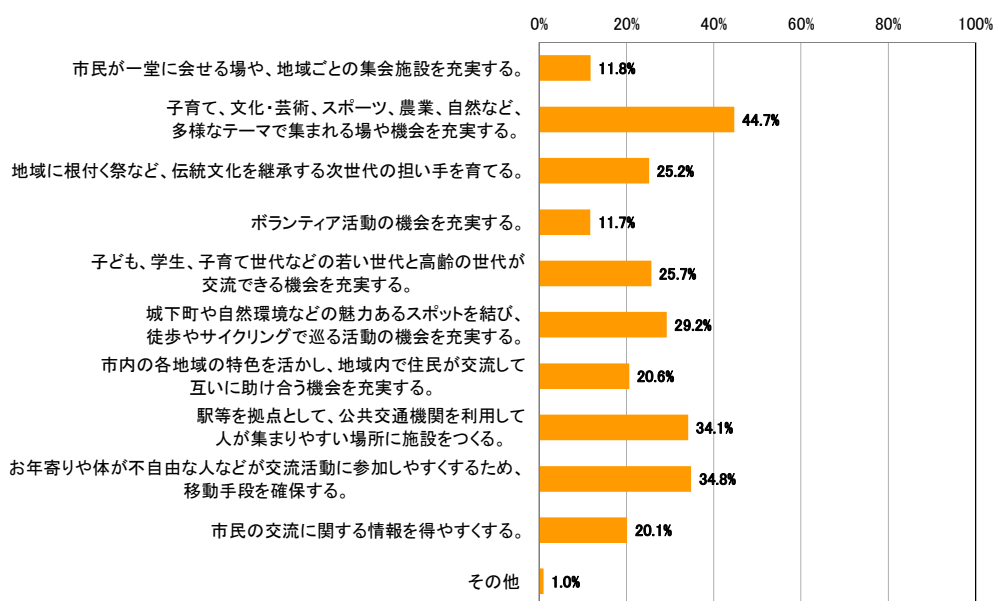


⑥ 市民の交流に関する取り組み

市民がさまざまな活動を通じて交流し、健康で生きがいのある生活を送っていくための方策として、次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

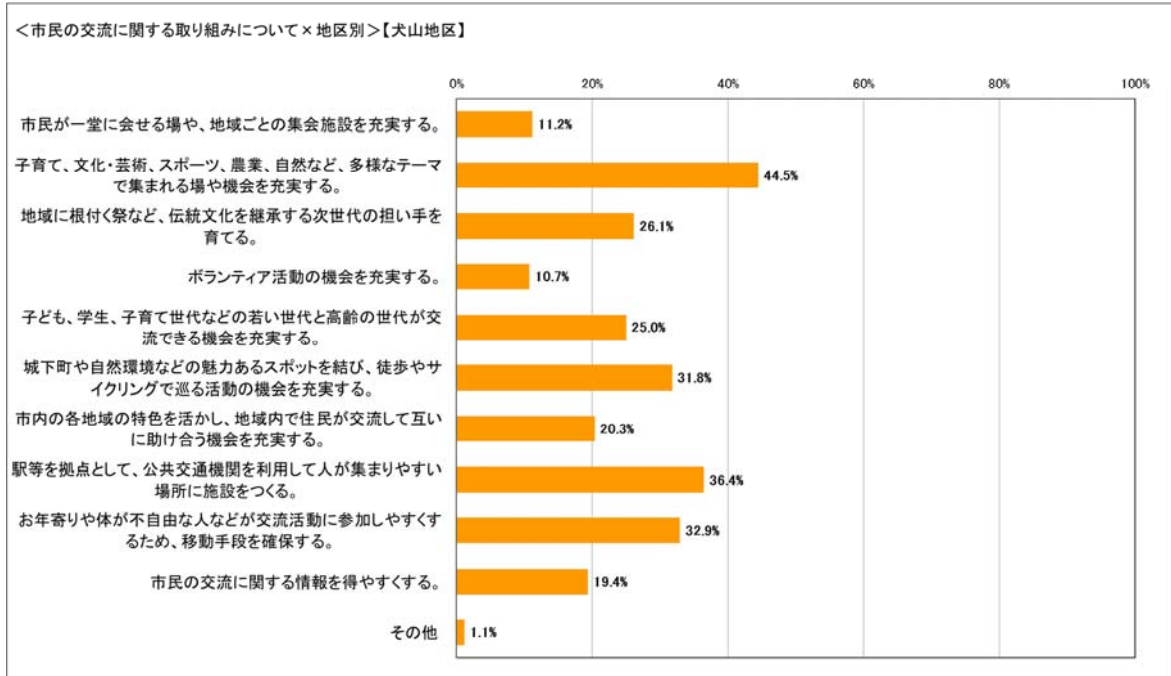
■市民交流拡大の方策として、「多様なテーマで集まれる場や機会」「移動手段の確保」「公共交通を利用しやすい場所での施設整備」「徒歩やサイクリングで市内を巡る機会充実」「若い世代と高齢世代の交流」が上位5つとして選ばれています。



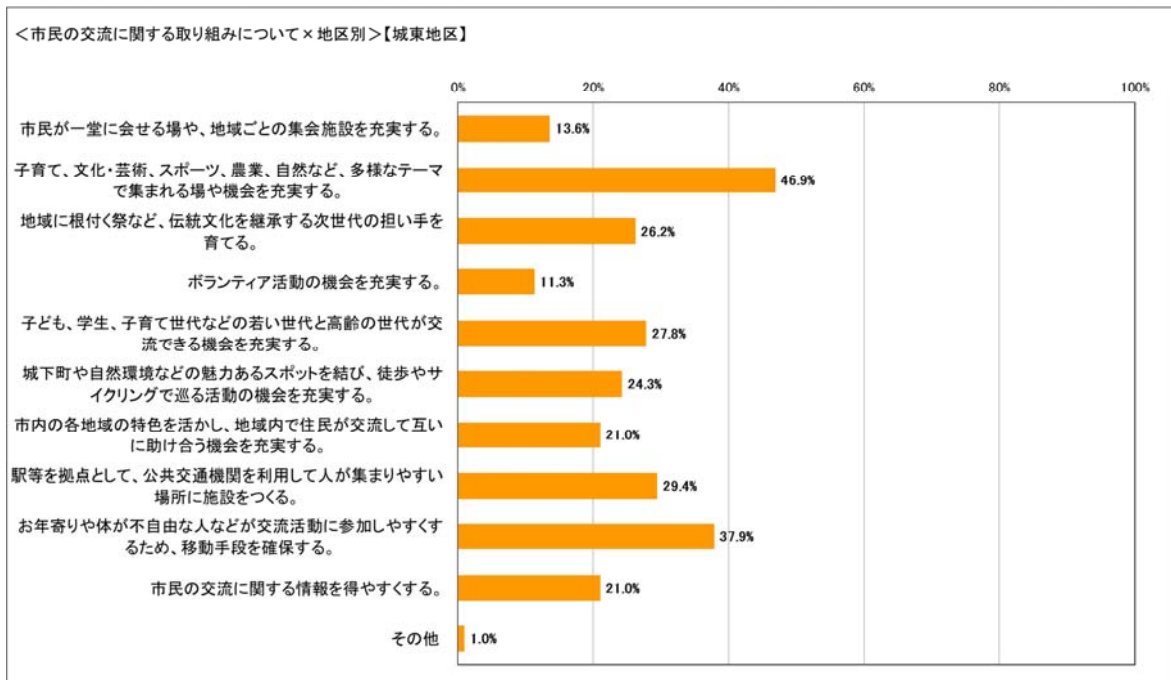
【地区別】

■地区別にみると、各地区とも概ね同様の傾向となっており、地区間の大きな傾向の相違はみられません。

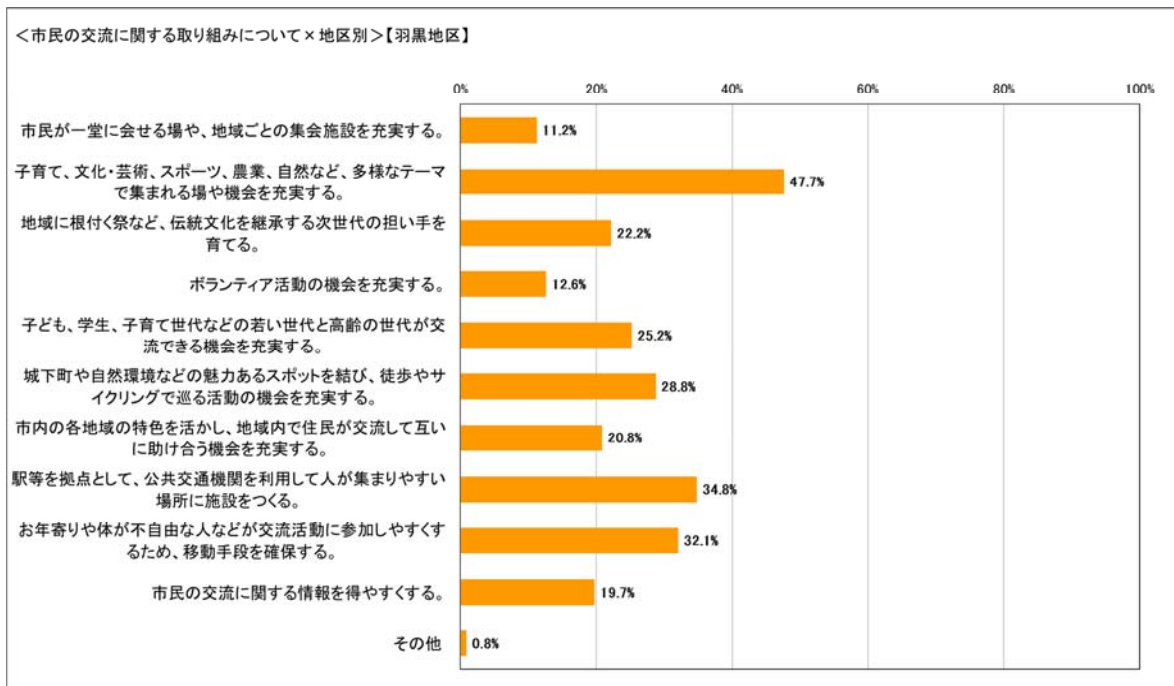
【犬山地区】



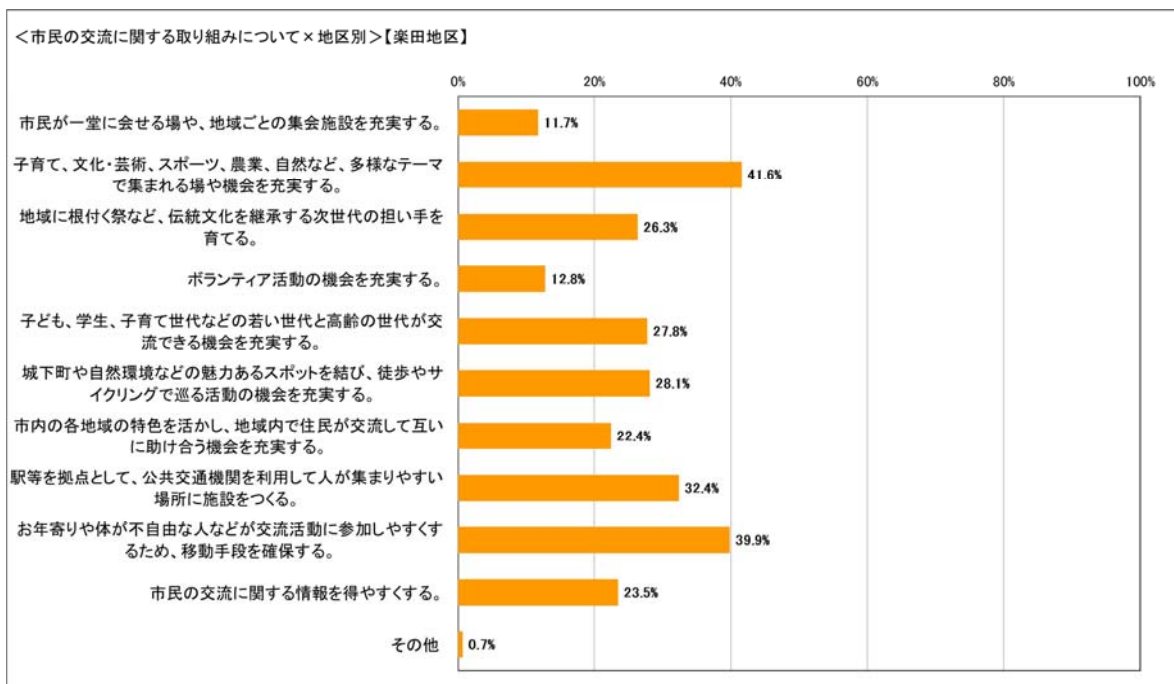
【城東地区】



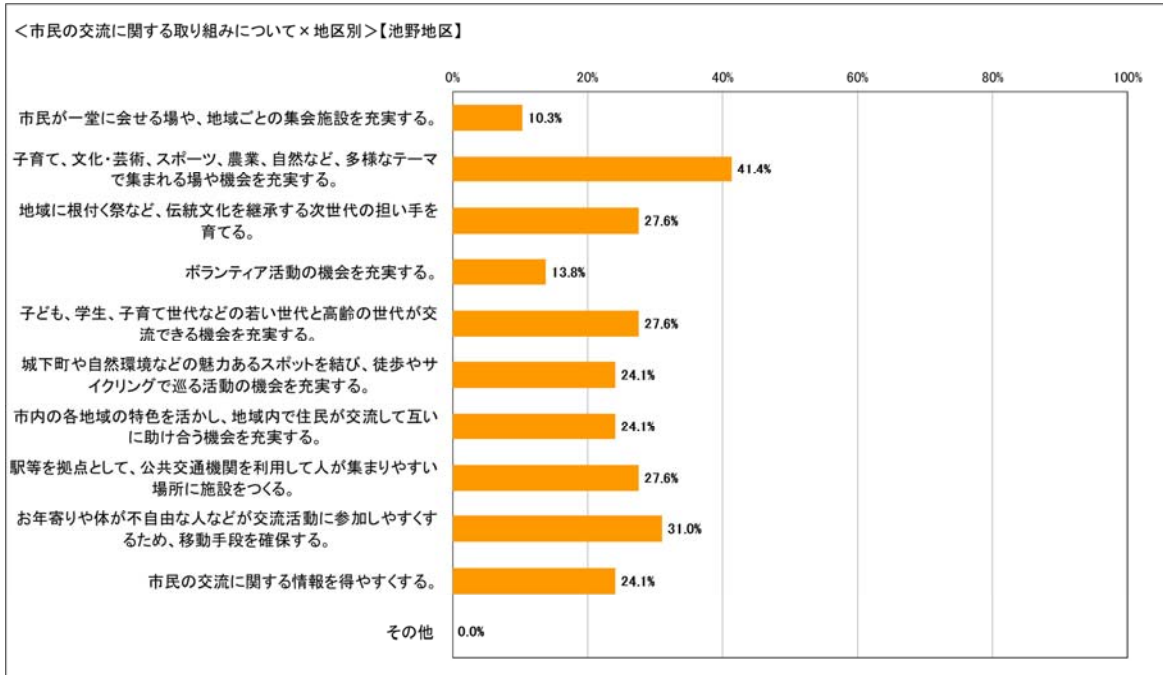
【羽黒地区】



【楽田地区】



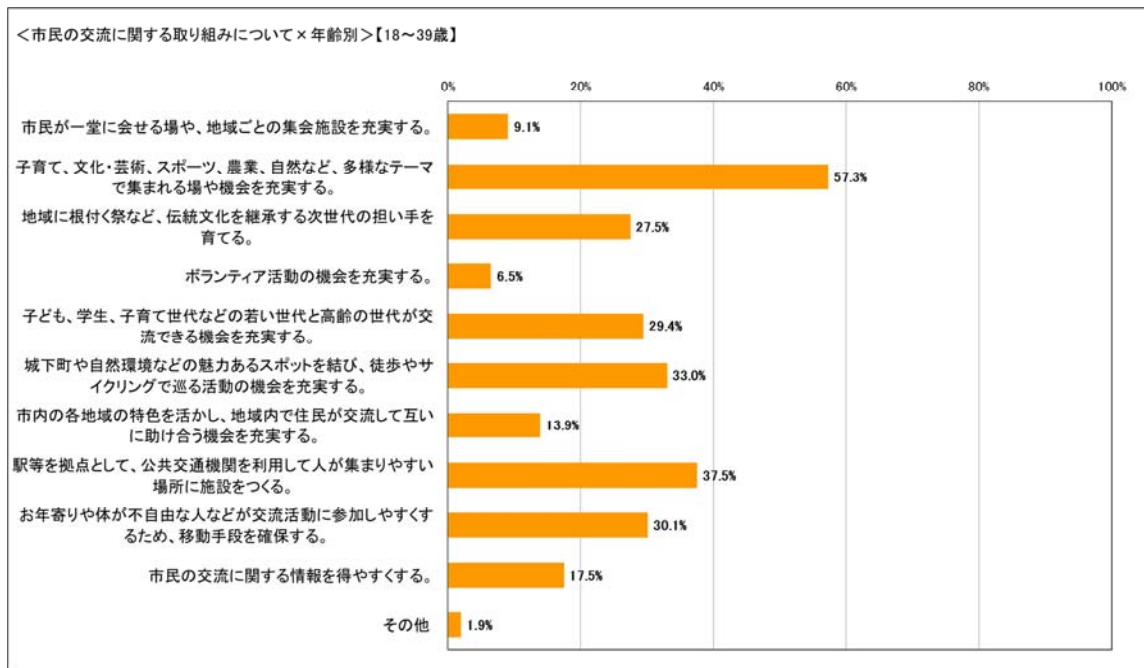
【池野地区】



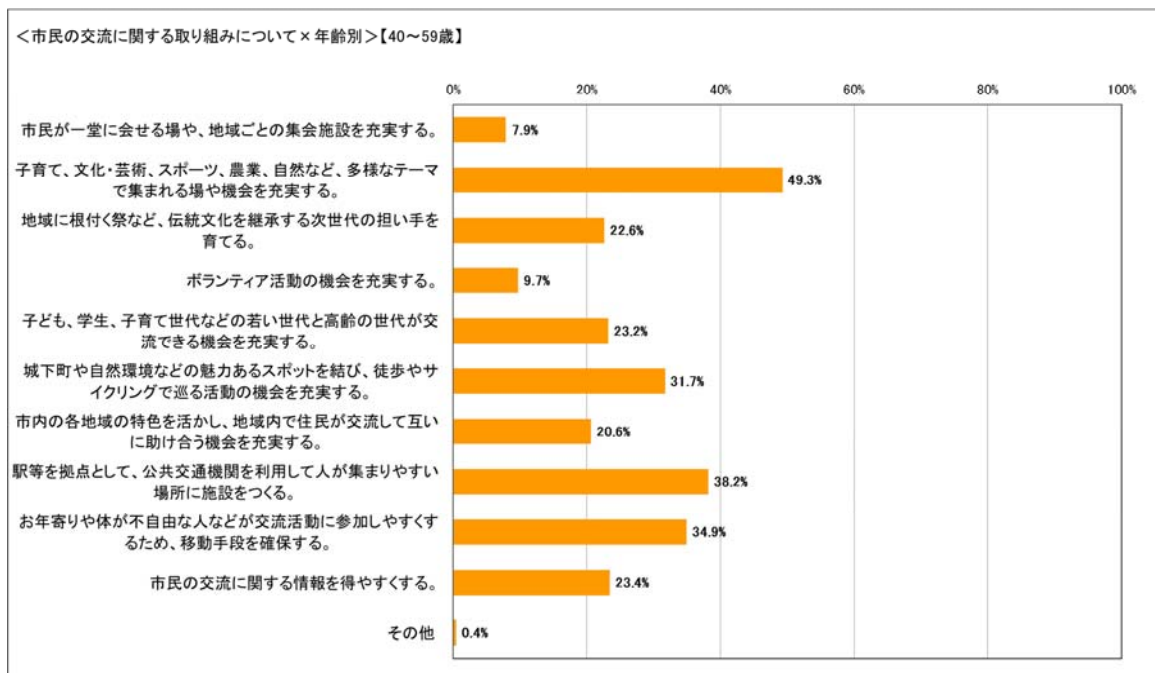
【世代別】

- 各世代とも概ね同様の傾向となっておりますが、「子育て、文化・芸術、スポーツ、農業、自然など、多様なテーマで集まれる場や機会」については若い世代でニーズが高く、「お年寄りや体が不自由な人などが交流活動に参加しやすくするための移手段確保」は高齢世代でよりニーズが高くなっておりなど、世代によるニーズの違いもみられます。

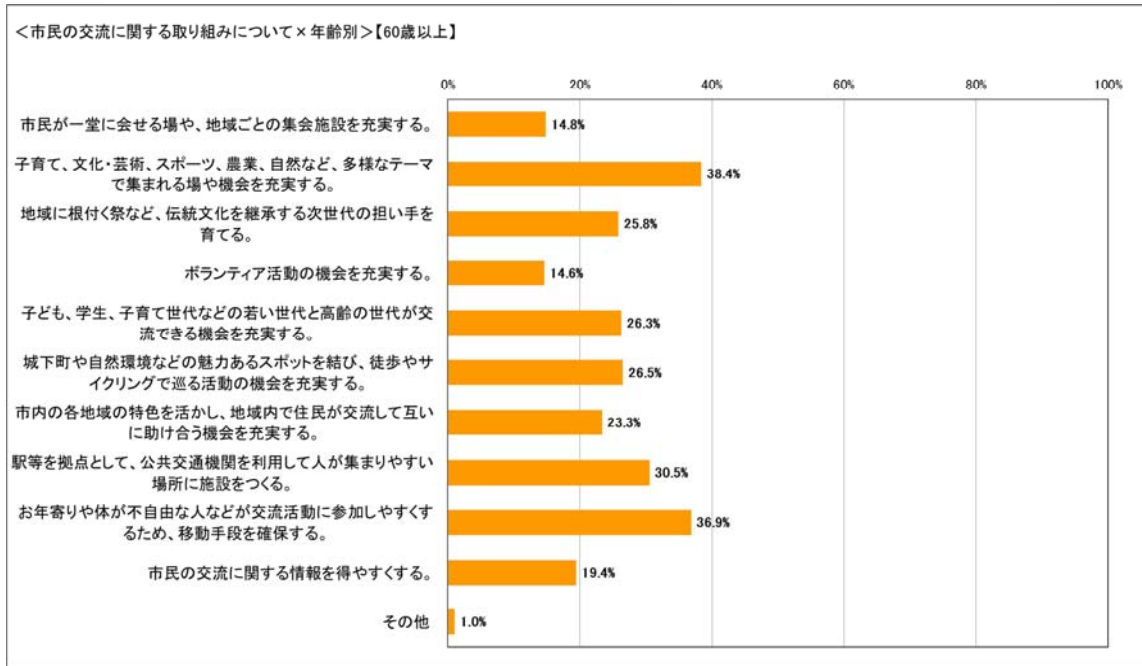
【18-39 歳】



【40-59 歳】



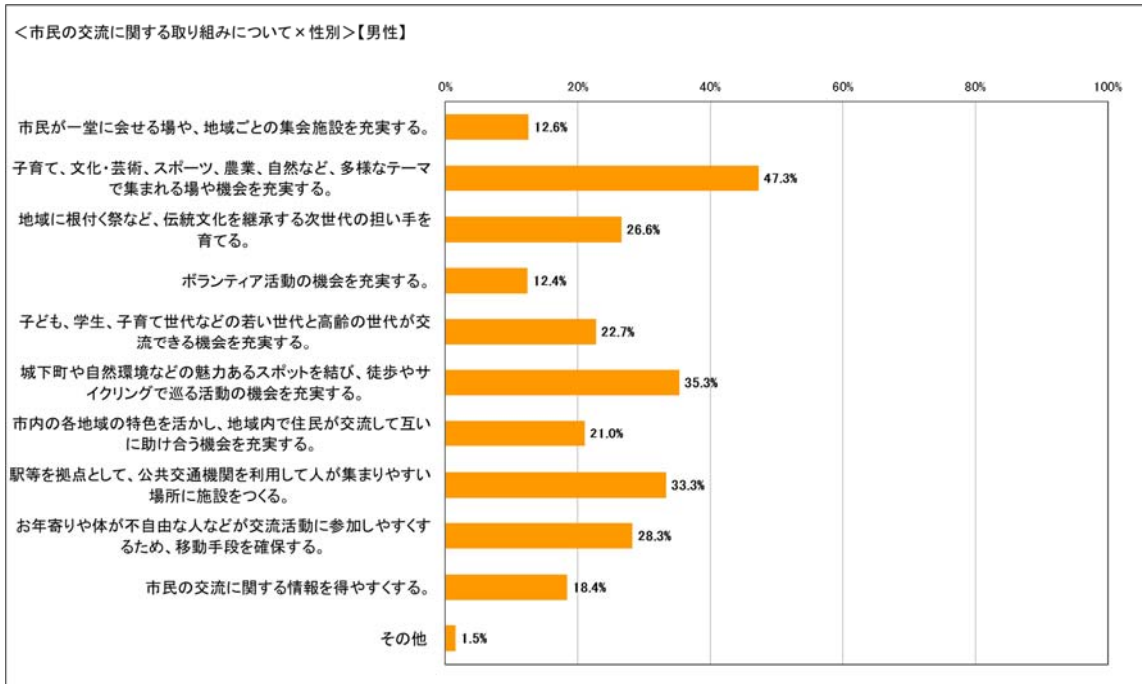
【60歳以上】



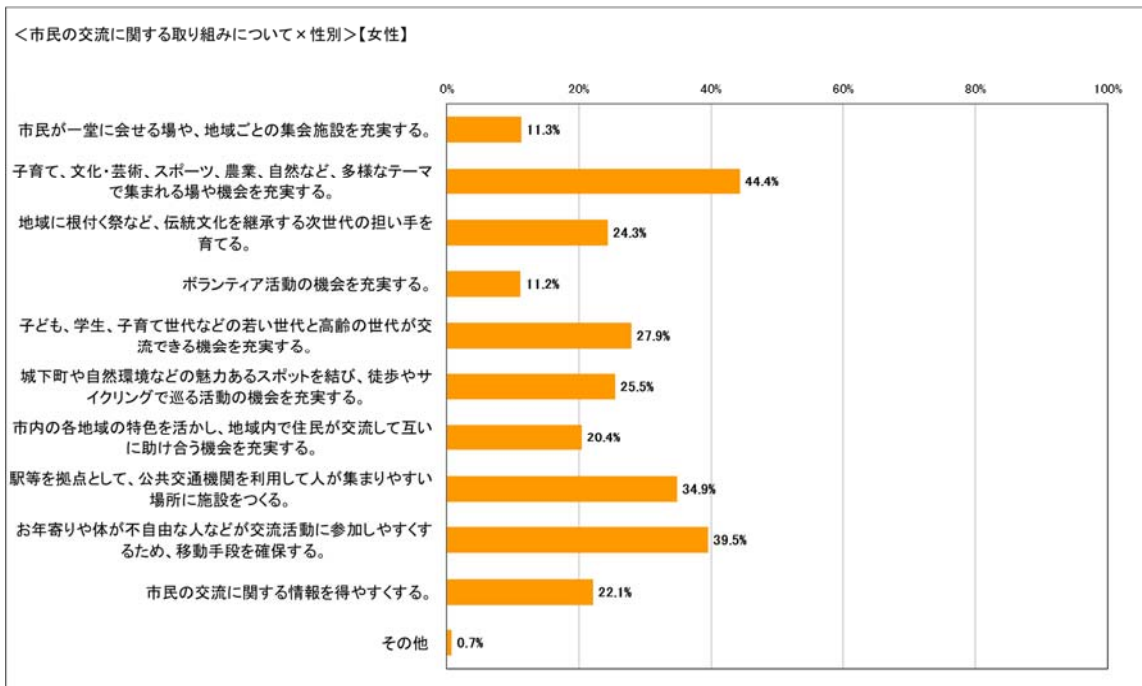
【男女別】

- 男女とも概ね同様の傾向となっていますが、「子育て、文化・芸術、スポーツ、農業、自然など、多様なテーマで集まれる場や機会」や「お年寄りや体が不自由な人などが交流活動に参加しやすくするための移動手段確保」は女性のニーズが高くなっているなどの違いもみられます。

【男性】



【女性】



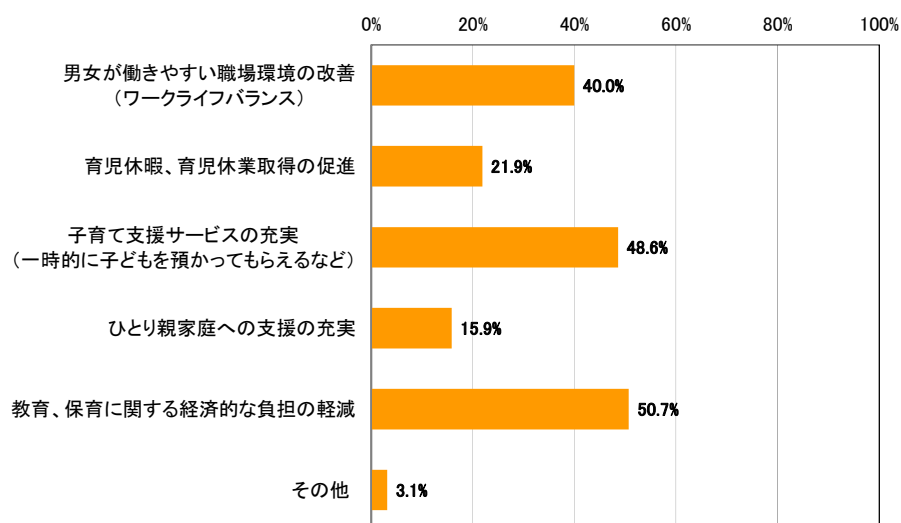
⑦ 子育て・教育・歴史・文化等に関する取り組み

(1) 子育て支援について

◆少子化対策として一番有効な施策は何だと思えますか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを2つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

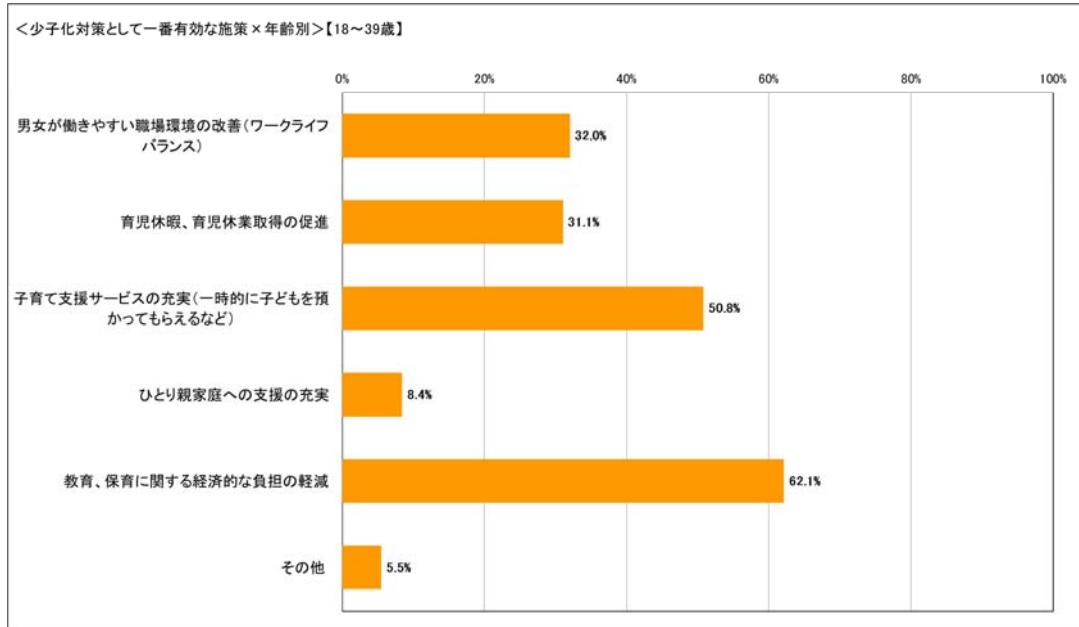
■少子化対策として、「経済負担の軽減」「託児サービスの充実」「ワークライフバランス」が上位3つとして選ばれています。



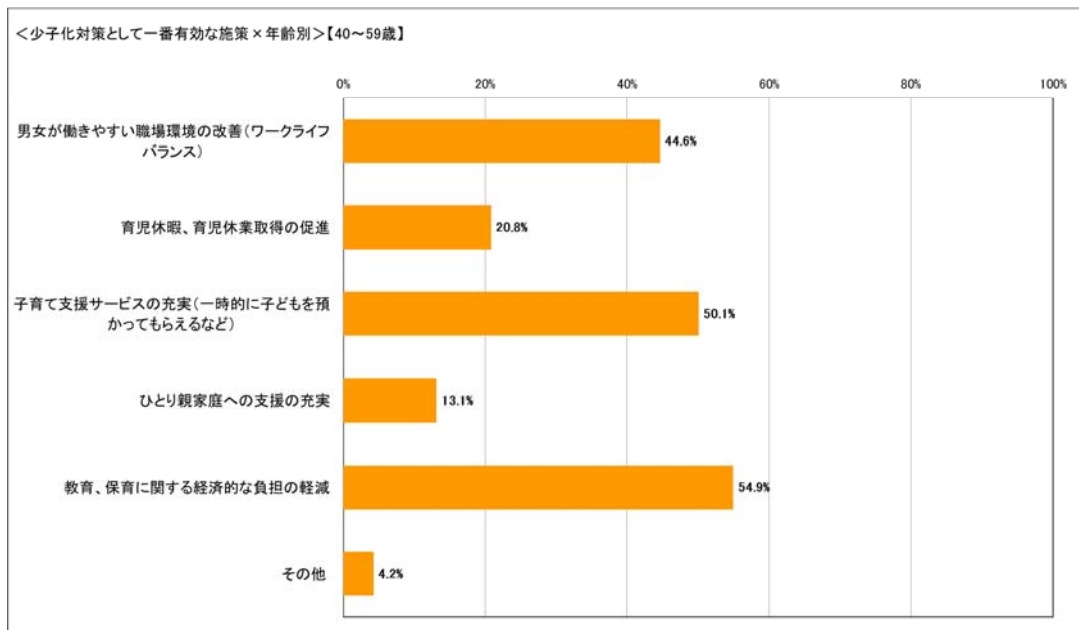
【世代別】

■若い世代では「育児休暇、育児休業取得の促進」「教育、保育に関する経済的な負担の軽減」に対するニーズが相対的に高い傾向にあり、一方中高年の世代では「男女が働きやすい職場環境の改善」のニーズが高くなっています。

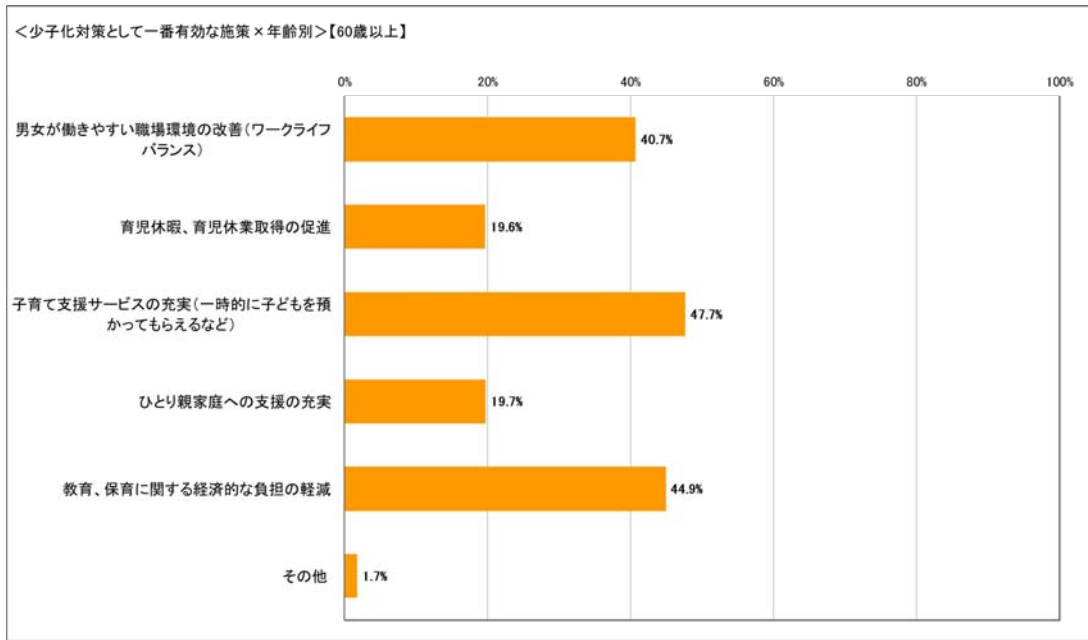
【18-39 歳】



【40-59 歳】



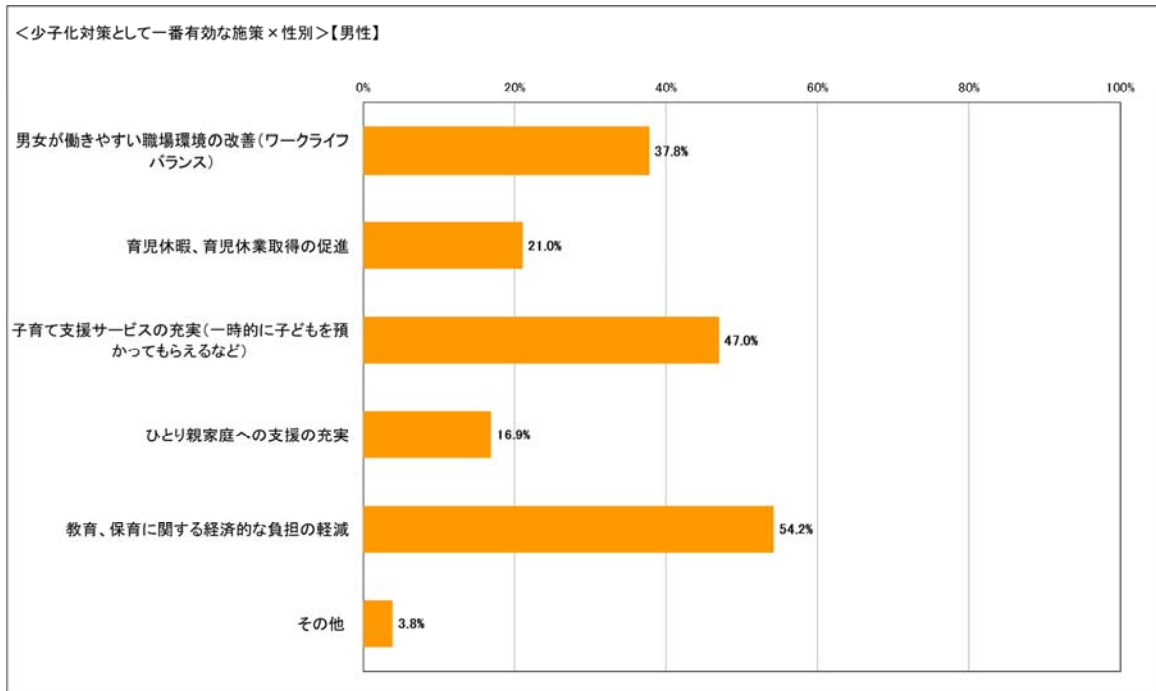
【60歳以上】



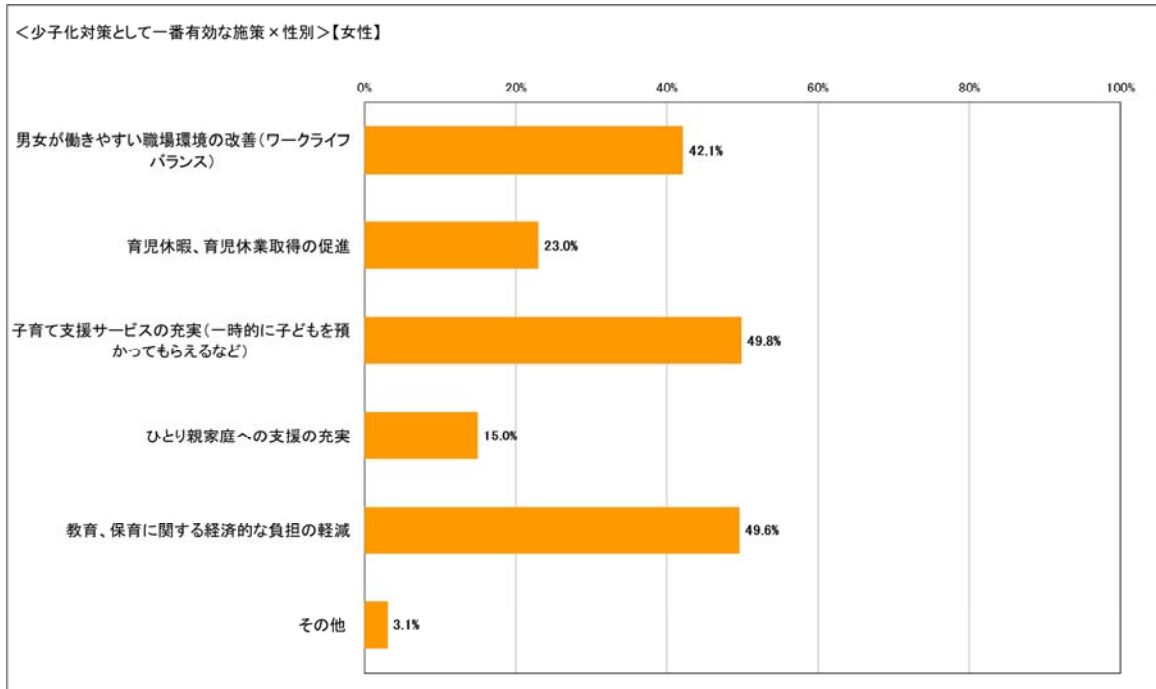
【男女別】

■男女別では特に大きな傾向の違いはみられません。

【男性】



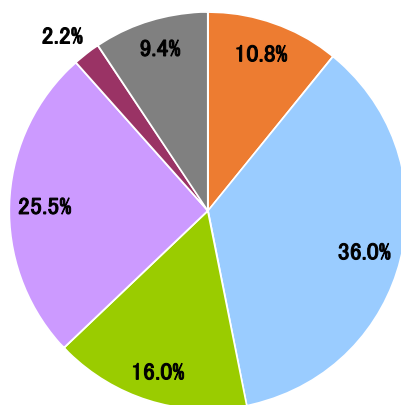
【女性】



◆子育て支援の環境整備として必要だと思うものは何ですか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを1つだけ選び、その番号を記入してください。

【全体】

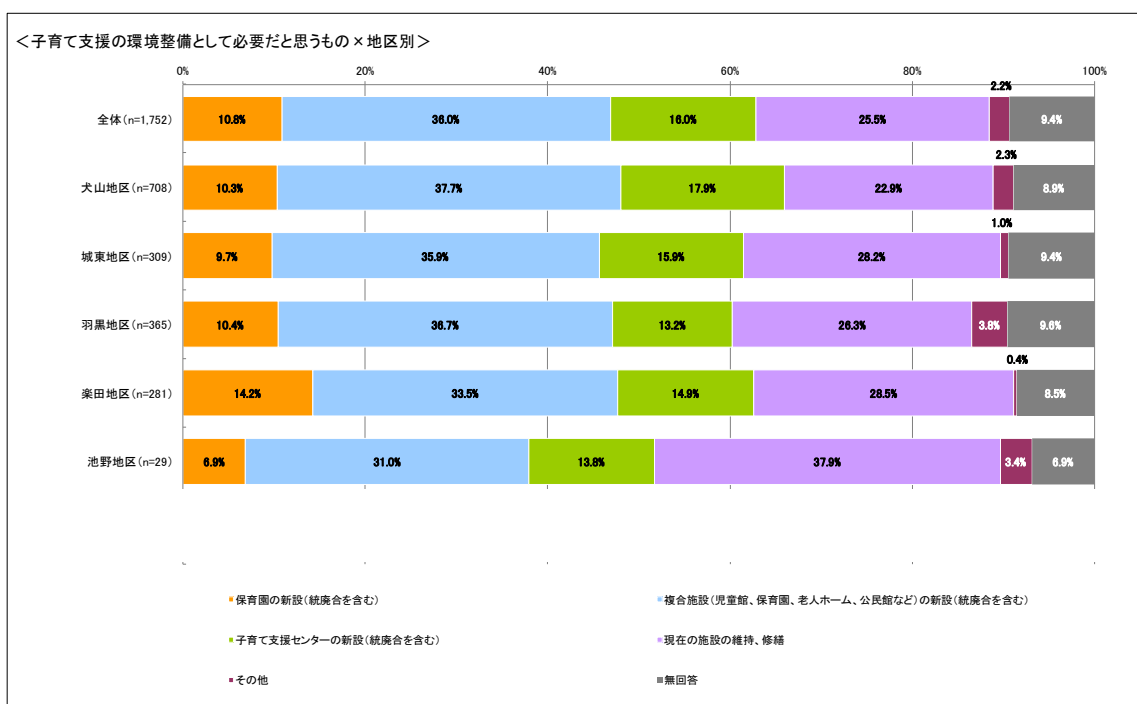
■子育て支援の環境整備として、最も多く支持されたのは「複合施設の整備」(36.0%)、次いで「現在の施設の維持、修繕」(25.5%)「子育て支援センターの新設、統廃合」(16.0%)となっています。



- 保育園の新設(統廃合を含む)
- 複合施設(児童館、保育園、老人ホーム、公民館など)の新設(統廃合を含む)
- 子育て支援センターの新設(統廃合を含む)
- 現在の施設の維持、修繕
- その他
- 無回答

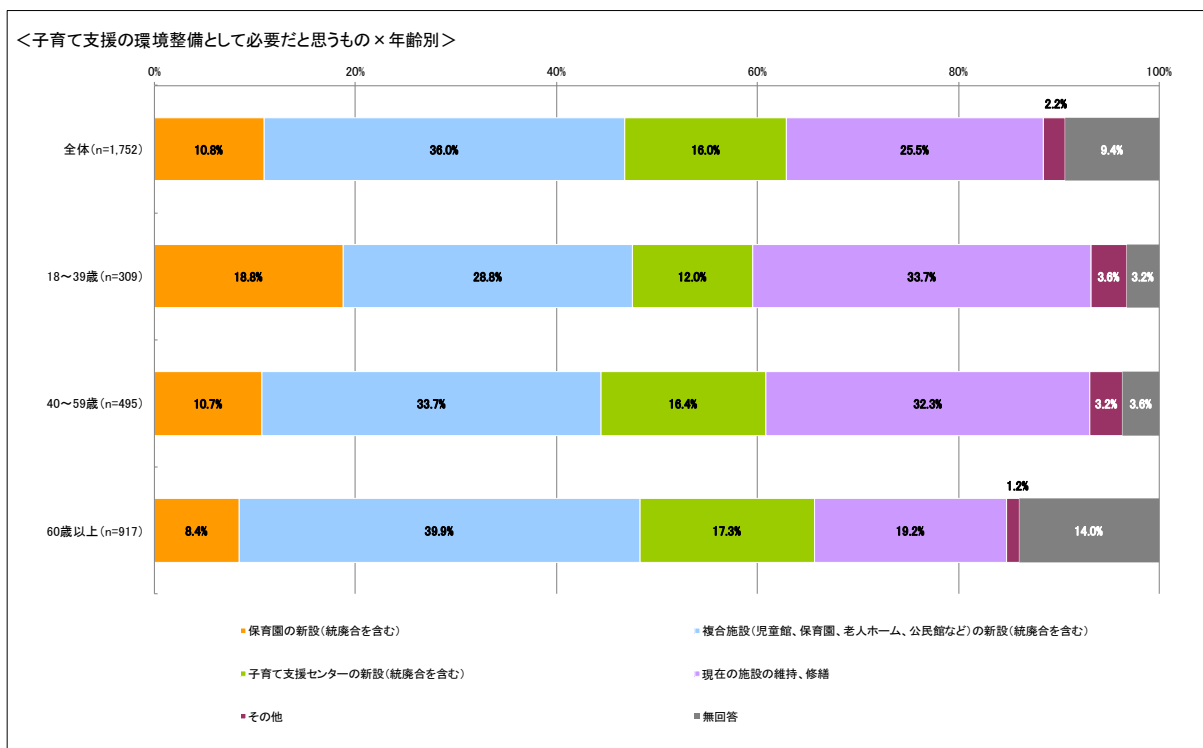
【地区別】

■地区別に大きな傾向の相違はありませんが、池野地区では「既存施設の維持・管理」に対するニーズが相対的に高い傾向にあります。



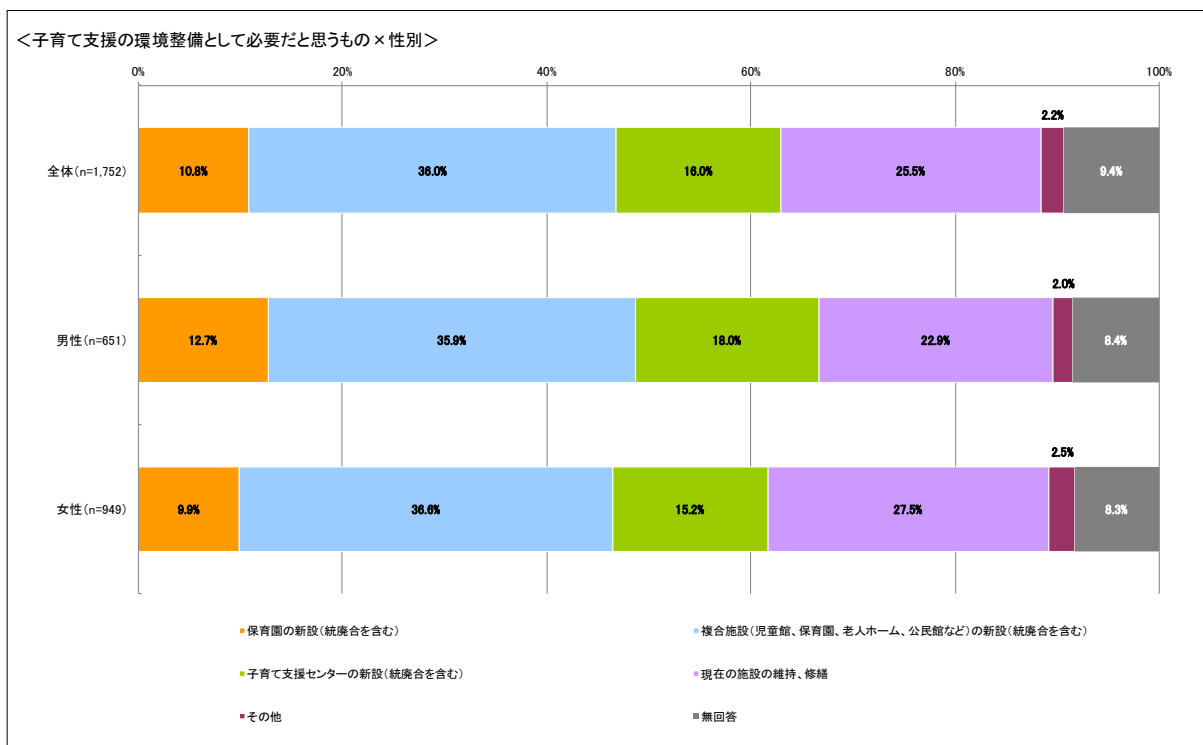
【世代別】

- 若い世代では「保育園の新設や維持・管理」に対するニーズが相対的に高い傾向にある一方、高齢世代では「児童館、保育園、老人ホーム、公民館などの複合施設」に対するニーズが高くなっています。



【男女別】

- 男女別では特に大きな傾向の違いはみられません。

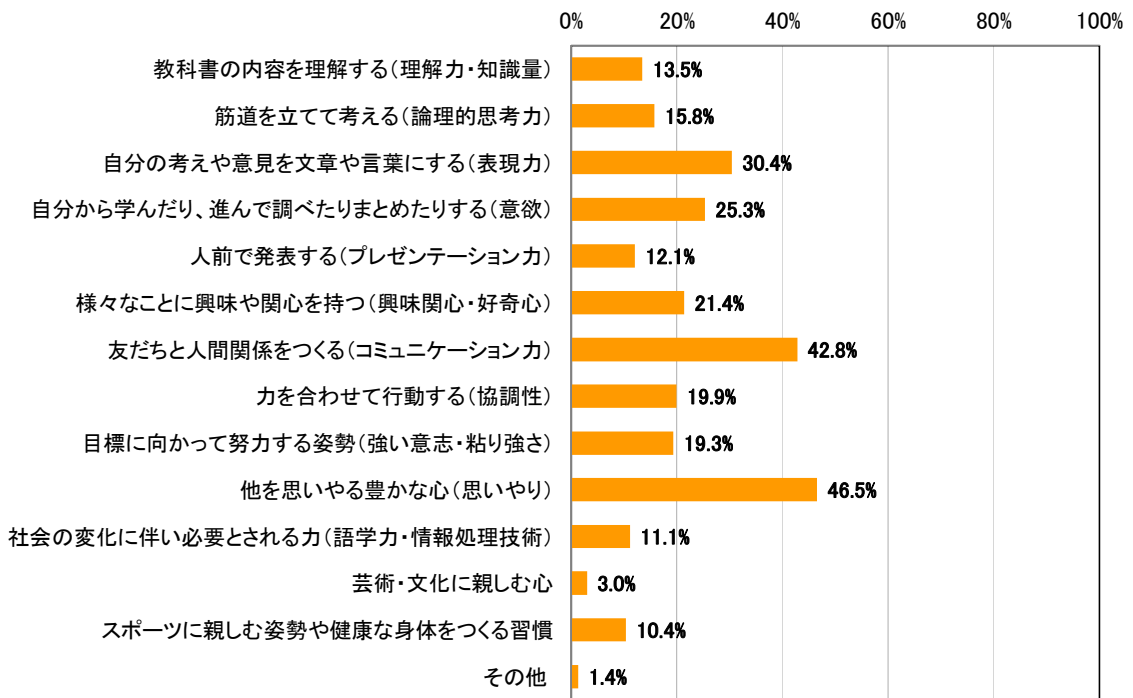


(2) 市内の小中学校について

◆学校で子どもに身につけさせる力として、重視すべきと思うのは何ですか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

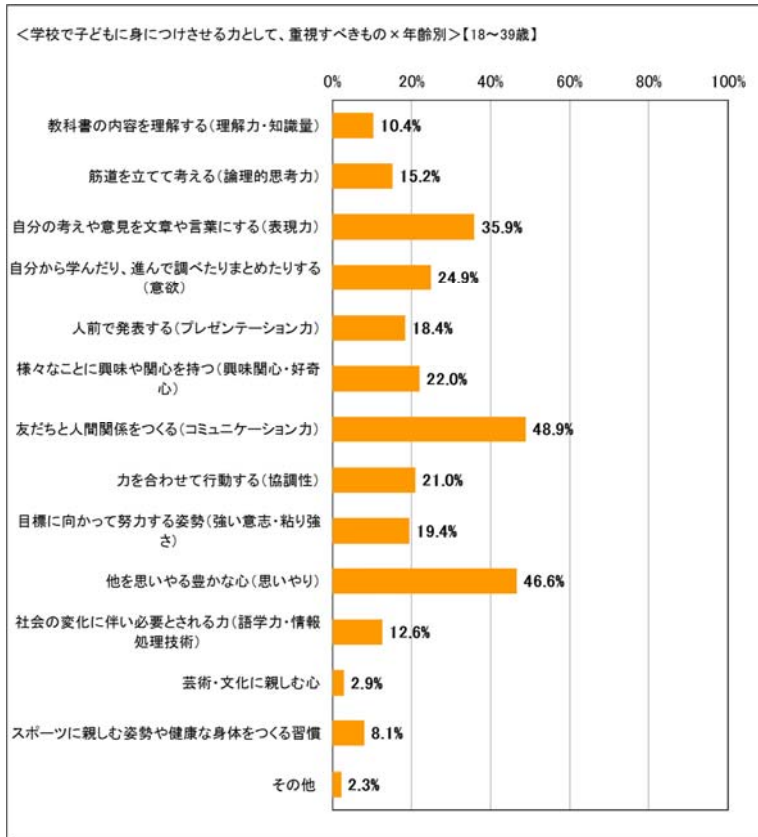
■学校で子どもに身につけさせる力として、支持された上位5つの事項は、「思いやり」「コミュニケーション力」「表現力」「自発的に学ぶ意欲」「興味、関心、好奇心」となっています。



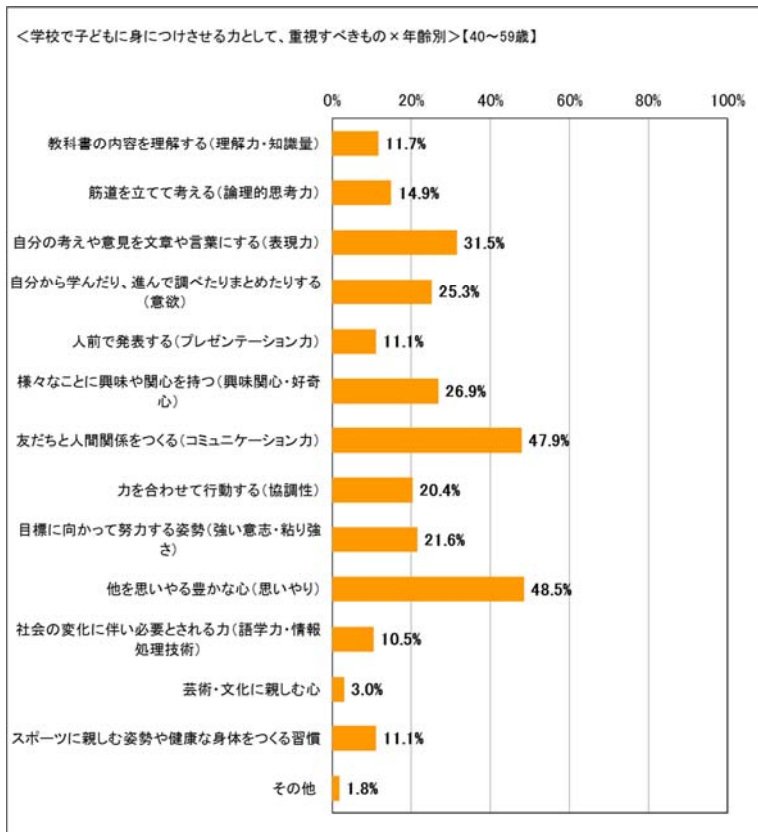
【世代別】

■世代間では特に大きな傾向の違いはみられません。

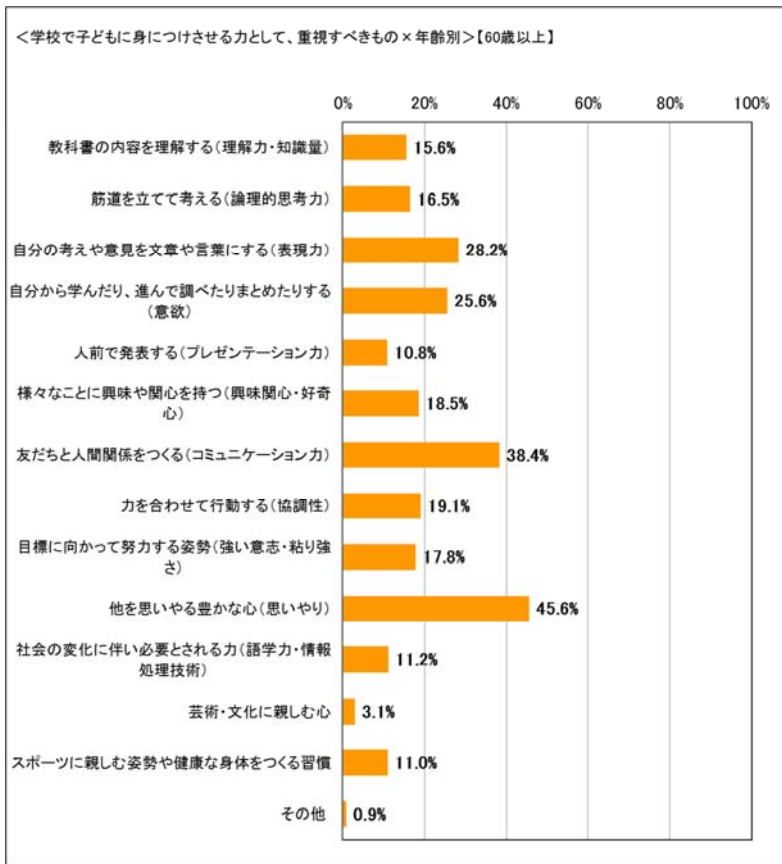
【18-39 歳】



【40-59 歳】



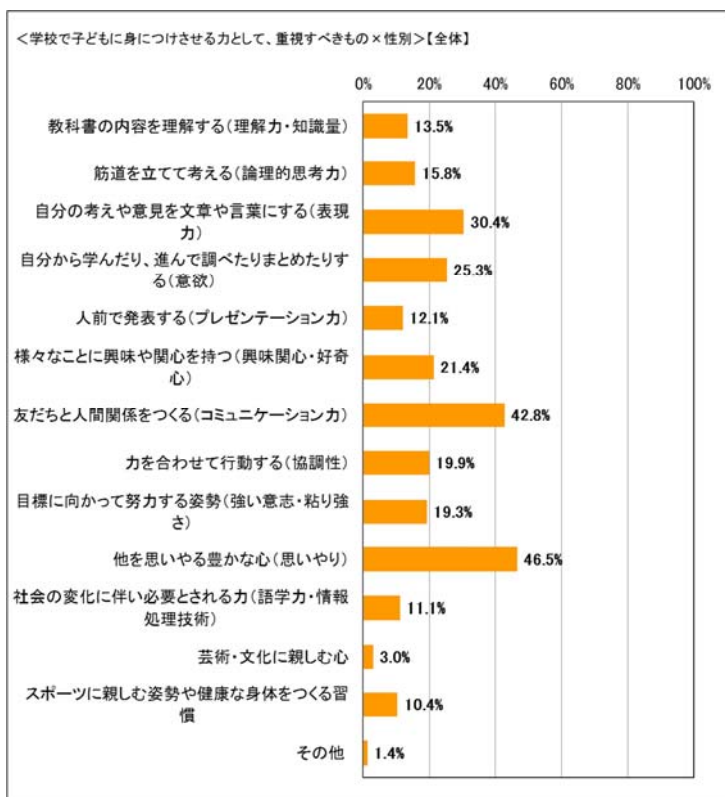
【60歳以上】



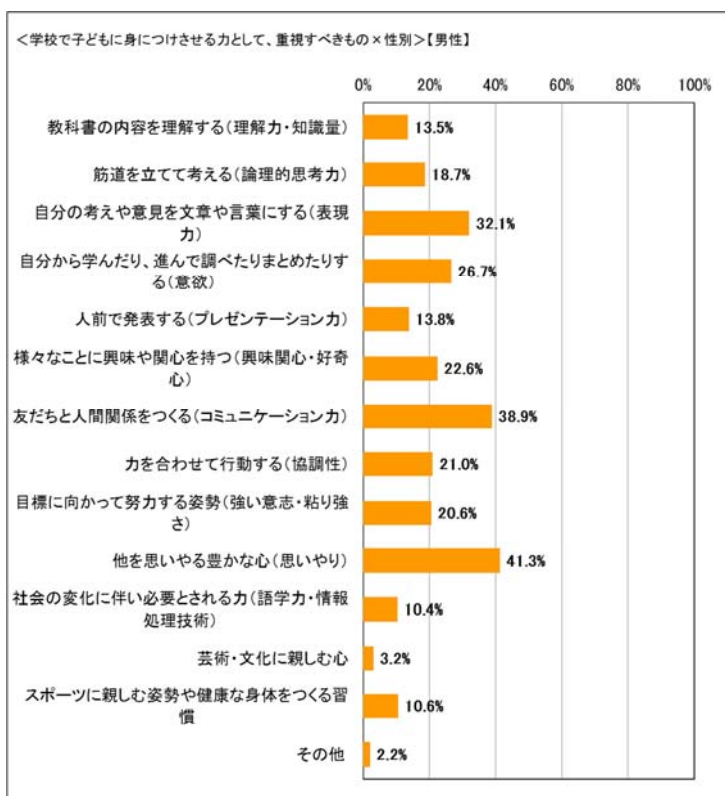
【男女別】

■男女別でも特に大きな傾向の違いはみられません。

【男性】



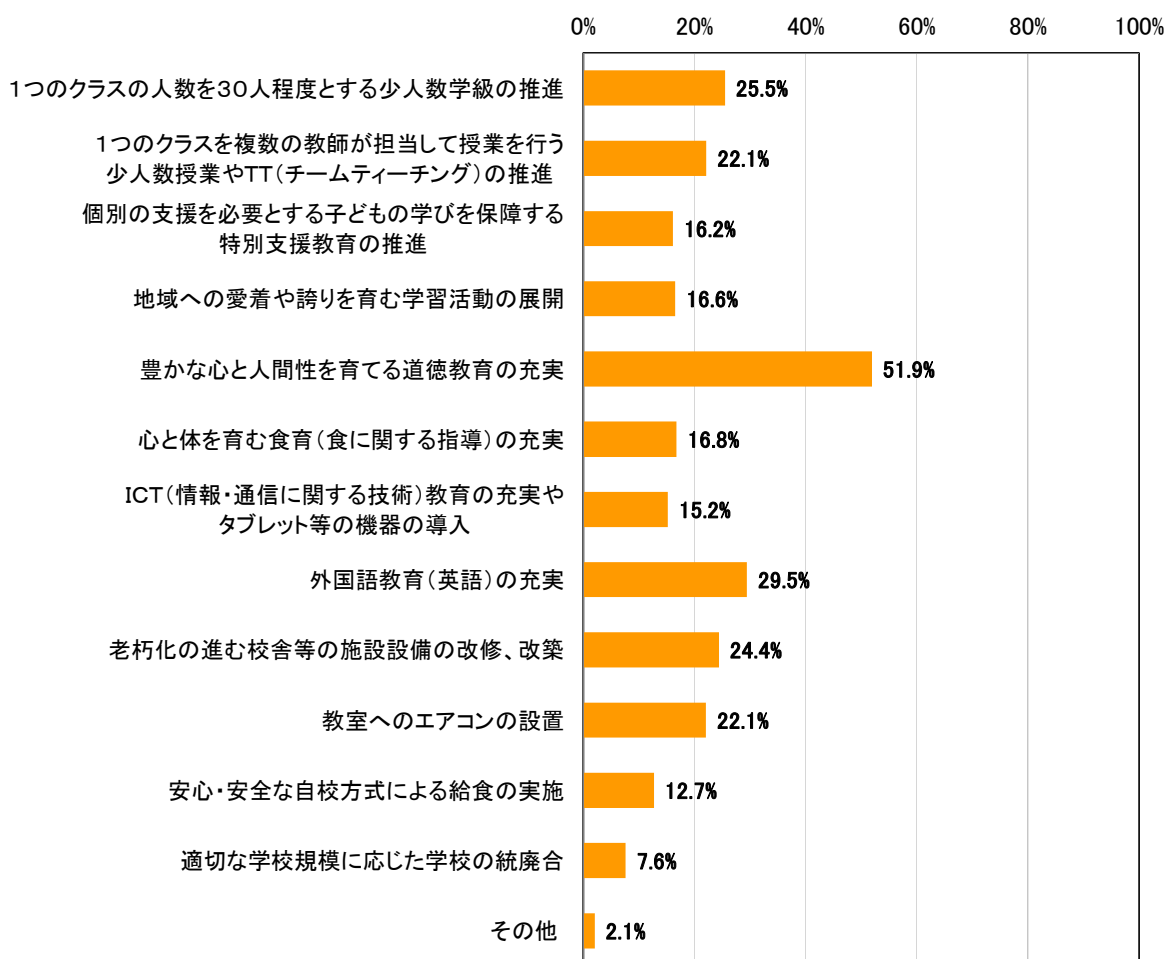
【女性】



◆犬山の学校教育の中で進められたり、検討されたり、将来的な課題になったりしている次のような取り組みについて、優先すべきと思うものは何ですか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

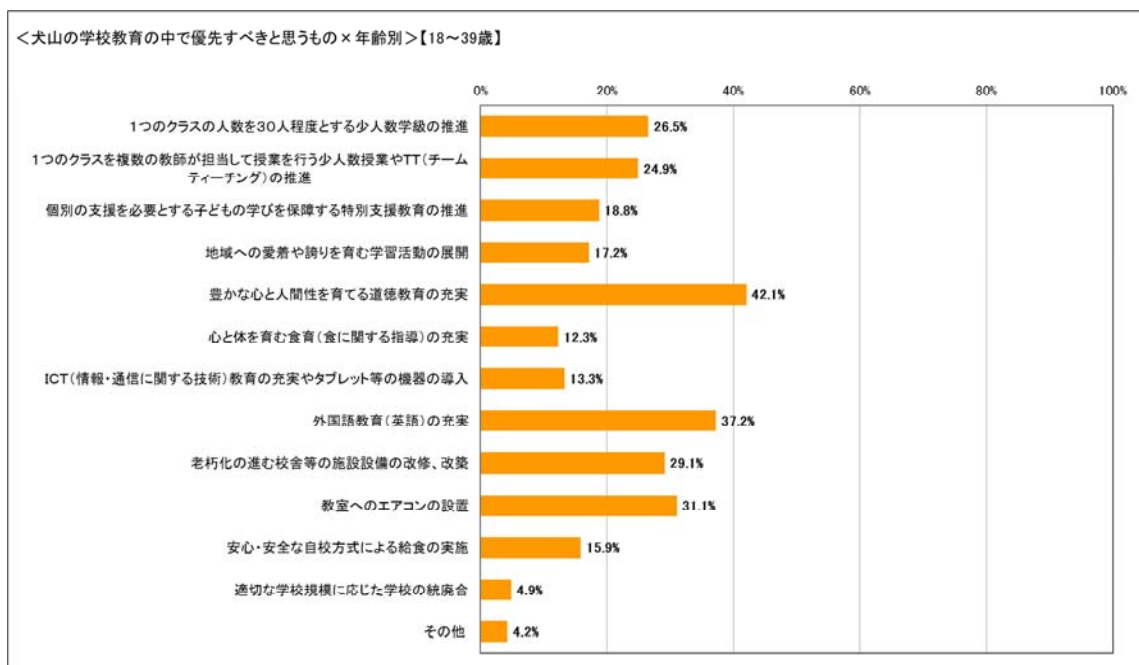
■学校教育の中で進められたり、検討されたり、将来的な課題になったりしている取り組みのうち、優先すべきとされたもの上位5つの事項は、「道徳教育」「外国語教育」「少人数学級の推進」「校舎の老朽化対策」「少人数授業・チームティーチング」「エアコン設置」となっています。



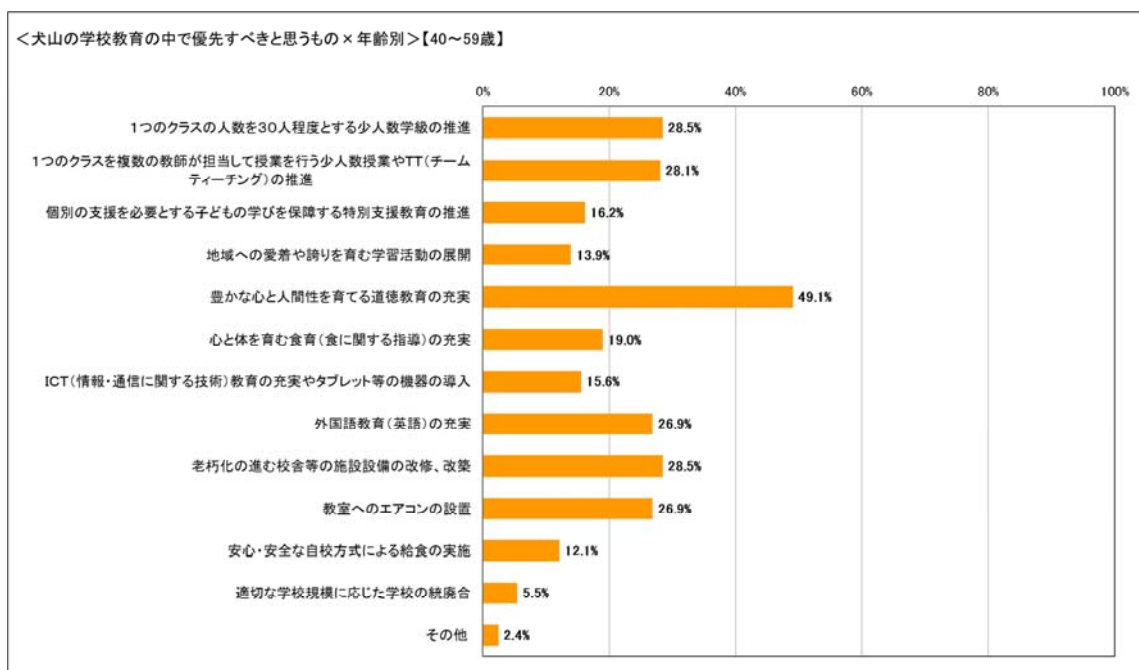
【世代別】

- 世代間で全体的な傾向に違いはありませんが、若い世代では「外国語教育」、高齢世代では「道徳」に対するニーズが高くなっています。

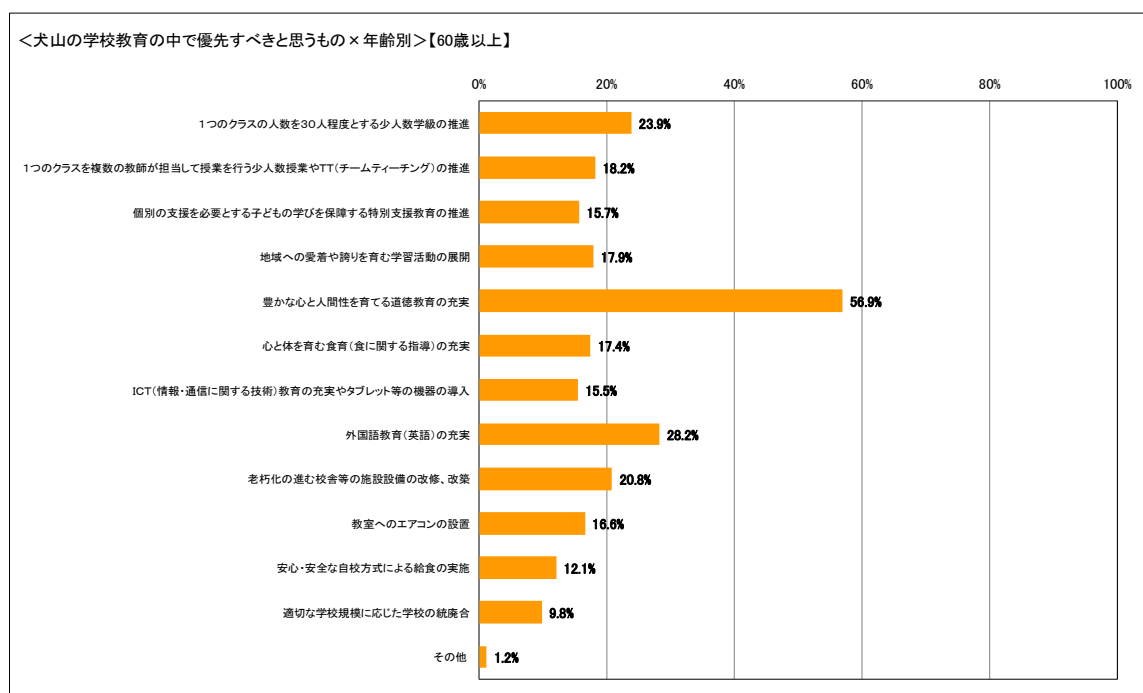
【18-39 歳】



【40-59 歳】



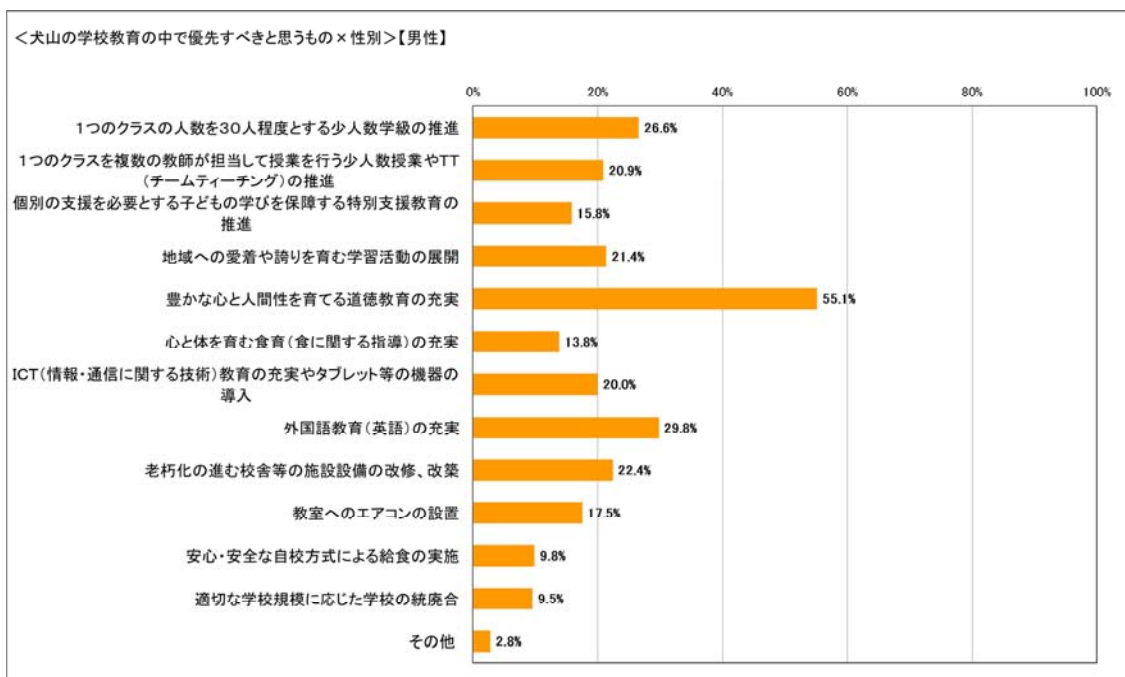
【60歳以上】



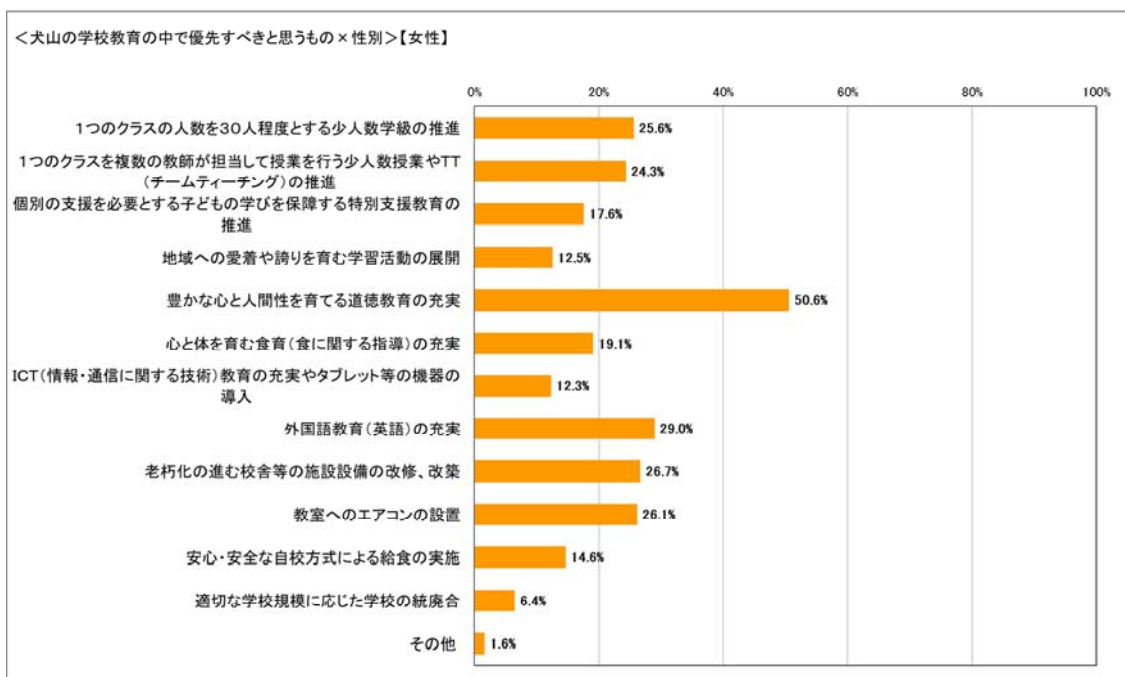
【男女別】

■男女別では特に大きな傾向の違いはみられません。

【男性】



【女性】

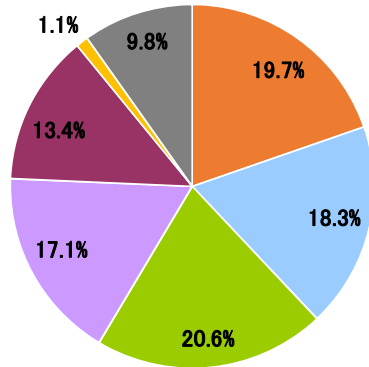


(3) 生涯学習について

◆生涯学習を盛んにしていくために、市が今後力を入れるべきことは何だと思えますか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを1つだけ選び、その番号を記入してください。

【全体】

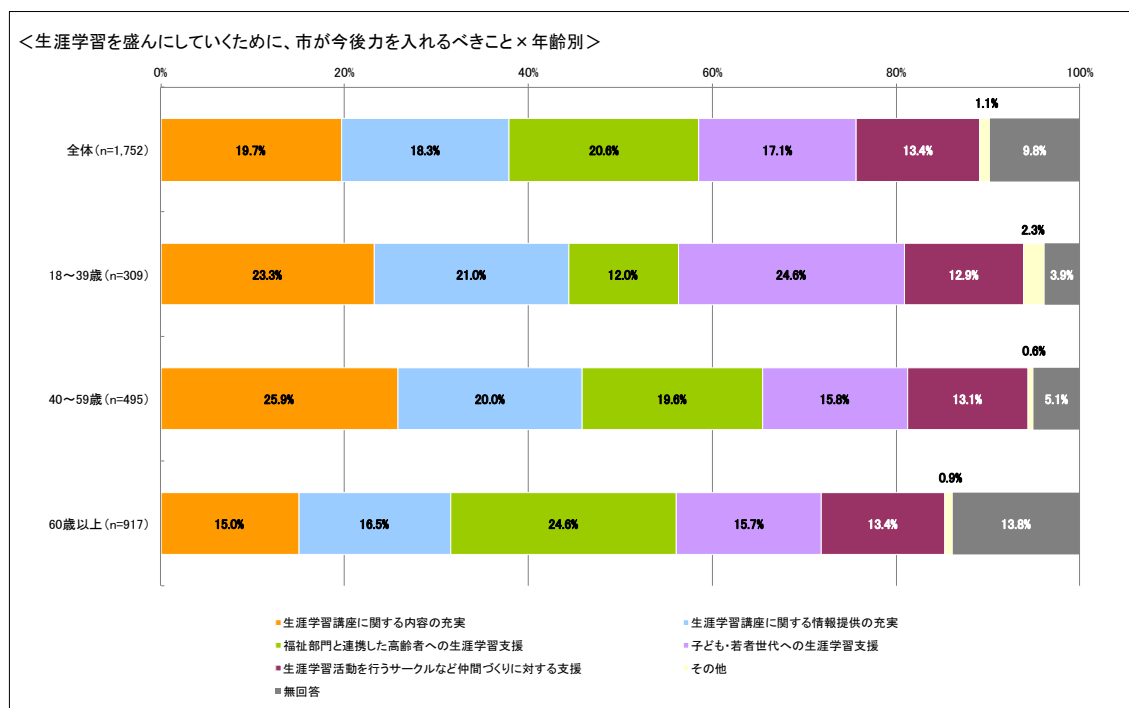
■生涯学習の振興策として市が今後力を入れるべきこととされたものは、最も多いのが「福祉部門と連携した高齢者の生涯学習」(20.6%)であり、次いで「講座の内容充実」(19.7%)と「講座情報提供の充実」(18.3%)と「講座情報提供の充実」(18.3%)が僅差で並んでいます。



- 生涯学習講座に関する内容の充実
- 生涯学習講座に関する情報提供の充実
- 福祉部門と連携した高齢者への生涯学習支援
- 子ども・若者世代への生涯学習支援
- 生涯学習活動を行うサークルなど仲間づくりに対する支援
- その他
- 無回答

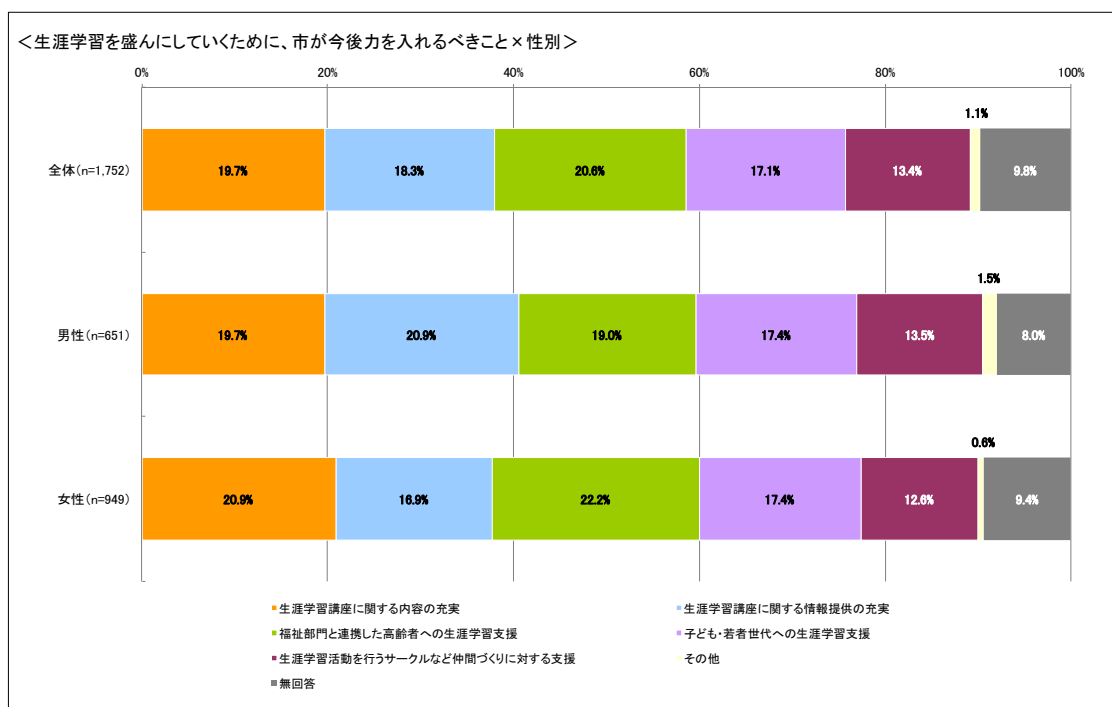
【世代別】

■若い世代では「子ども・若者世代への生涯学習支援」、また高齢世代では「高齢者への生涯学習支援」のニーズが相対的に高くなっています。



【男女別】

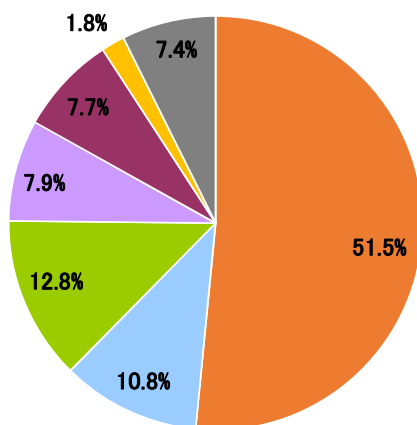
■男女別では特に大きな傾向の違いはみられません。



◆スポーツ振興のために、市が今後力を入れるべきことは何だと思えますか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを1つだけ選び、その番号を記入してください。

【全体】

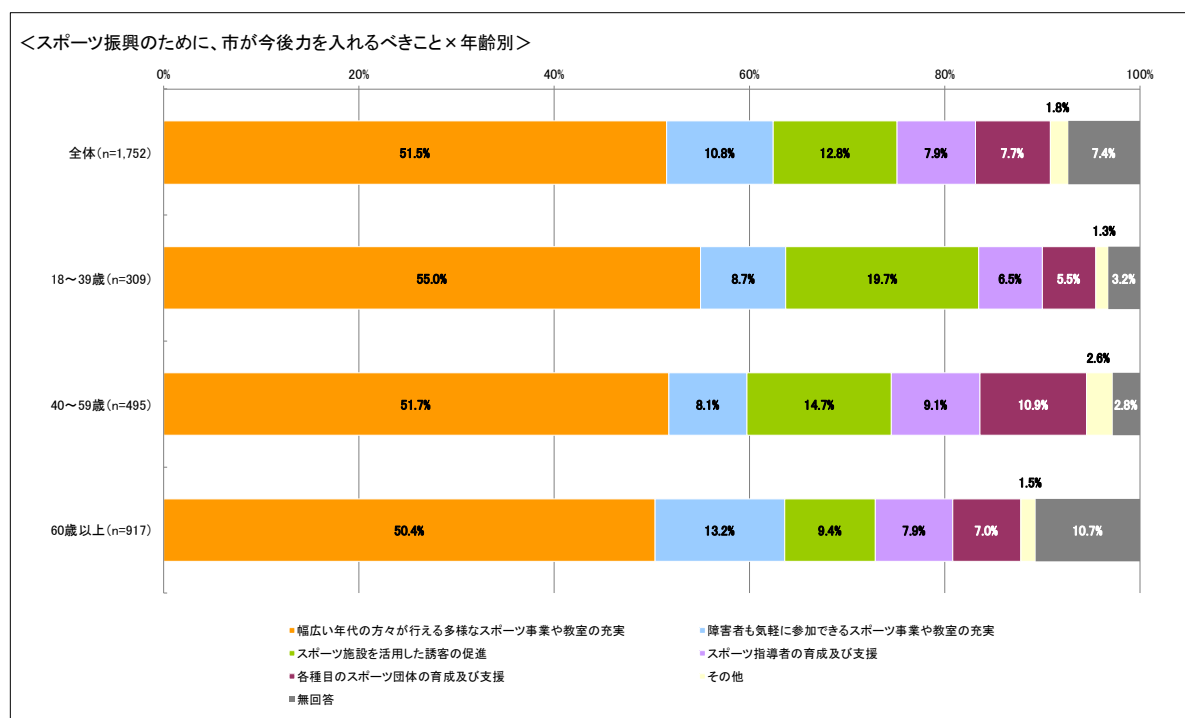
■スポーツの振興策として市が今後力を入れるべきことすべきとされたものは、最も多いのが「幅広い世代が参加できる多様な事業」(51.5%)で過半数を占めています。



- 幅広い年代の方々が行える多様なスポーツ事業や教室の充実
- 障害者も気軽に参加できるスポーツ事業や教室の充実
- スポーツ施設を活用した誘客の促進
- スポーツ指導者の育成及び支援
- 各種目のスポーツ団体の育成及び支援
- その他
- 無回答

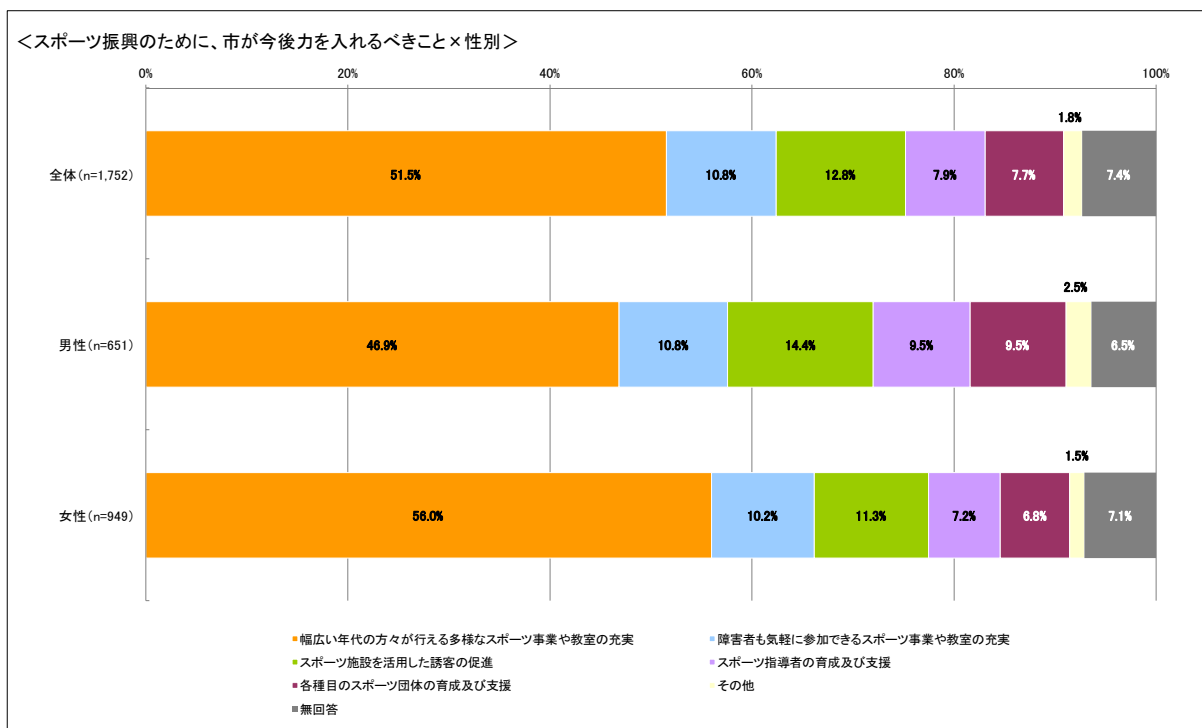
【世代別】

■概ね各世代で傾向は同じですが、若い世代では「スポーツ施設を活用した誘客の促進」の二つが若干高い傾向にあります。



【男女別】

- 概ね男女間で傾向は同じですが、男性は「スポーツ施設を活用した誘客の促進」のニーズ、女性は「幅広い年代が行える多様なスポーツ事業や教室の充実」のニーズが若干高い傾向にあります。

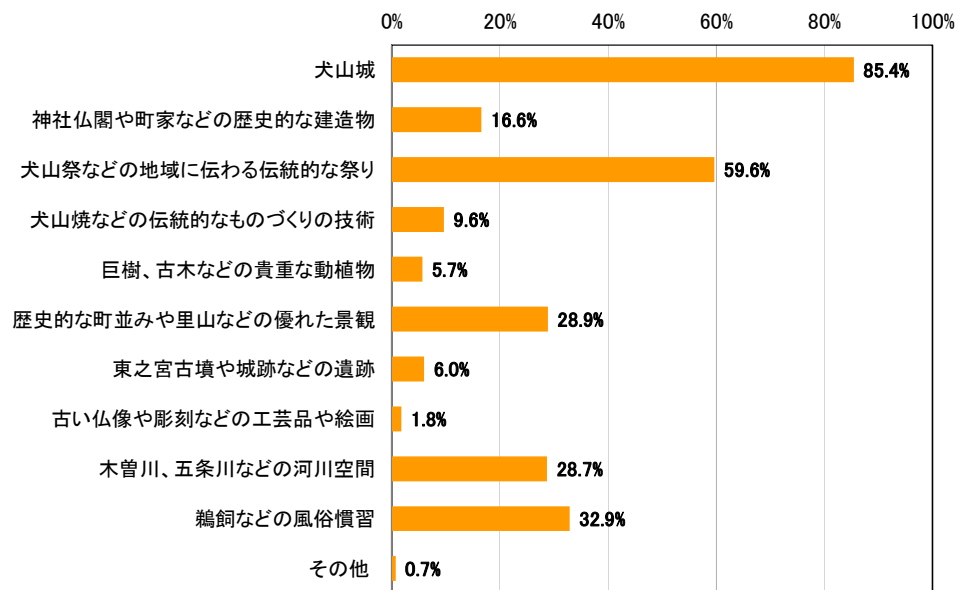


(4) 歴史的遺産や伝統文化について

◆あなたが思う「地域の宝」(特に文化財というカテゴリーにおける宝)とは何ですか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを3つまで選び、その番号を記入してください。

【全体】

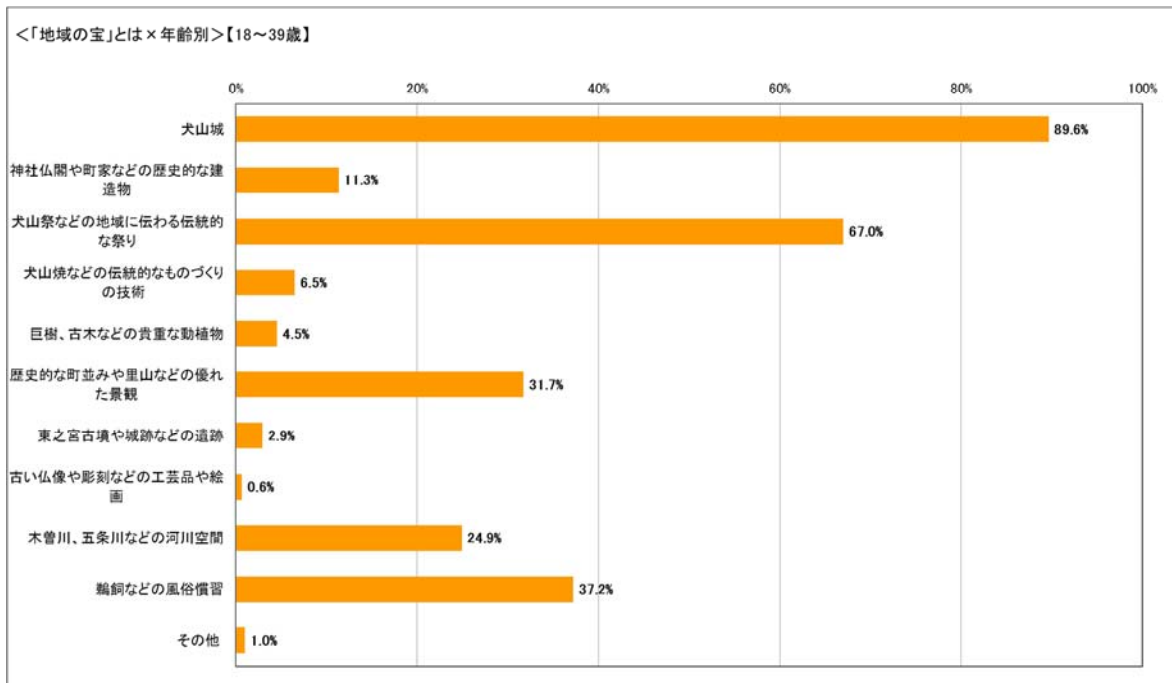
■地域の宝となる文化財とされたものの上位5つは、「犬山城」「犬山祭など伝統的な祭」「鶺鴒飼などの伝統的慣習」「歴史的街並みや里山の景観」「木曾川、五条川などの河川空間」とされています。



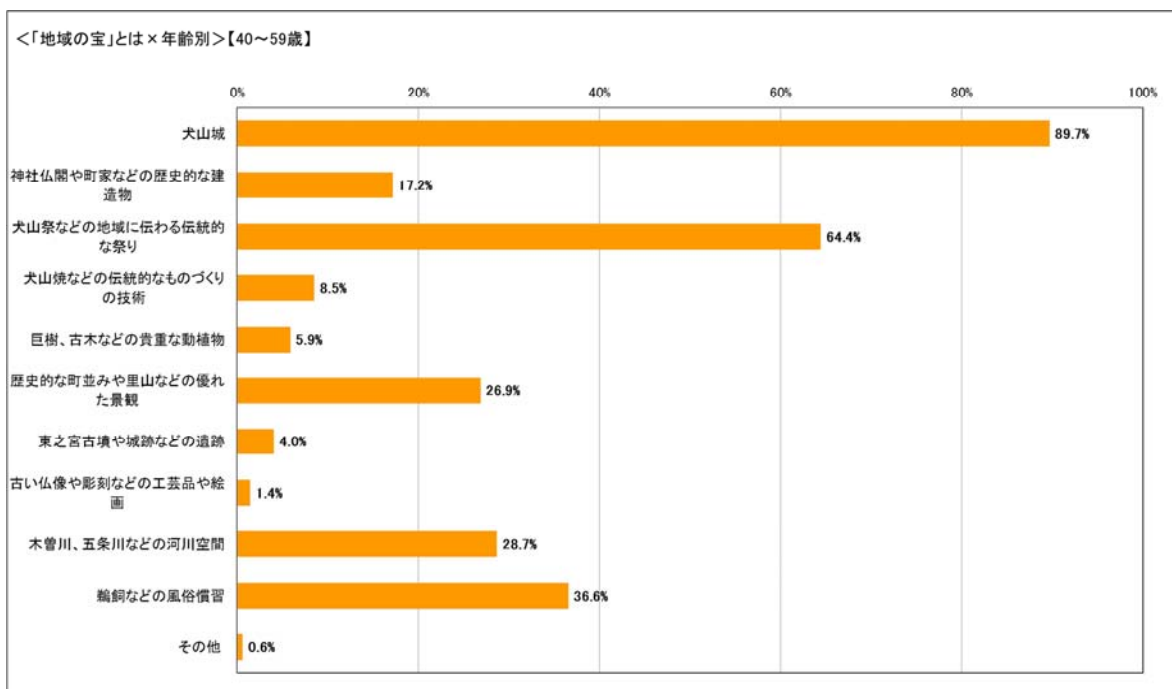
【世代別】

■世代間では大きな傾向の違いはみられません。

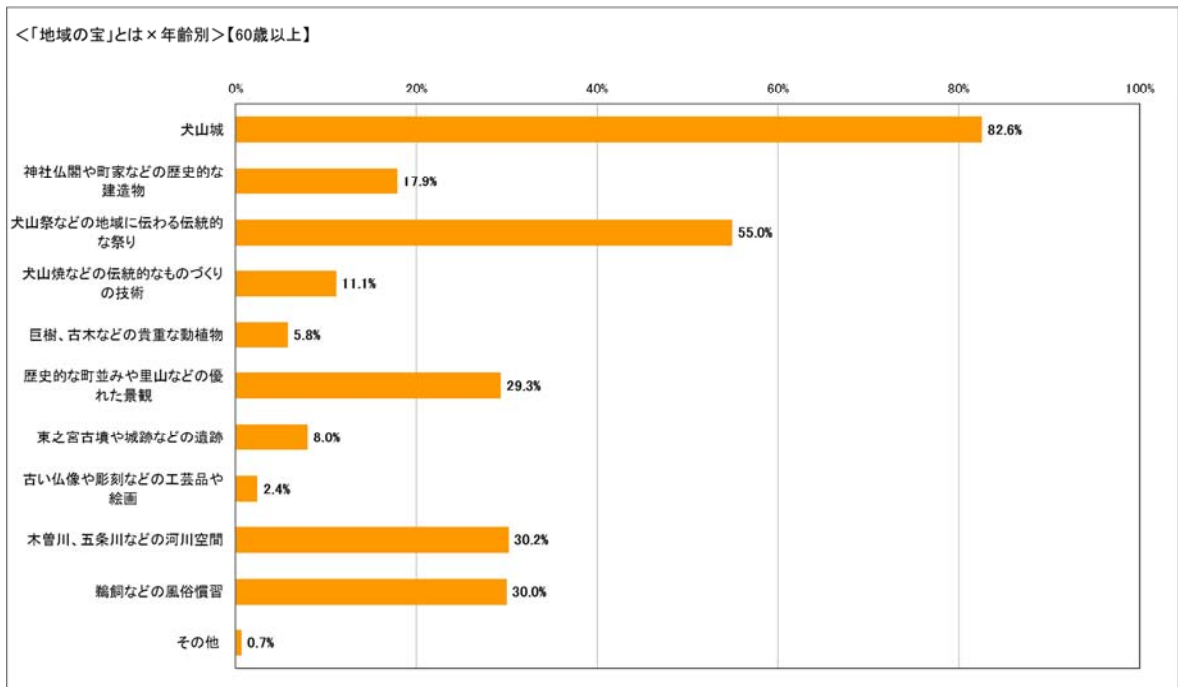
【18-39 歳】



【40-59 歳】



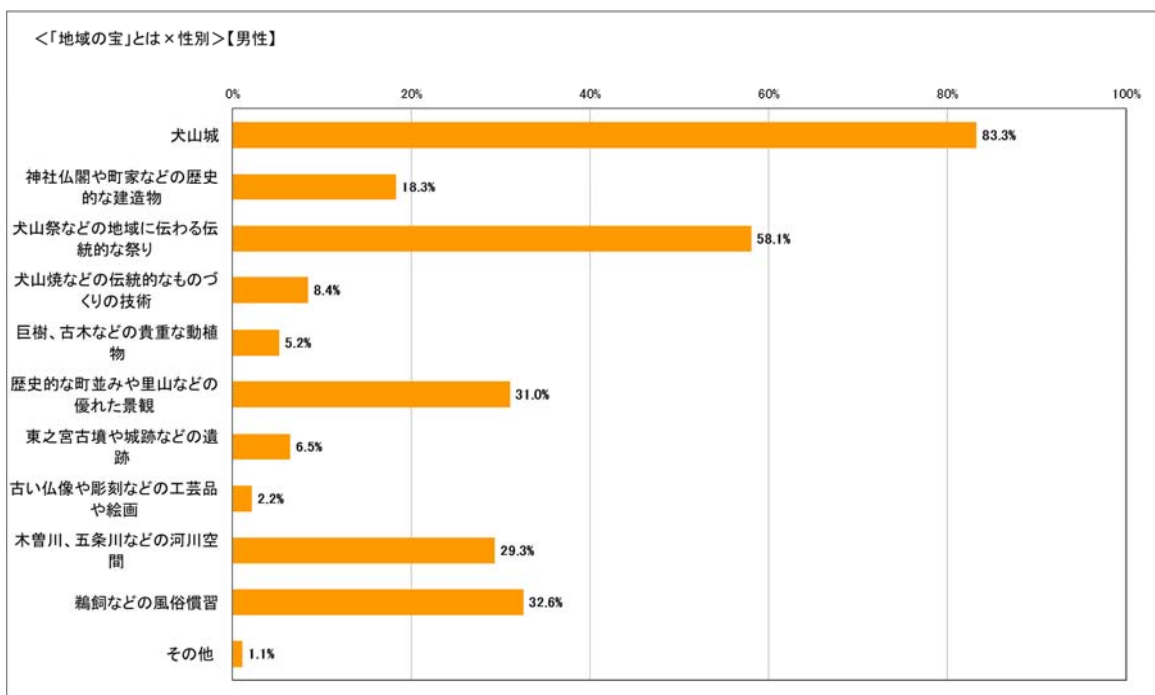
【60歳以上】



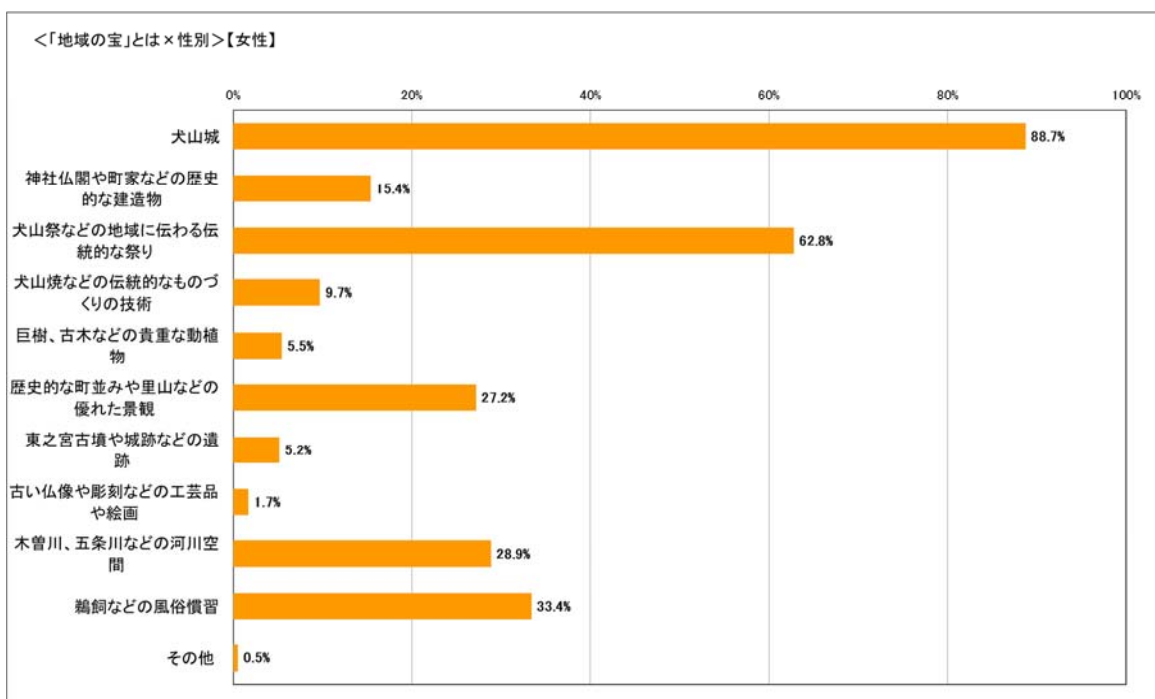
【男女別】

■男女間でも大きな傾向の違いはみられません。

【男性】



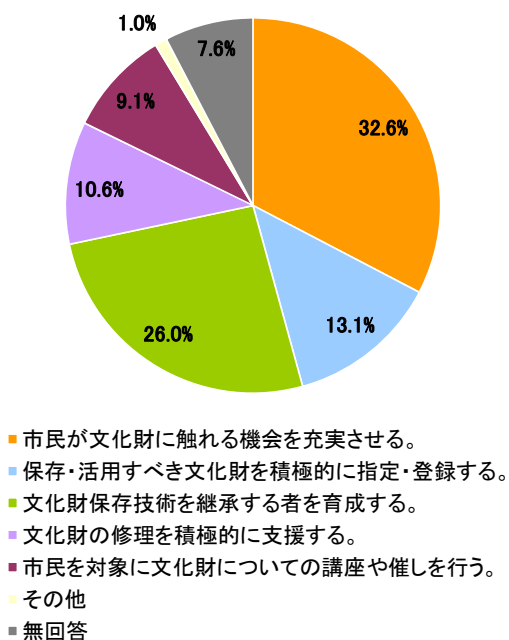
【女性】



◆前問の「地域の宝」を保存・活用する取り組みとして、行政はどのような活動を積極的に行うべきだと思いますか。次の選択肢のうち、あなたの考えに近いものを1つだけ選び、その番号を記入してください。

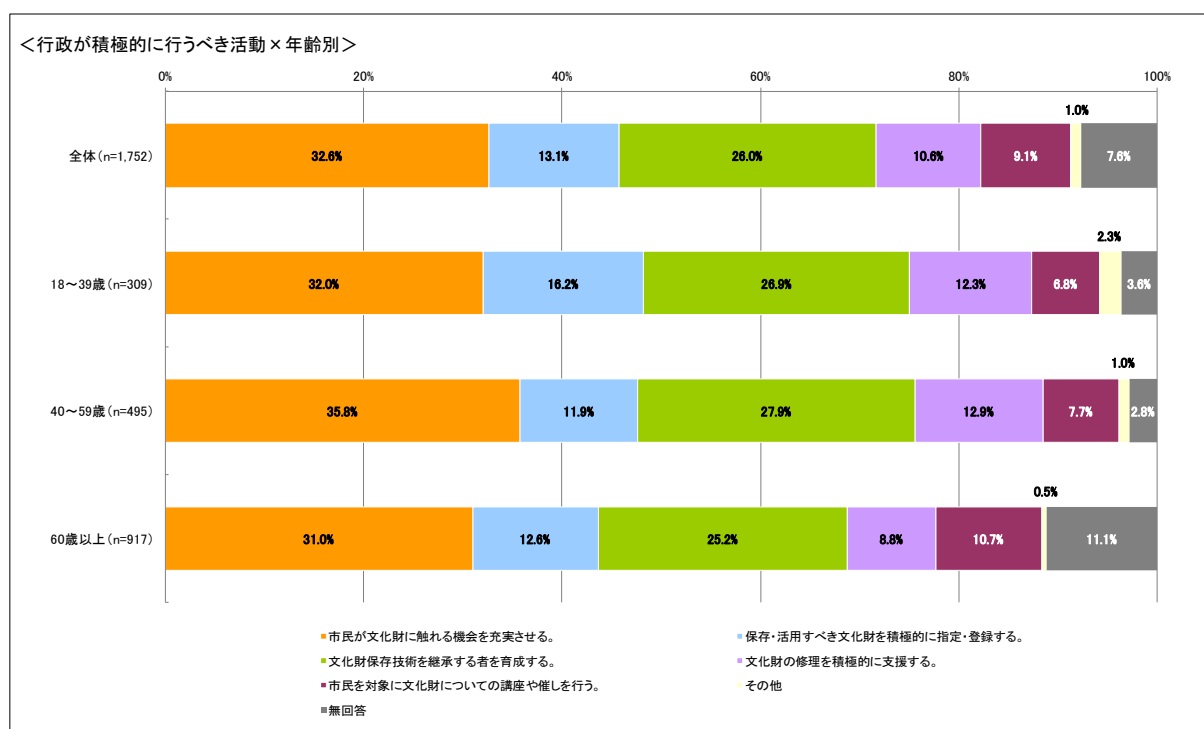
【全体】

■地域の宝の保存・活用のための取り組みとしては、「市民が文化財に触れる機会充実」で32.6%を占めています。次いで「継承する人材育成」の26.0%、「文化財の指定・登録の推進」が13.1%となっています。



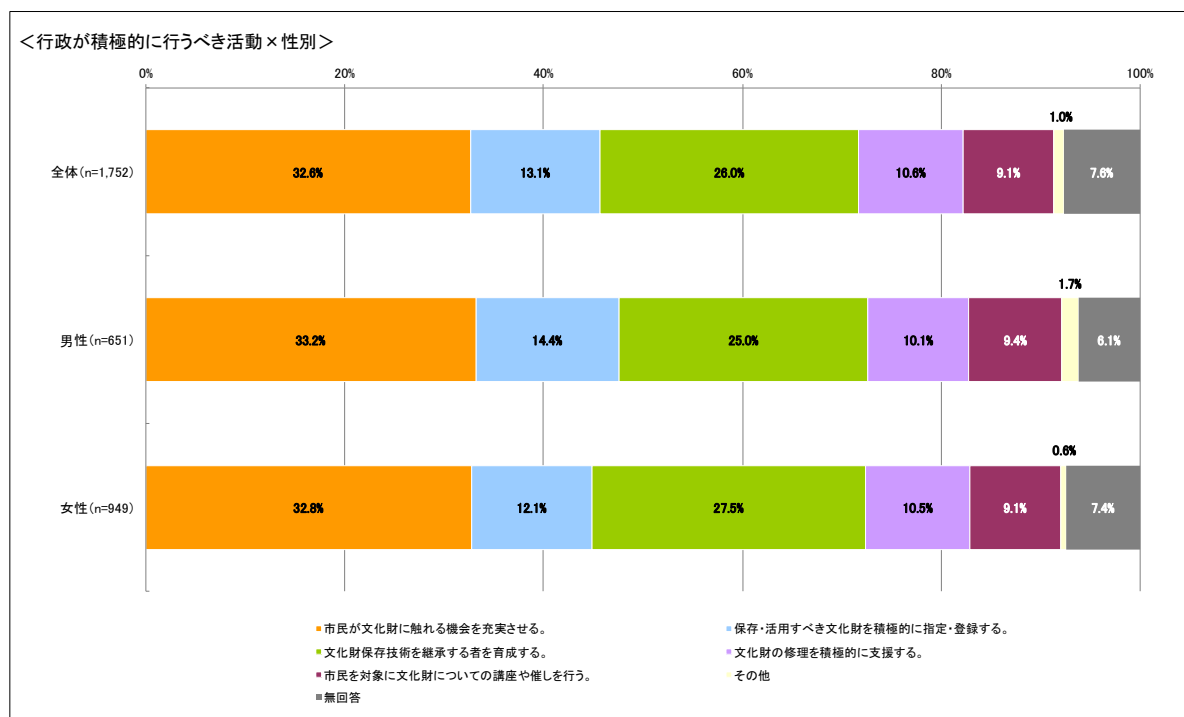
【世代別】

■世代間では大きな傾向の違いはみられません。



【男女別】

■男女間でも大きな傾向の違いはみられません。



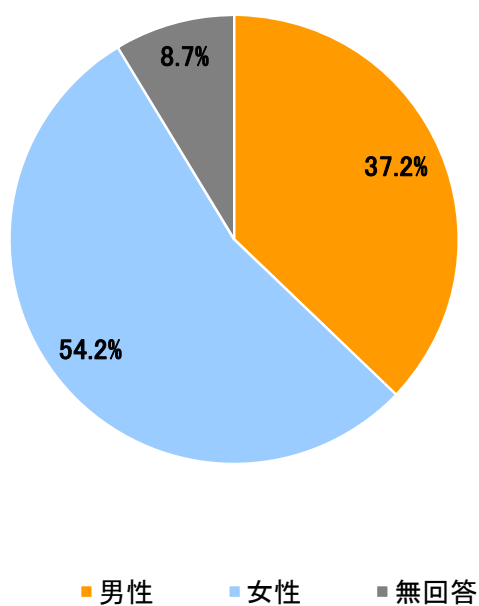
3 回答者の属性

① 性別

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-------|--------|
| 1 男性 | 651 | 37.2% |
| 2 女性 | 949 | 54.2% |
| 3 無回答 | 152 | 8.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

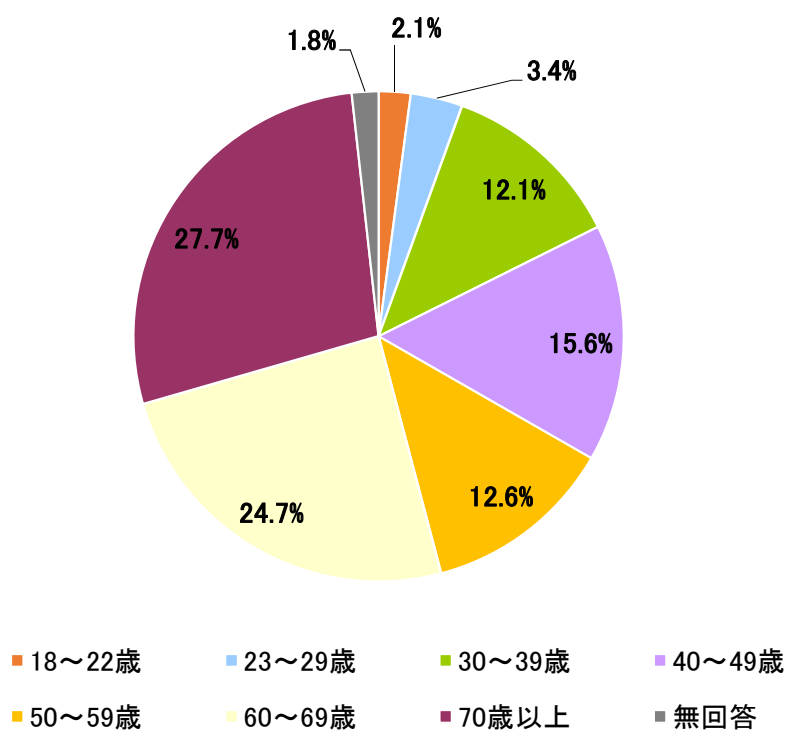


② 年齢

| | | 回答数 | 構成比 |
|----|--------|-------|--------|
| 1 | 18～22歳 | 37 | 2.1% |
| 2 | 23～29歳 | 60 | 3.4% |
| 3 | 30～39歳 | 212 | 12.1% |
| 4 | 40～49歳 | 274 | 15.6% |
| 5 | 50～59歳 | 221 | 12.6% |
| 6 | 60～69歳 | 432 | 24.7% |
| 7 | 70歳以上 | 485 | 27.7% |
| 8 | 無回答 | 31 | 1.8% |
| 合計 | | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

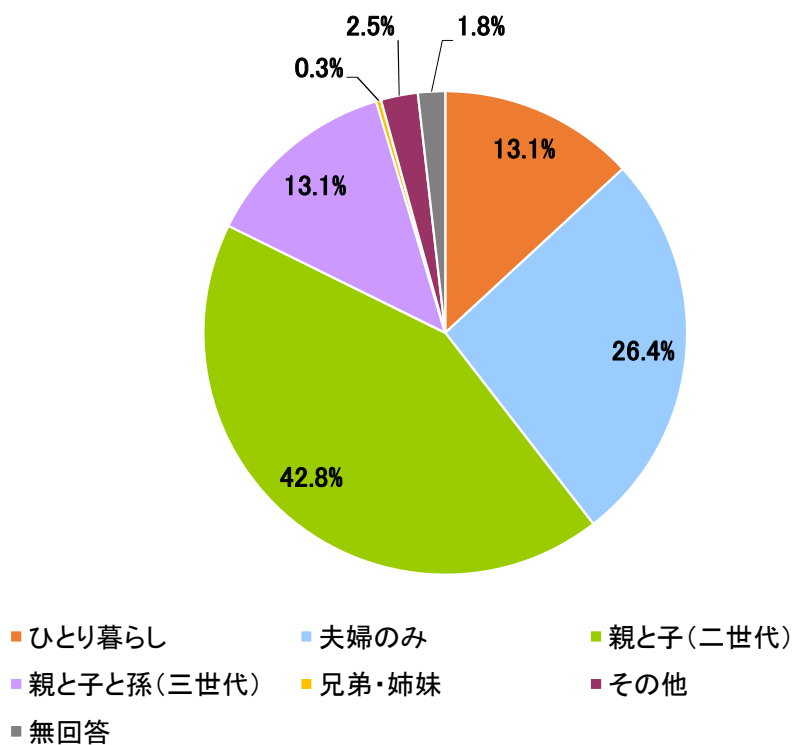


③ 家族構成

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-------|--------|
| 1 ひとり暮らし | 230 | 13.1% |
| 2 夫婦のみ | 462 | 26.4% |
| 3 親と子(二世代) | 750 | 42.8% |
| 4 親と子と孫(三世代) | 229 | 13.1% |
| 5 兄弟・姉妹 | 6 | 0.3% |
| 6 その他 | 43 | 2.5% |
| 7 無回答 | 32 | 1.8% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

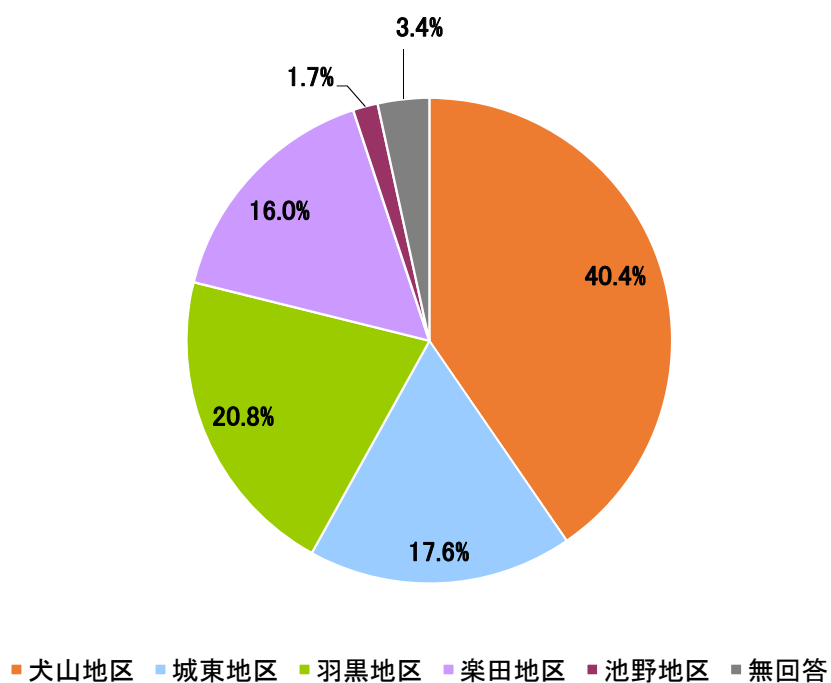


④ 居住地区

| | 回答数 | 構成比 |
|--------|-------|--------|
| 1 犬山地区 | 708 | 40.4% |
| 2 城東地区 | 309 | 17.6% |
| 3 羽黒地区 | 365 | 20.8% |
| 4 楽田地区 | 281 | 16.0% |
| 5 池野地区 | 29 | 1.7% |
| 6 無回答 | 60 | 3.4% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

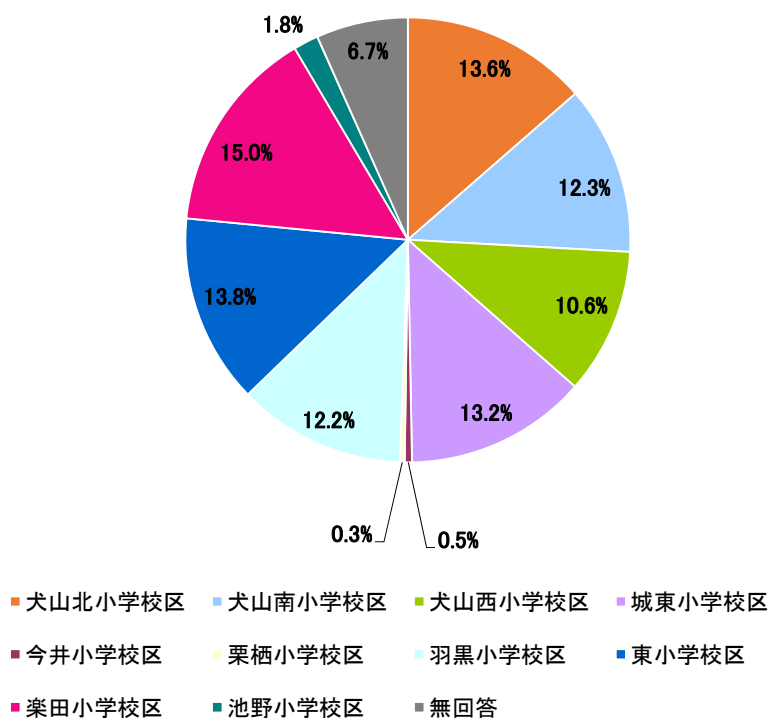


⑤ 居住小学校区

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-------|--------|
| 1 犬山北小学校区 | 238 | 13.6% |
| 2 犬山南小学校区 | 215 | 12.3% |
| 3 犬山西小学校区 | 186 | 10.6% |
| 4 城東小学校区 | 232 | 13.2% |
| 5 今井小学校区 | 9 | 0.5% |
| 6 栗栖小学校区 | 6 | 0.3% |
| 7 羽黒小学校区 | 214 | 12.2% |
| 8 東小学校区 | 241 | 13.8% |
| 9 楽田小学校区 | 262 | 15.0% |
| 10 池野小学校区 | 32 | 1.8% |
| 11 無回答 | 117 | 6.7% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

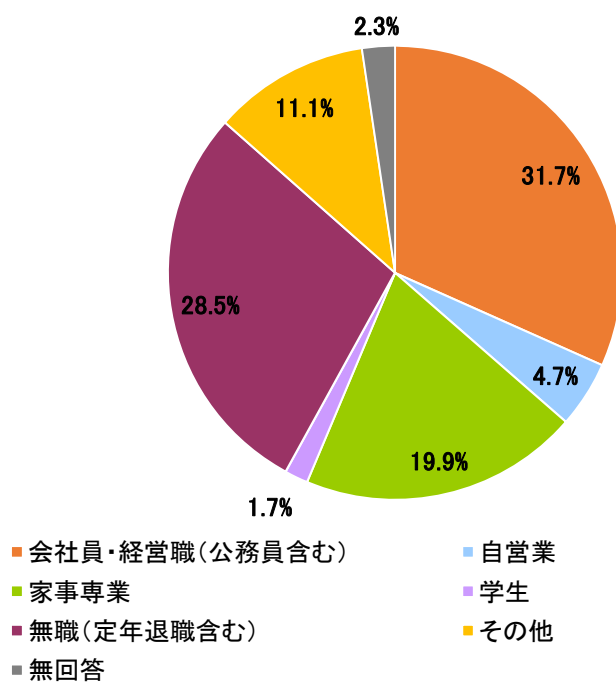


⑥ 職業

| | 回答数 | 構成比 |
|------------------|-------|--------|
| 1 会社員・経営職(公務員含む) | 555 | 31.7% |
| 2 自営業 | 83 | 4.7% |
| 3 家事専業 | 349 | 19.9% |
| 4 学生 | 29 | 1.7% |
| 5 無職(定年退職含む) | 500 | 28.5% |
| 6 その他 | 195 | 11.1% |
| 7 無回答 | 41 | 2.3% |
| 合計 | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である



⑦ 居住年数

| | | 回答数 | 構成比 |
|----|------------|-------|--------|
| 1 | 1年未満 | 22 | 1.3% |
| 2 | 1年以上5年未満 | 105 | 6.0% |
| 3 | 5年以上10年未満 | 138 | 7.9% |
| 4 | 10年以上30年未満 | 431 | 24.6% |
| 5 | 30年以上 | 1,032 | 58.9% |
| 6 | 無回答 | 24 | 1.4% |
| 合計 | | 1,752 | 100.0% |

※1. この設問の回答方式は、該当する選択肢を1つだけ選択する方式である

※2. 回答数の合計は全回答者数である

